

### 第3章 地区別事業内容

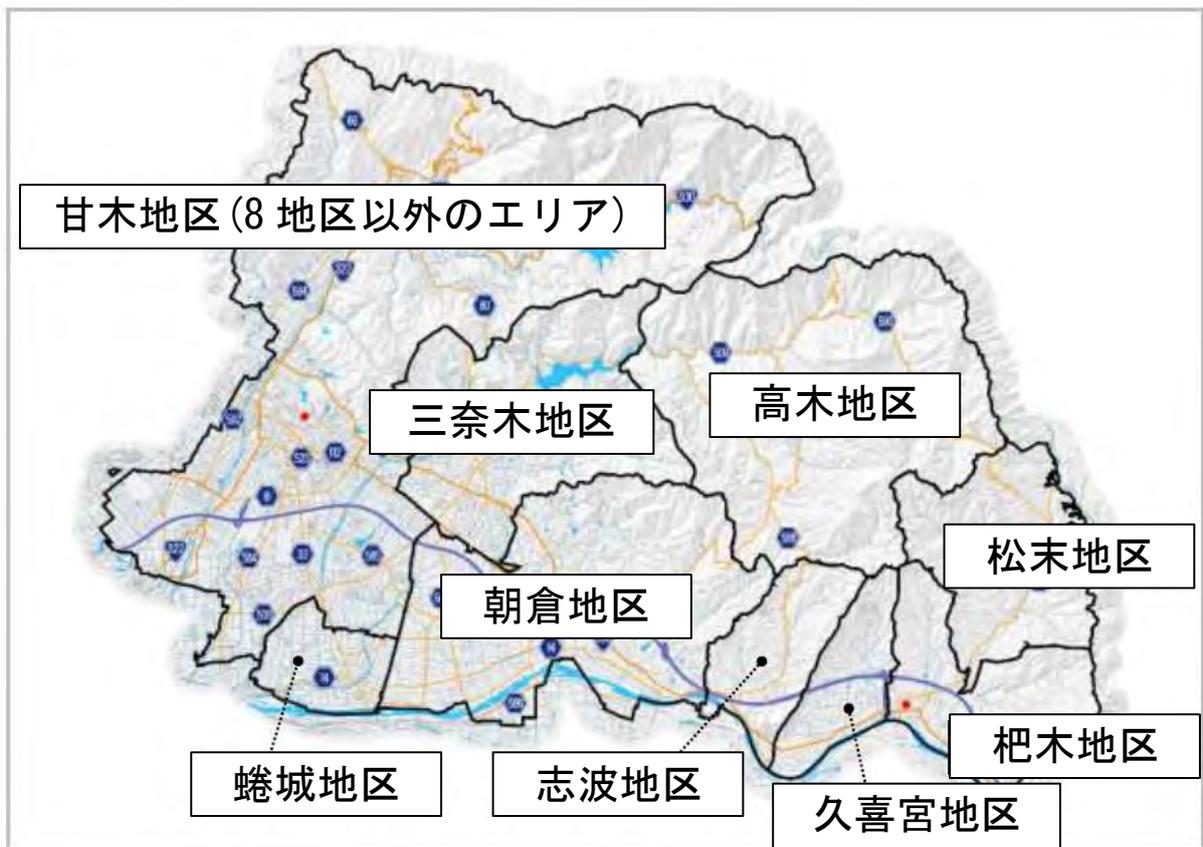
- (1) 地区区分
- (2) 地区別計画

## (1) 地区区分

平成29年7月九州北部豪雨では、市内一様の被害ではなく、市東部の被害が甚大となっています。そのため、以下のように9地区に地区区分を行い、それぞれの地区における復旧・復興への取組方針となる地区別計画を示します。

地区別の復旧・復興に当たっては、被災前のコミュニティ維持に十分配慮し、地域住民との協議を重ねながら、個別具体の取組を進めていきます。

地区区分



## (2) 地区別計画

## 1) 松末地区

## 1. 現状

## (ア) 地形

松末地区は朝倉市の東部にあり、杷木地区や高木地区、東峰村に囲まれた山間にある地区です。

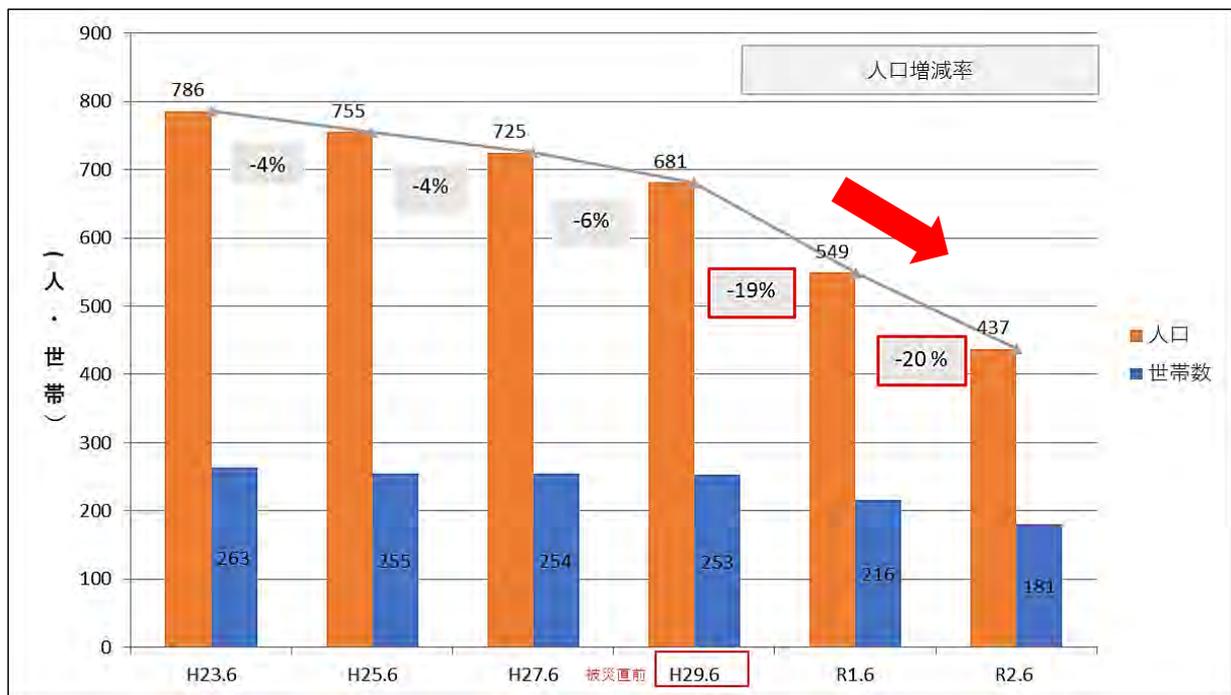
地区の中心を筑後川へ注ぐ赤谷川が貫いており、乙石川や小河内川等がその支流として分かれています。主な集落はこれらの川でできた谷間や山すそに点在しており、その周辺には農地が広がっています。

## (イ) 人口

令和2年6月末現在、松末地区の総人口は、437人、世帯数は181世帯です。

平成23年から令和2年の経年人口は、総数は下降しており、過疎化の影響が見えますが、平成29年7月九州北部豪雨の後は減少率が加速化し、災害の影響がうかがえる推移となっています。

松末地区の人口推移



## (ウ) 歴史

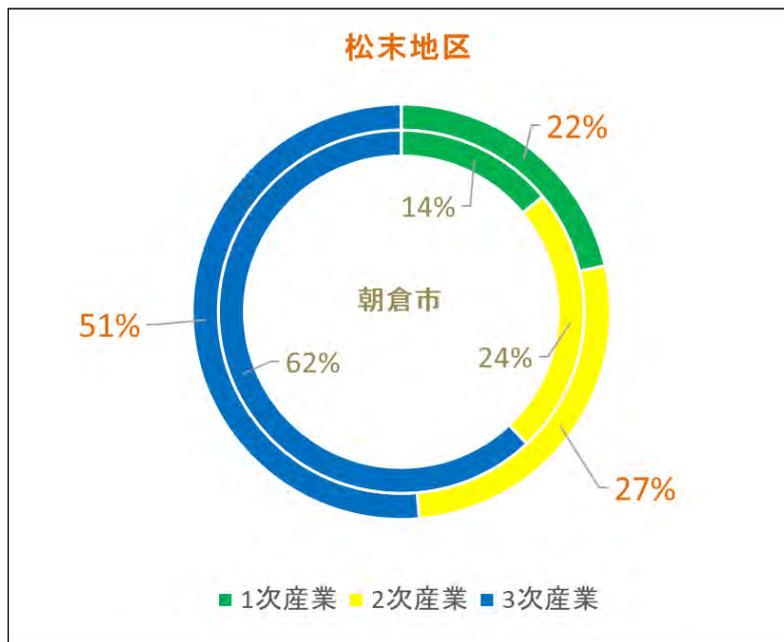
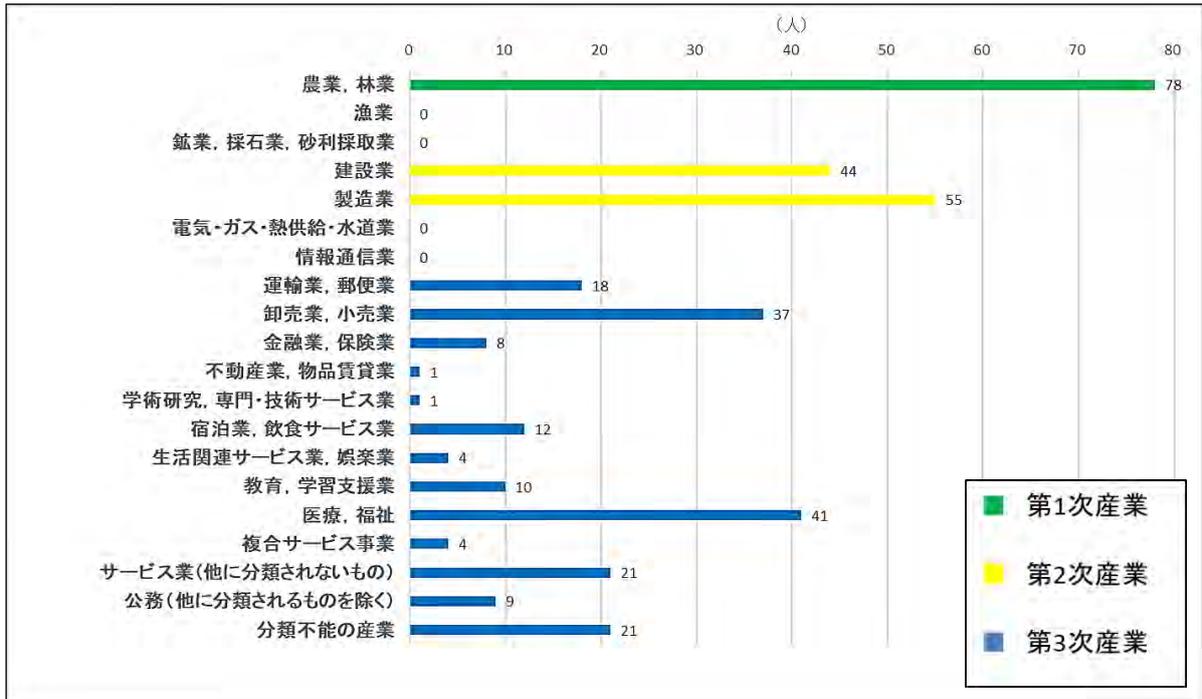
明治22年に赤谷、松末、星丸、大山の4村が合併して松末村となり、昭和26年に松末村は、杷木町、久喜宮村、志波村と合併し杷木町となり、平成18年に甘木市と朝倉町と合併して、朝倉市となりました。

(エ) 産業

平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち松末地区の15歳以上の就業者数は364人です。

この地区の主な産業は農業・林業、製造業、建設業の順になっています。

松末地区の産業構造



参考：国勢調査

## (オ)資源

松末地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・そば
- ・ほたるの里

松末地区は棚田の景勝が有名でしたが、平成29年7月九州北部豪雨で大半の水田が被災しました。

令和元年10月に流出した水田の再興へ向けて、豪雨で流れ出た土砂で整備した実験田で稲刈りを実施しました。

この実証実験で、処分するしかない豪雨の土砂が活用可能だと確認できれば、被災農地の再生に大きく貢献することが見込まれています。

松末地区の資源マップ



松末地区の棚田

松末生産組合が13年から年2回種まきを行い、収穫した蕎麦粉から乾麺やクッキーなどに加工して販売しています。令和元年には、これまでで最も広い約15カ所3ヘクタールに花を咲かせました。



蕎麦畑

(カ)被災状況

山間部に位置する松末地区では、多数の山腹崩壊による被害が生じました。

また、赤谷川、乙石川、小河内川等において、流下した大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地、農業用施設等の崩壊・流出など、被害を拡大させました。

松末地区では、17名の尊い命が奪われました。



赤谷川と小河内川の合流部（出典：国土地理院）



乙石川（中村区）

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件。このうち松末地区は114件と約3割を占めます。

大量の土砂や流木により発生した河道閉塞に伴う浸水被害が際立ちます。

市民の日常生活を支える公共施設や公民館、寺社仏閣等の地域コミュニティを支える施設も倒壊を含む被害がありました。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）
  - ・安心して住むことができる場所の確保（宅地造成、土砂災害警戒区域等の見直し）
  - ・河川の改良復旧、地元意見の反映
  - ・以前の風景を基本とした河川整備（子どもが遊べる川）
  - ・堆砂した砂防・治山ダムの浚渫
  - ・今回の土砂を利用した農地改良復旧事業（区画整理）
  - ・松末小学校の利活用
  - ・地域資源である森林材の有効活用及び産業の創出（エネルギーの地域循環）等

3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

#### すまいとコミュニティの再建について

- ・コミュニティ内での再建率 26.9%の原因＝市が住宅地を提供するのが遅すぎた。
- ・学校跡地を体験・交流の場にしてほしい。
- ・学校跡地活用検討は、まちづくり協議会に小委員会を作って、詰めて議論していきたい。小委員会のメンバーはコミュニティ事務局に一任いただきたい。
- ・朝倉市復興計画にある「地域資源を生かした…新たな産業の育成」＝松末は林業＝木材のエネルギー資源化の実現・小水力発電の実現
- ・石詰遊砂地展望所及び公園化
- ・交通安全対策について、マナーが悪い車両がある。
- ・走行するダンプのマナー、ホコリ、雨の日の泥ハネに注意がほしい。
- ・乙石川流域からの迂回避難路の整備 等

#### 安全な地域づくりについて

- ・繋ぎ込み水路について、砂防は、国交省が実施、治山の流末処理については、森林区域内での実施となるができる限りお願いしたい。
- ・長期避難の解除に向けて、ソフト対策が必要→伝達手段
- ・地域・集落の中で安全な建物を緊急時の避難場所とし周知徹底すべき。等

#### 産業・経済の復興について

- ・農業への支援、例えば集団営農の共同倉庫建設補助等を教えてほしい。
- ・事務局から再生取組みにかかる提案あり。等

## 4. 復興に向けた具体事業

## (ア)住宅施策

## ①松末地区移住定住施策（池の迫団地（仮称））（P36 参照）

朝倉市では、松末地域に移住定住を希望する世帯に対して、定住促進住宅を提供します。

## a. 入居対象者：7世帯程度

- ・平成29年7月九州北部豪雨による被災者
- ・市内の土砂災害警戒区域等からの移住者
- ・子育て世帯、又は若年夫婦世帯

## b. 事業の流れ

令和3年度より建築予定あわせて入居者の募集を開始予定

## c. 整備エリア

松末地区の整備エリア

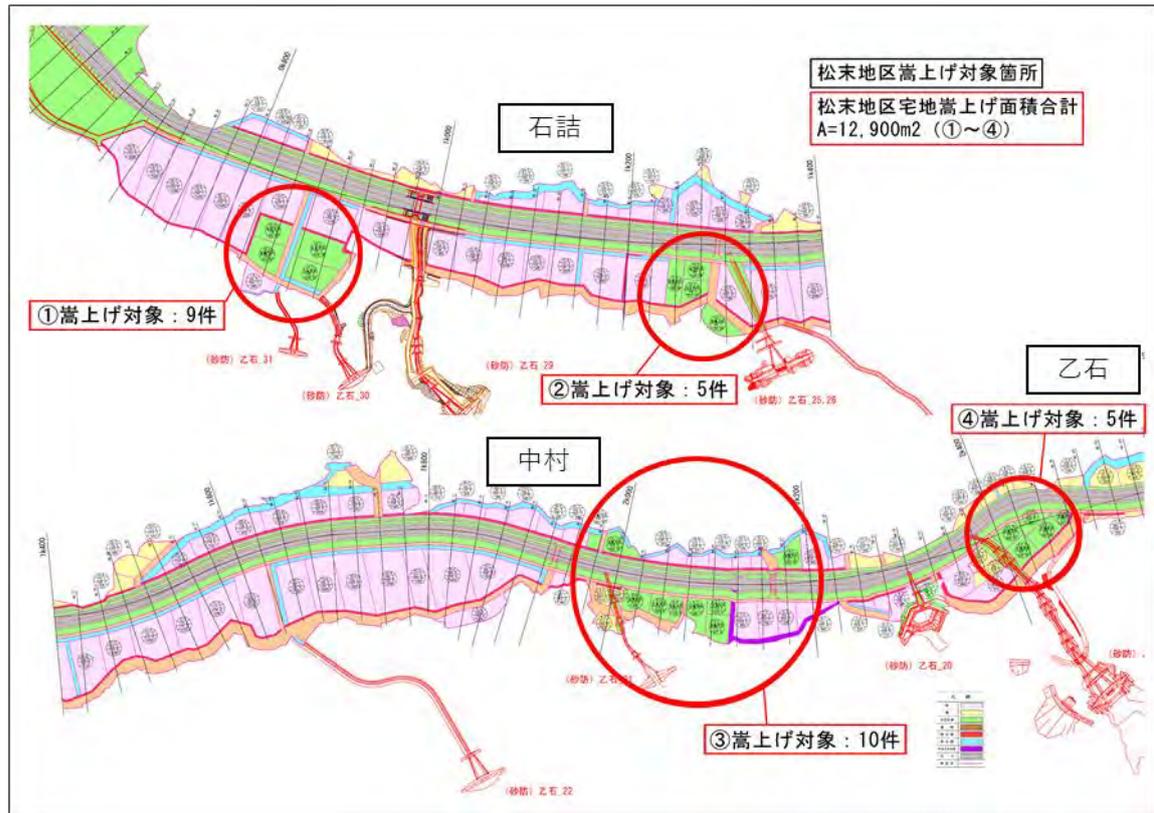


## ②宅地嵩上げ事業（P29 参照）

災害に強いまちとして復興するため、宅地嵩上げ事業を実施します。本事業では、堆積土砂による被災宅地及び公共施設の一体的な嵩上げ復旧を行い、すまいの現地再建及び生活環境の向上、安全性の向上したまちづくりを実現することを目的としています。

松末地区における宅地嵩上げ予定箇所は以下のとおりです。

## 松末地区における宅地嵩上げ予定箇所



## (イ) 松末小学校跡地活用

松末小学校に対する住民の思いを受け、本地区の再生・発展に向けたまちづくりの取り組みとして、小学校跡地の活用を引き続き検討します。

小学校跡地は令和4年度まで、赤谷川、乙石川の河川工事及び県道付替工事として活用されるため、その間に具体的な検討を行います。

松末小学校跡地周辺の整備イメージ



### (ウ) 伝承広場 (P47 参照)

平成29年7月九州北部豪雨による甚大な被害を受けた松末地区において、土砂災害の経験と教訓を後世に継承するため、令和元年度には記録誌を作成したところであり、今後は市内外へ発信するため、伝承広場を整備します。

また、整備する施設が防災学習の場にもなるよう、現に機能している砂防施設などを活用しながら、防災の大切さが身近に感じられる箇所に設置することなどを配慮していきます。広場は、新たに建設される砂防堰堤（えんてい）や、川幅の拡幅工事などが進む河川、一から造り直される農地などがそれぞれ見渡せる場所を想定しています。

広場には被害状況などを説明したパネルの展示などを検討しており、災害復興のシンボルであり、防災学習の拠点となるよう、地域や関係機関と連携して検討を進めていきます。

砂防堰堤付近の伝承広場整備イメージ図



## (エ) 乙石川における小水力発電可能性調査の実施 (P40 参照)

平成 29 年 7 月九州北部豪雨により松末地区は甚大な被害を受け、乙石川の濁流は避難所であった旧松末小学校にも被害を与えました。

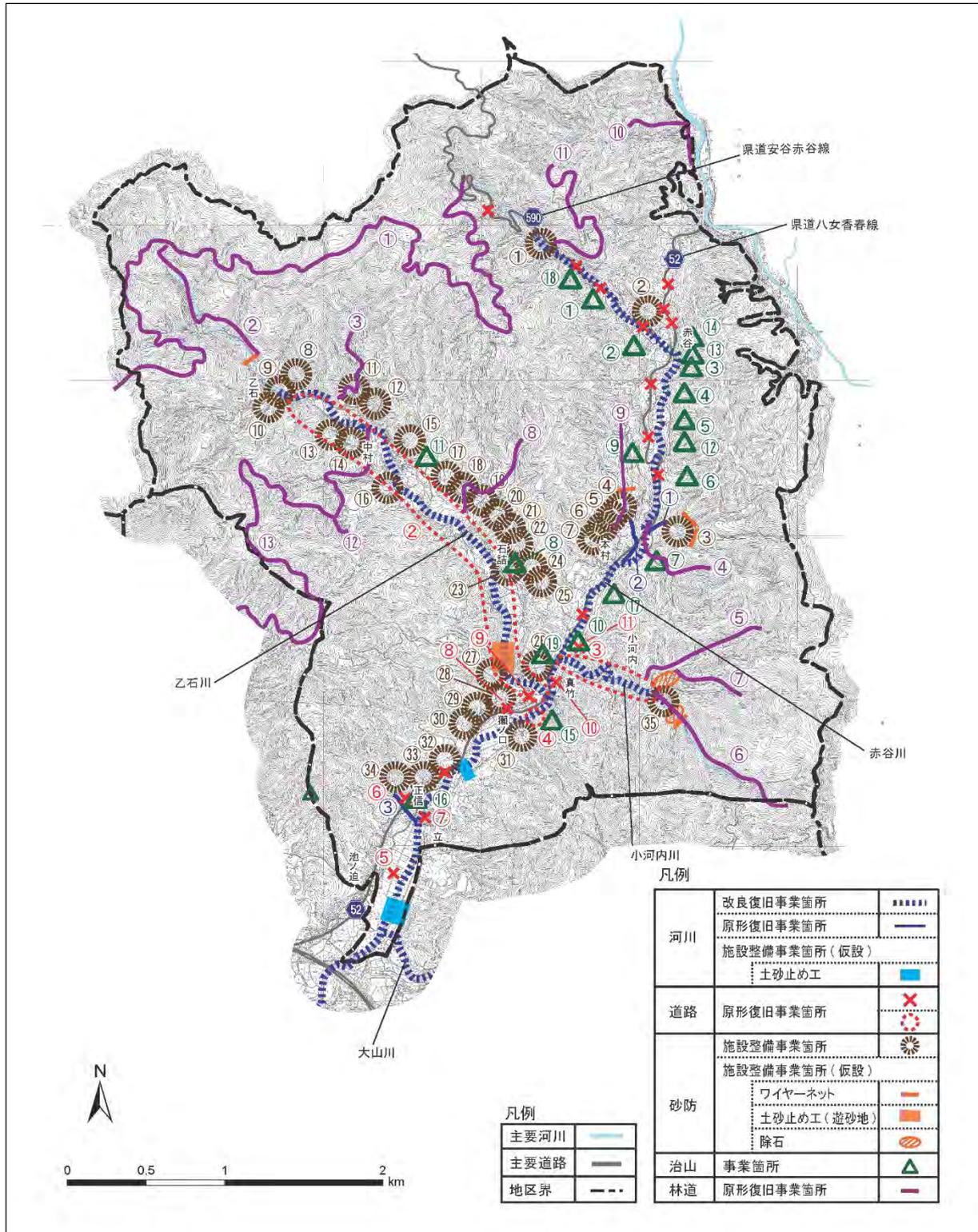
災害から 3 年、復旧から復興へ、旧松末小学校を拠点とし、これまでより更に夢を持てる地域づくりを目指す取り組みの一つとして、地域資源を活用した再生可能エネルギー導入のための調査を行っています。

乙石川から取水して旧松末小学校で発電し、地域消費がされつつ災害時には自立電源として地域の電源の一助となることが可能な小水力発電と電力利用方法や運営主体についての可能性調査を行うこととなりました。

5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P143～P145 参照）

復旧事業図面



## 2) 杷木地区

## 1. 現状

## (ア) 地形

杷木地区は朝倉市の南東部にあり、うきは市と大分県日田市に隣接しています。南に筑後川が流れ、そこに赤谷川と白木谷川が注いでいます。これらの川に沿うように平地が広がり、赤谷川と白木谷川の間には農地が広がります。特に白木谷川の下流域は、建物の密度が高く、国道 386 号沿いには店舗等も並びます。

## (イ) 人口

令和 2 年 6 月末現在、杷木地区の総人口は、2,802 人、世帯数は 1,196 世帯です。平成 23 年から令和 2 年の経年人口は、過疎の影響が見えます。令和元年 6 月以後の人口はほぼ横ばいを示しており、これは過疎の一方で、被災者の再建が杷木地区で増加傾向にあることが影響していると考えられます。

杷木地区の人口推移



## (ウ) 歴史

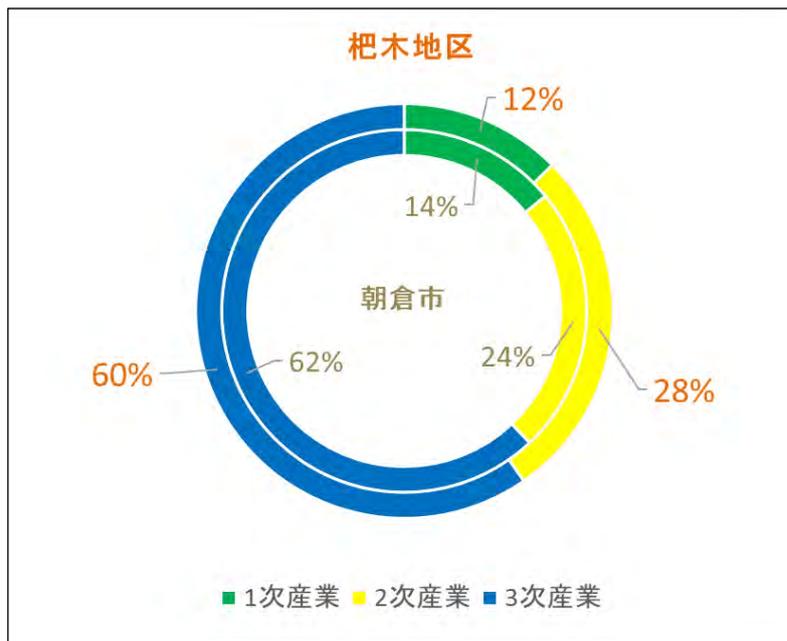
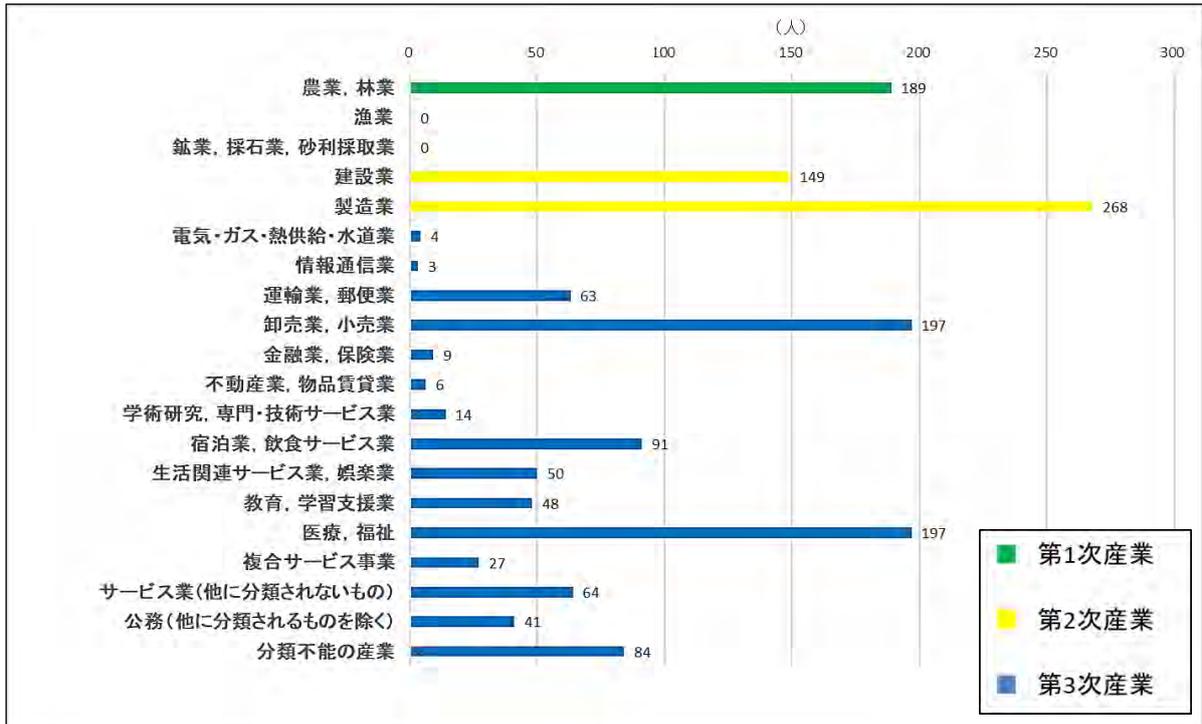
明治 22 年には穂坂、林田、白木、池田の 4 村が合併して杷木村となり、さらに杷木村は昭和 14 年町制をしいて杷木町となりました。昭和 26 年に松末村、久喜宮村、志波村と合併し、平成 18 年には甘木市、朝倉町と合併して朝倉市となりました。

(エ) 産業

平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち杷木地区の15歳以上の就業者数は1,504人です。

この地区の主な産業は製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の順になっています。

杷木地区の産業構造



参考：国勢調査

## (オ)資源

杷木地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・大山祇（おおやまずみ）神社
- ・阿蘇神社
- ・杷木神籠石

杷木地区の資源マップ



昔からの「伝説」によると、大山祇神社を「山の神」と呼び、山の神は元来「女の神様」といわれています。その「女の神様」がお化粧をする事を意味し、「おしろいをぬる」といわれています。このおしろいは、新米（初穂）を粉にして水でといて顔にぬるもので、昔の農家の人が、氏子の繁栄と新穀の豊作を神に感謝し、来年の五穀豊穰を祈願する、全国でも類のない奇習とされています。おしろいの顔の付き具合で来年の「作柄」を占い、このおしろいは家に帰るまで顔を洗ったり落としてはならず、火の中に入れると火事になり、帰って牛馬の飼料に混ぜて飲ませると無病息災だといいます。



大山祇神社（おしろい祭り）

(カ)被災状況

杷木地区では、多数の土砂災害による直接的な被害のほか、赤谷川や白木谷川などにおいて、流下した大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地・農業用施設等の崩壊・流出など、被害を拡大させました。



白木（白木谷川）



東林田（赤谷川）

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件です。このうち杷木地区は66件と約2割を占めます。

多数の土砂災害による直接的な被害のほか、赤谷川や白木谷川などにおいて、流下した大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地・農業用施設等の崩壊・流出など、被害を拡大させました。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）
  - ・安心して安全な生活ができる環境づくり
  - ・地域住民の意見を聞いた安全な線形の河川改良復旧
  - ・堆砂した砂防・治山ダム及び川底の浚渫
  - ・生活排水路、防火用水、農業用水取水口の早期復旧
  - ・小学校跡地を活用した住宅等の整備
  - ・防災体制の強化（行政の対応力の強化）
  - ・産学官連携による産業復興組織の立ち上げ 等

3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

#### すまいとコミュニティの再建について

- ・宅地嵩上げについて
- ・杷木団地工事による家屋被害について
- ・ゲートボール場横の空家（老朽危険家屋）を市で何とかしてほしい。
- ・旧杷木小学校のグラウンドは、市民が使うのか、企業が市民のために使うのかについても決めて良いのか。
- ・グラウンドは、今後の災害のためにも広場としておいた方がいい。
- ・杷木団地集会所の備品について知りたい。
- ・維持管理は（草刈り）は、市が実施してほしい。
- ・復興まちづくり協議会だけでなく、区会長会、コミュニティ運営委員会でも検討していきたい。等

#### 安全な地域づくりについて

- ・避難所（らくゆう館）の運営について（職員交替時の引継、駐車場、旧杷木小記念物、備蓄品倉庫）知りたい。
- ・前田橋上流からの取水について知りたい。等

#### 産業・経済の復興について

- ・農への支援、例えば集団営農の共同倉庫建設補助等を教えてほしい。
- ・事務局から再生取組みにかかる提案あり。等

4. 復興に向けた具体事業

(ア)災害公営住宅の整備 (P37 参照)

朝倉市では、平成 29 年 7 月九州北部豪雨により住宅を失った方の住まいを確保するため、福岡県と協定を締結し、災害公営住宅等整備の設計を進め、令和元年 7 月に完成しました。

令和 3 年 1 月末現在

団地名	建設場所	構造・階数	戸数	入居世帯数	入居人数	60 歳以上のみの世帯
杷木	杷木林田	RC 造 3 階建	50 戸	37(34)世帯	62(55)人	28 世帯

※ ( ) 内は被災により入居している者

①計画の特長

a. コミュニティの再現・形成に配慮

住棟と併せて、集会所及び広場を交流の場として設けることで、従来あったコミュニティの再現や新たな交流の形成に配慮した配置計画としました。

b. 安心・安全な住空間の整備

住棟は、3 階建てとし、渡り廊下及びエレベーターを配置して高齢者でも容易に移動できるようにするとともに、スロープや手すり等を設けてバリアフリー化を図りました。

c. 入居者に配慮した住戸タイプの整備

住戸は、世帯人数に応じて 2DK・3DK の 2 タイプを設けるとともに、車いすを利用される世帯のために車いす住戸を設けました。

②杷木団地の概要

建設場所・・・朝倉市杷木林田 330 番地 1 (杷木小学校跡地)

敷地面積・・・約 10,960 m<sup>2</sup>

構造・階数・・・鉄筋コンクリート造 3 階建て一部 2 階建て

延べ床面積・・・3,700 m<sup>2</sup>



杷木団地の外観

(イ) 杷木小学校跡地活用

杷木地区の再生・発展に向けたまちづくりの取り組みとして、杷木小学校跡地のグラウンドの活用方法を検討します。

災害時における受援体制の整備として、救助活動及び支援団体等の車両を含めた拠点として利用が可能となるよう整備をし、地域防災力の向上を図ります。

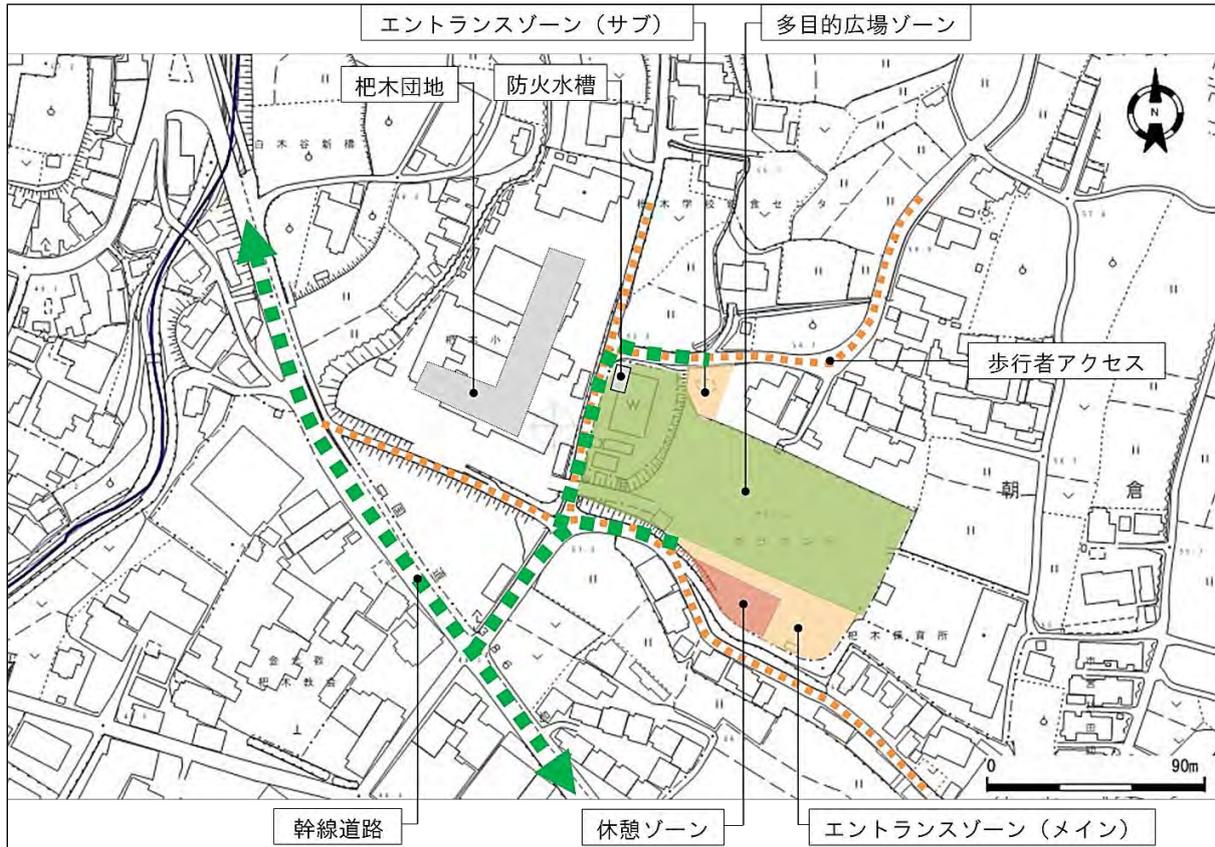
① ゾーニング

現在、各ゾーンに配置する主な施設（四阿、ベンチ(かまど付)、水飲み場、足洗い場等）を検討しています。令和3年度にさらに具体化を図ります。

以下に防災広場のゾーニングを示します。

<p>多目的広場ゾーン</p>	<p>防災機能は以下を想定しています。 一時避難生活支援ゾーン、消防・救援、医療・救護活動ゾーン、臨時駐車場等 平常時には、多目的広場として配置します。</p>
<p>エントランスゾーン</p>	<p>幹線道路からアプローチしやすい位置をエントランスゾーンとして配置します。 防災機能は以下を想定しています。 避難者受入、情報伝達ゾーン、駐車場ゾーン等</p>
<p>休憩ゾーン</p>	<p>各ゾーンから利用しやすい位置に休憩ゾーンを配置します。 防災機能は以下を想定しています。 医療・救援活動ゾーン、避難ゾーン</p>

### 杷木小学校跡地のゾーニング



### 杷木小学校跡地の活用イメージ図



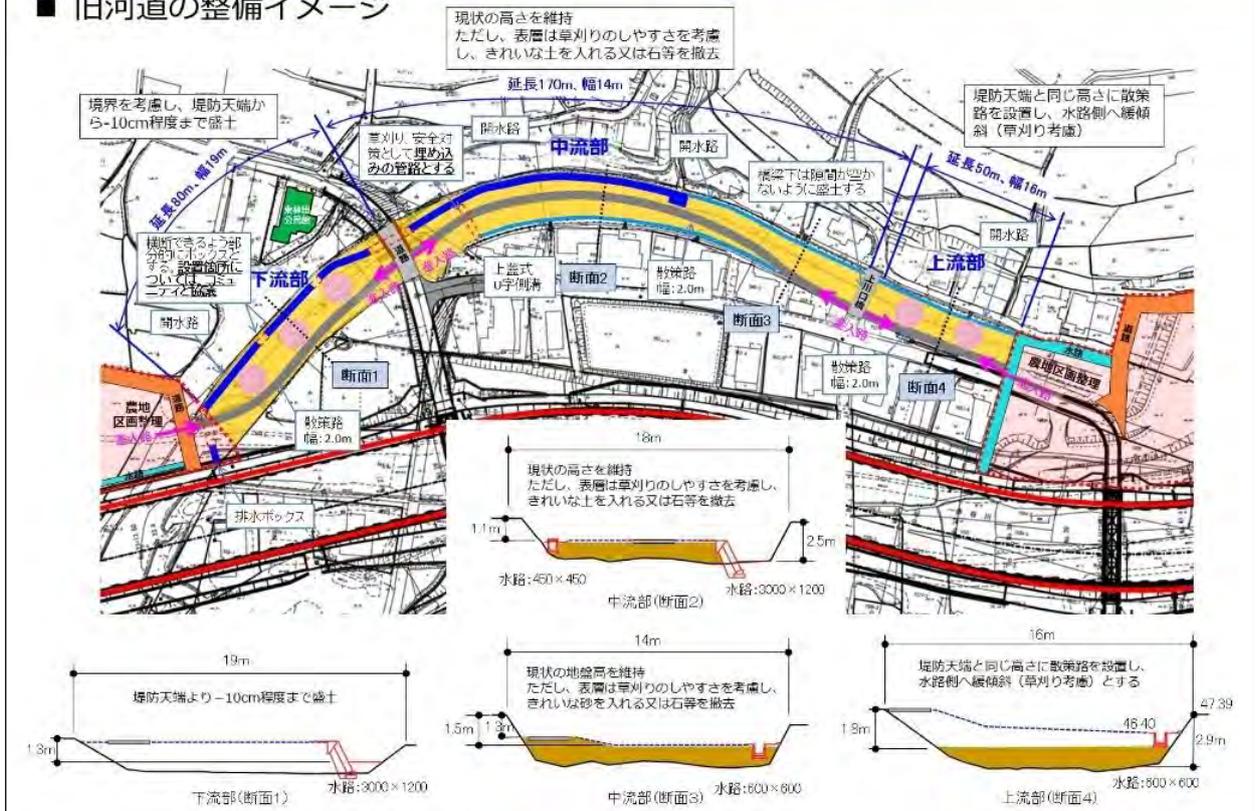
(ウ) 赤谷川旧河川敷の利活用の検討 (P41 参照)

杷木地区の赤谷川は、平成29年7月九州北部豪雨を受けて、河川路の変更が決定しました。そこで赤谷川旧河川敷の利活用を、東林田地区ワークショップにて協議しました。協議の結果、旧河川敷の利用について以下の通りの内容で合意されました。

なお、整備は赤谷川の河川整備の進捗状況を見ながら実施する予定です。

第2回ワークショップで決定したイメージ (平面)

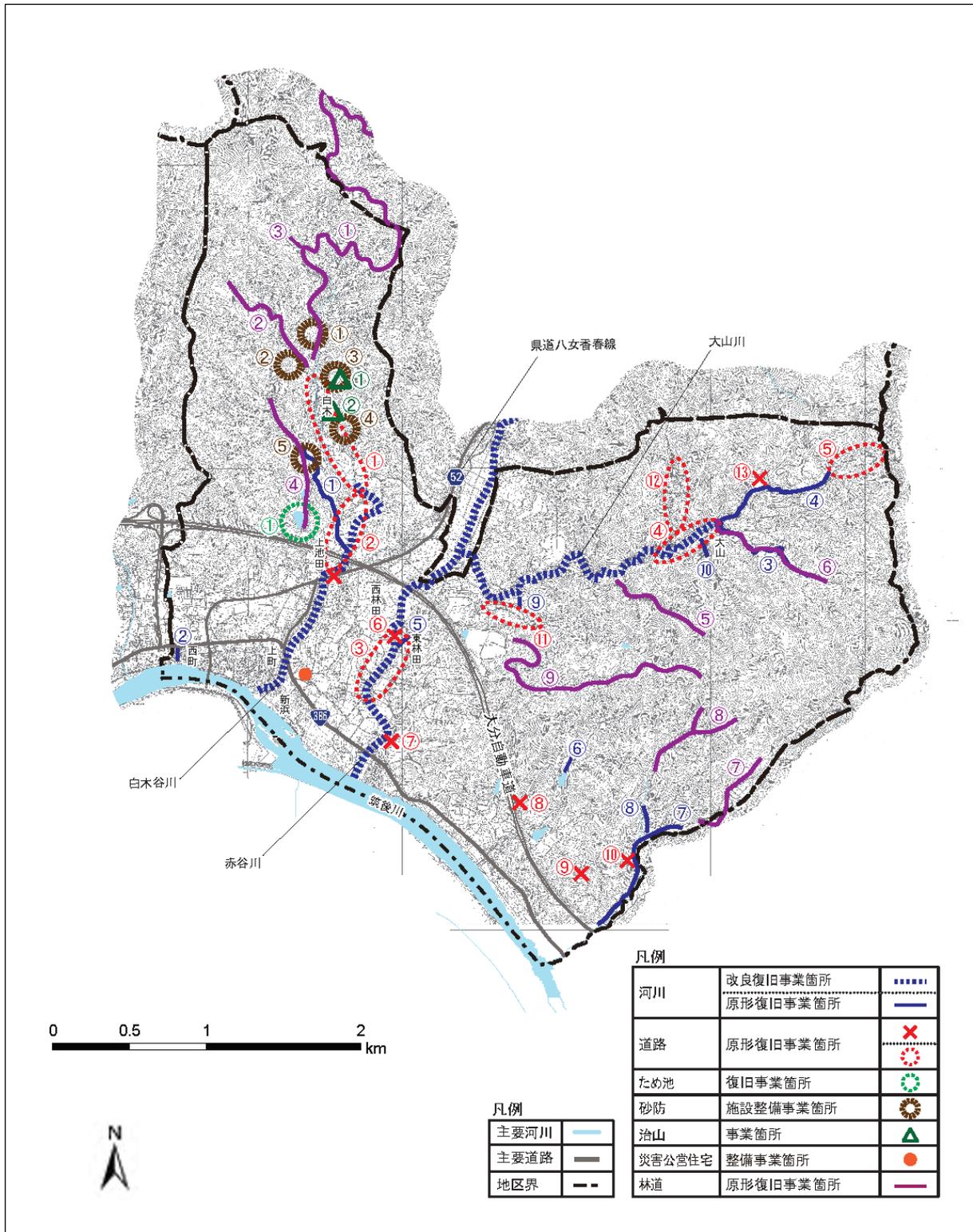
■ 旧河道の整備イメージ



旧河川敷の利活用イメージ

5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P145～P146 参照）



### 3) 久喜宮地区

#### 1. 現状

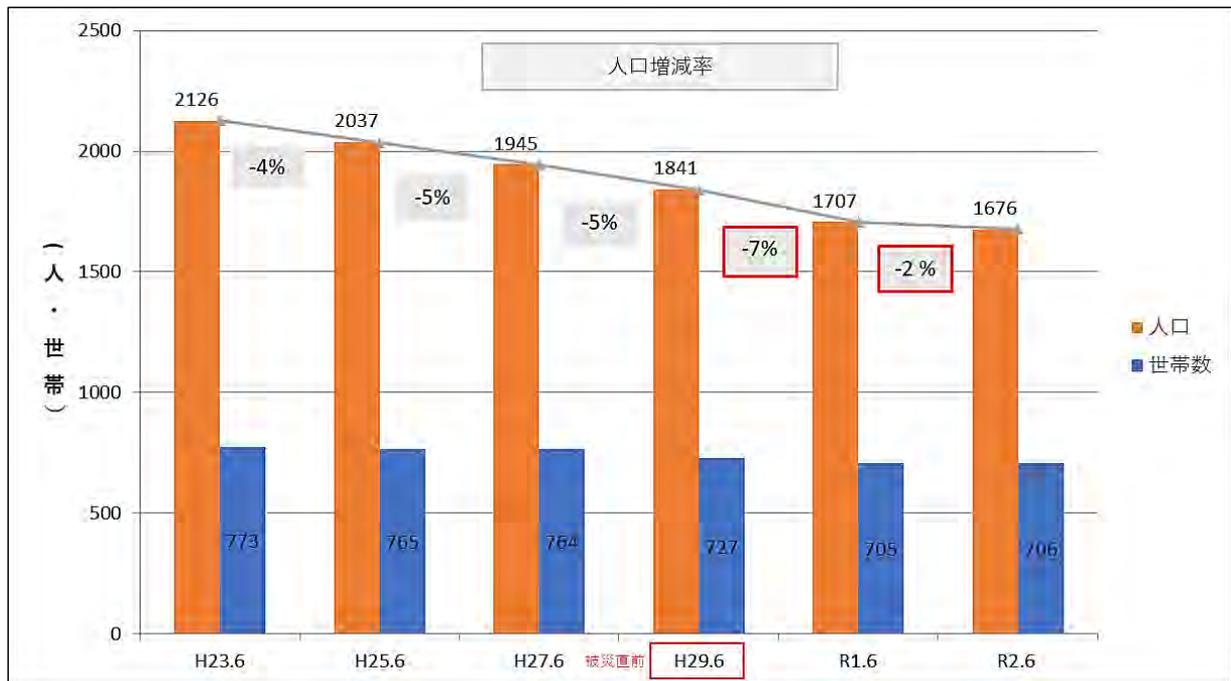
##### (ア) 地形

久喜宮地区は旧杷木町の中央部にあり、筑後川沿いの筑後平野から米山へ向かって尾根筋に沿って北上する形状をしています。平地部分に通る国道 386 号沿いには、県立朝倉光陽高等学校や道の駅等の施設が点在します。また、原鶴温泉の一部に当たるため、温泉宿やホテルなども多くみられます。

##### (イ) 人口

令和 2 年 6 月末現在、久喜宮地区の総人口は、1,676 人、世帯数は 706 世帯です。平成 23 年から令和 2 年の経年人口は、総数は緩やかに下降しています。平成 29 年 7 月九州北部豪雨の後は、人口減少率 -7% を記録しました。近年の世帯数はほぼ横ばいにあります。

久喜宮地区の人口推移



### (ウ) 歴史

米の山の南面と筑後川との間、西は米の山より伸びる大手連山と東は杷木地域西部低丘陵とに囲まれた小盆地の大部分を占める所が久喜宮地域です。

筑後川に沿う街道は、ここで盆地のほぼ中央を貫通し東西に走っていて、この地域の集落はこの山ろく部と街道すじに大別されます。

北部集落は、農業を主体とし、街道すじ集落は、江戸時代から宿駅のあったところで久喜宮村の政治・文化・経済等の中心地でもありました。

久喜宮宿は江戸時代筑前二一宿に数えられる宿場町として知られていました。

日田街道のうち、博多より二日市、大宰府、甘木、志波、久喜宮、日田と続く宿場で博多より二日市三里二六丁、二日市、甘木三里二二丁、甘木より志波三里五丁、志波、久喜宮、二五丁という里程でさらに日田隈町まで久喜宮より四里五丁と定められていました。

現在久喜宮、長念寺の西側あたりに、宿場の人馬継所、旅籠屋などがあったと思われます。久喜宮から日田街道を左に折れると次の宿場は小石原で、久喜宮宿は日田への往来と英彦山詣での旅人で賑わいました。

この久喜宮宿には制札場（せいさつば）があり、ここにいつも制札が建てられていたと思われます。

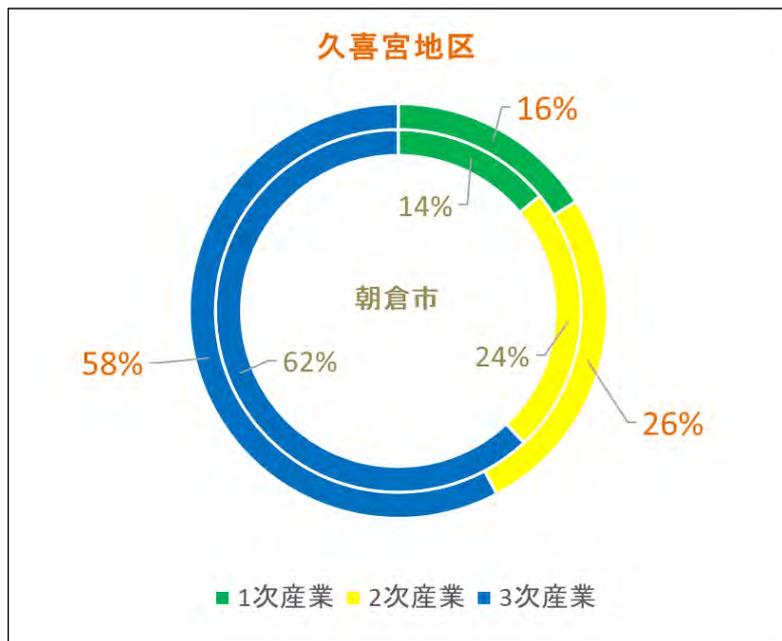
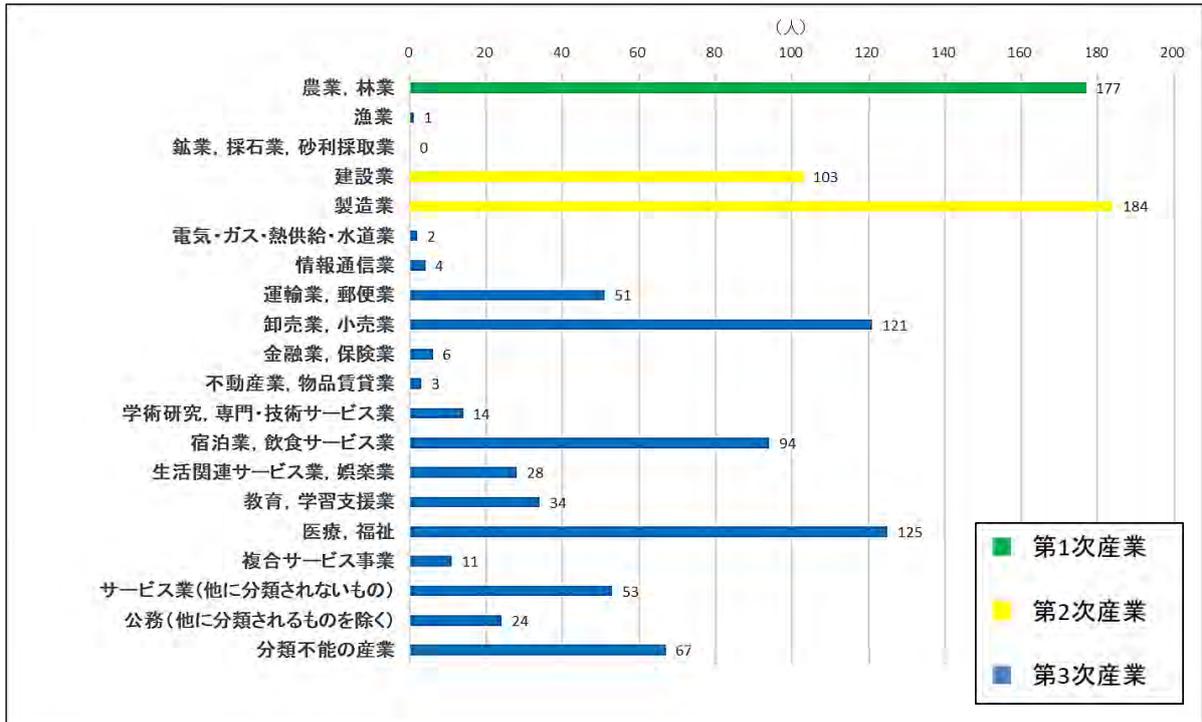
制札とは、禁止条項や制定された掟などを広く一般に知らせるため、神社、仏閣、並びに宿場などの人の多く集まる場所に建てられた高札（こうさつ）です。

(エ) 産業

平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち久喜宮地区の15歳以上の就業者数は1,102人です。

この地区の主な産業は製造業、農業・林業、医療・福祉の順になっています。

久喜宮地区の産業構造



参考：国勢調査

## (オ)資源

久喜宮地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・夕月神社
- ・大手山 2000 年公園
- ・大ひまわり園
- ・ファームステーションバサロ・道の駅「原鶴」
- ・川の駅「はらづる」
- ・原鶴温泉
- ・鶴飼い

久喜宮地区の資源マップ



久喜宮地区

伝統行事としては、7月に杷木須賀神社にて「久喜宮祇園山笠」が行われます。獅子舞や神輿、山笠が町内を練り歩きます。

この祭りは京都の八坂神社の祇園祭を起源とし、元禄八年（1695年）にはじめて山笠がつくられ、以来、毎年地元を輪番で祀られています。



久喜宮祇園山笠

原鶴温泉は、福岡県と大分県の県境にある、筑後川のほとりの静かな温泉郷です。

原鶴自慢の温泉は、弱アルカリ性で硫黄が混ざっており、古い角質を落とす性質と美肌効果を合わせ持った「W美肌の湯」として広く親しまれています。

宿泊だけでなく、立ち寄り湯もあり、多彩な温泉を楽しむことができます。



原鶴温泉

(カ)被災状況

久喜宮地区では、山腹崩壊による土砂災害により被害が生じるとともに、寒水川流域を中心に流下した大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地等への被害を拡大させました。



寒水区



古賀区

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件ありました。このうち久喜宮地区は81件と約2割を占めます。

久喜宮地区では、山腹崩壊による土砂災害により被害が生じるとともに、寒水川流域を中心に流下した大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地等への被害を拡大させました。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）

- ・寒水川の改良復旧と二次災害防止対策
- ・砂防、治山の計画提示、砂防ダムの新設
- ・生活排水路と取水口の早期復旧（生活排水路、浄化槽の排水不良の改善等）
- ・小学校跡地への住宅等の建設
- ・朝倉光陽高校の避難所指定、情報伝達手段の強化
- ・山間部の柿園、農道の早期復旧
- ・市道寒水・古賀線復旧に伴う山腹崩壊の対応
- ・寒水区公民館の再生 等

3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等が出された主な意見）

すまいとコミュニティの再建について

- ・嵩上げ事業について知りたい。（寒水区・古賀区）
- ・宅地嵩上げについて、嵩上げされない家屋の安全性を確保してほしい。また、宅地嵩上げと一体的に嵩上げする農業用水路が取水出来るよう構造をしっかりと検討してほしい。
- ・筑後川堤防沿いの浸水対策（古賀区浜川）について知りたい。
- ・久喜宮小学校跡地の活用（防災拠点、防災広場、宅地分譲）を計画どおり実施してほしい。
- ・プール解体に伴い、防火水槽を設置してほしい。
- ・小学校前の排水路に藻が発生している。浄化対策（窒素を取り除く浄化槽整備など）による水質改善を要望する。
- ・ダンプ走行に対する苦情（早朝から走っている etc.）
- ・古賀区上野地域で生活排水が垂れ流しとなっている所がある。
- ・古賀区浜川の排水問題を解決してほしい。
- ・原鶴区の冠水問題を解決してほしい。
- ・関係機関（国、県、市）からの事業報告を定期的実施してほしい。等

安全な地域づくりについて

- ・生活再建に影響を及ぼす寒水川復旧スケジュールを明確にしてほしい。
- ・市道寒水・古賀線、市道石ヶ迫・船底線、市道笹隈2号線の復旧計画について
- ・森林管理局の治山事業で入札不調が多くなっているが対策を講じ早期の復旧をお願いしたい。
- ・平原ため池、河原ため池（若市区）の浚渫について知りたい。等

産業・経済の復興について

—

4. 復興に向けた具体事業

(ア) すまいの再建促進宅地分譲事業 (P35 参照)

朝倉市では、市有地を宅地として分譲し、豪雨災害で住家が被災した市民に提供することで、地域コミュニティの維持及び市外への人口流出の抑制を図ります。

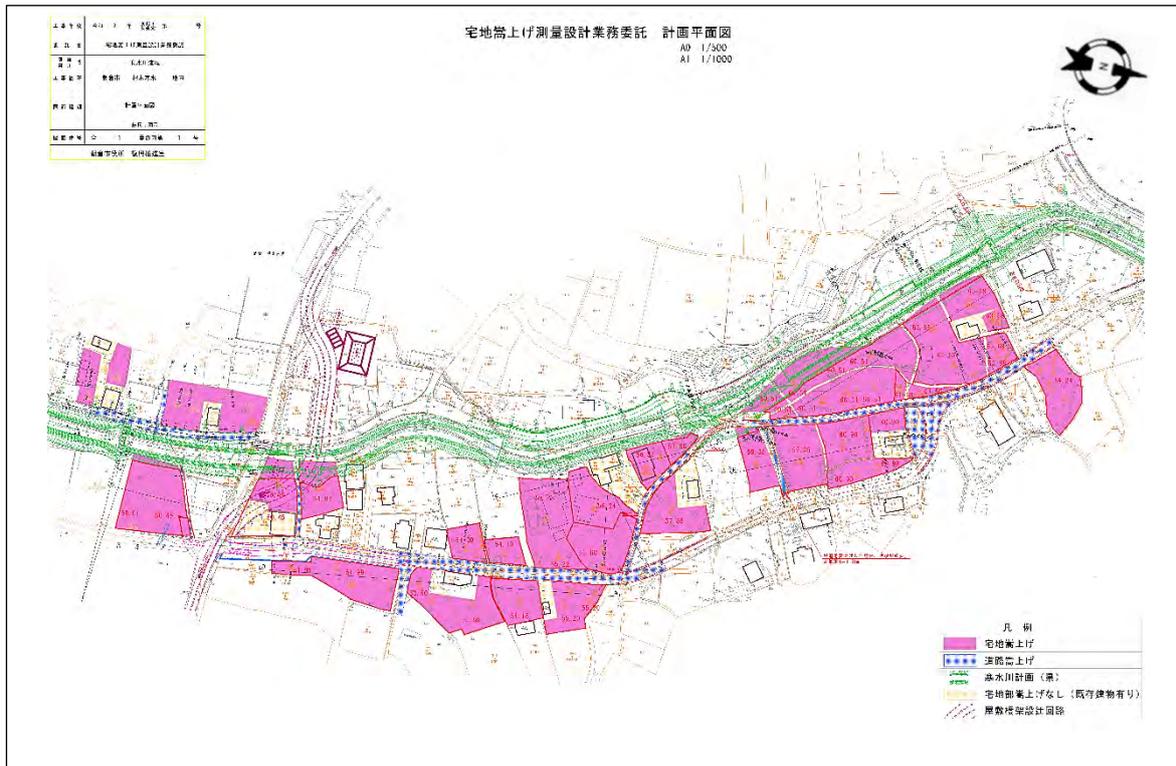
宅地分譲地として、久喜宮小学校跡地に 10 区画を整備・分譲しました。

(イ) 宅地嵩上げ事業 (P29 参照)

災害に強いまちとして復興するため、宅地嵩上げ事業を実施します。本事業では、堆積土砂による被災宅地及び公共施設の一体的な嵩上げ復旧を行い、すまいの現地再建及び生活環境の向上、安全性の向上したまちづくりを実現することを目的としています。

久喜宮地区における宅地嵩上げ予定箇所は以下のとおりです。

久喜宮地区における宅地嵩上げ予定箇所



(ウ)久喜宮小学校跡地活用 (P44 参照)

久喜宮地区の再生・発展に向けたまちづくりの取り組みとして、久喜宮小学校跡地に防災拠点施設や防災広場、さらに宅地分譲についても事業化しました。

防災拠点施設及び緊急避難場所が不足している久喜宮地区において、地区の防災拠点となる施設を整備し、地域コミュニティレベルでの地域防災力の向上を図ります。

①ゾーニング

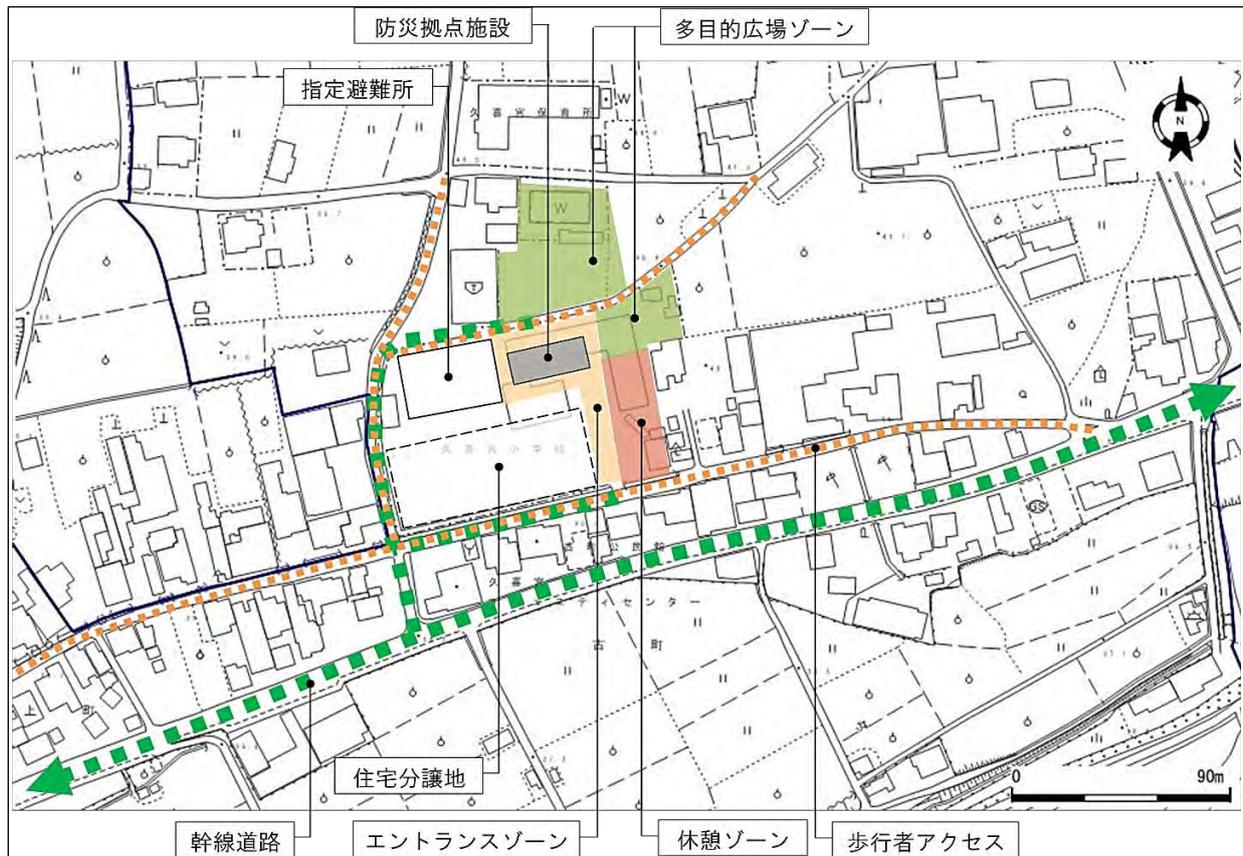
現在、各ゾーンに配置する主な施設（四阿、ベンチ(かまど付)、水飲み場、足洗い場等）を検討しています。令和3年度にさらに具体化を図ります。

以下に防災広場のゾーニングを示します。

<b>多目的広場ゾーン</b>	防災機能は以下を想定しています。 一時避難生活支援ゾーン、消防・救援、医療・救護活動ゾーン、 臨時駐車場等 平常時には、多目的広場として配置します。
<b>エントランスゾーン</b>	幹線道路からアプローチしやすい位置をエントランスゾーンとして 配置します。 防災機能は以下を想定しています。 避難者受入、情報伝達ゾーン、駐車場ゾーン等
<b>休憩ゾーン</b>	各ゾーンから利用しやすい位置に休憩ゾーンを配置します。 防災機能は以下を想定しています。 医療・救援活動ゾーン、避難ゾーン

久喜宮地区

### 久喜宮小学校跡地のゾーニング



### 久喜宮小学校跡地の活用イメージ図



## ②施設概要

平時は久喜宮地区の防災力の向上を図るため、防災訓練や地域活動、研修会等を通じて、防災教育の場として活用します。

災害時は、防災拠点施設として活用する他、ボランティアセンターや物資一時集積所として活用します。

### 防災拠点施設



## (エ)久喜宮地区「JA 筑前あさくら久喜宮ドリームファーム」(P44 参照)

被災農家が早期に営農再開しやすい対策として、「JA 筑前あさくら久喜宮ドリームファーム」を新設されました。

平成 29 年 7 月九州北部豪雨で、山間地や河川沿いをはじめとする多くの農地、樹園地が被害に遭いました。

その後の朝倉地域農家の復興を推し進め、被災農家が早期に営農再開しやすい対策をはかるために、このファーム事業に着手されました。

久喜宮ドリームファームは、農地中間管理機構を通じ、荒廃していた農地をJA 自ら借り受け、新たな園芸ハウス（アスパラガス）として再生されました。

当初の 2 年間はJA 自らが農業経営し、2 名の方と生産管理委託契約を締結されます。

その方達を「ファームディレクター」と名付け、アスパラガス部会や関係機関のバックアップのもと、栽培に関するノウハウを学んでいただきます。3 年後にはJA からこのファームの経営移譲をはかれます。

久喜宮ドリームファームをモデルとし、今後の被災地区で展開をはかると共に、営農復興の起爆剤となるよう取り組まれています。

## 施設概要

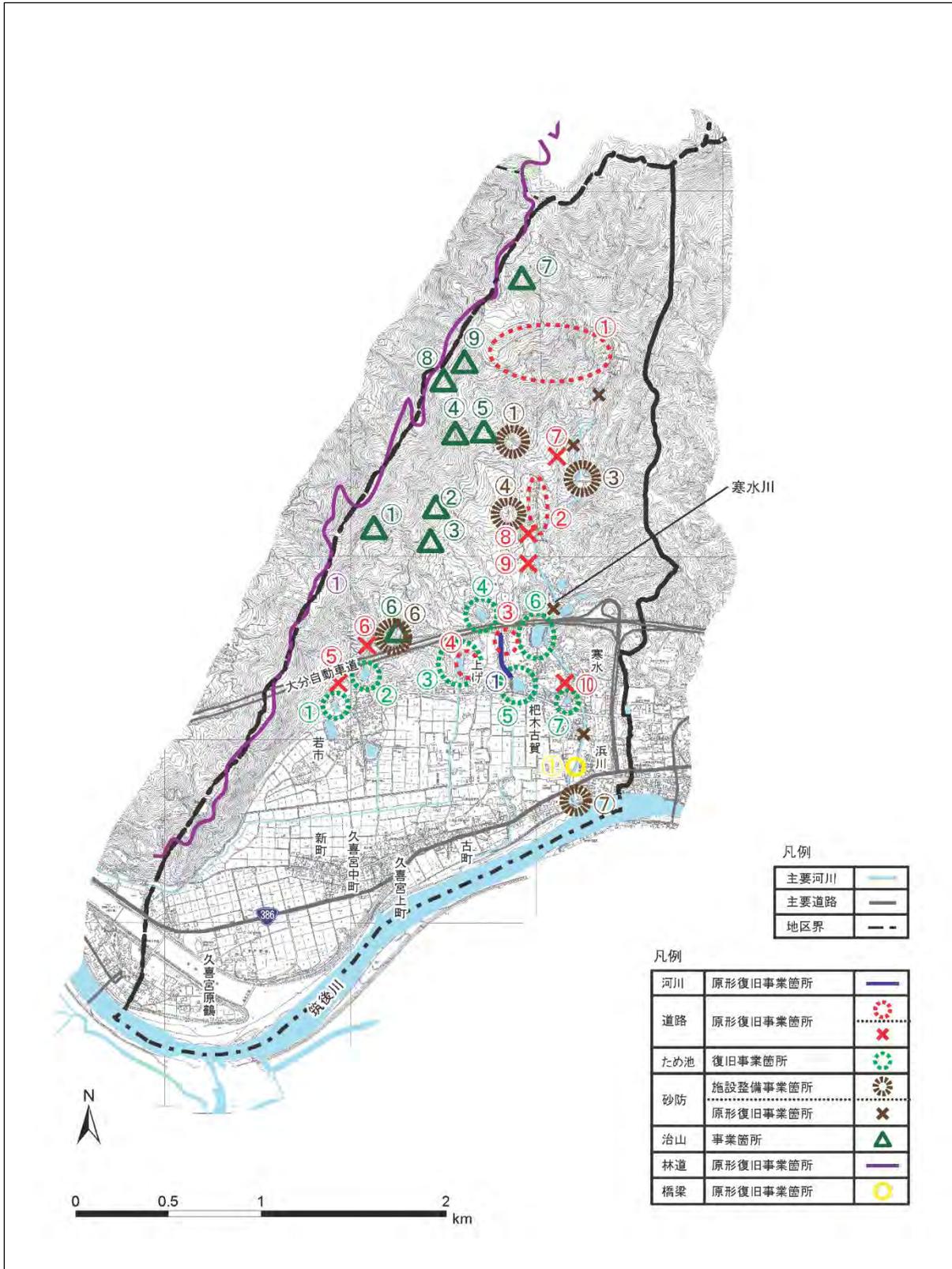
項目	概要
施主	筑前あさくら農業協同組合
施設	アーチパイプハウス 10 棟 2,748 m <sup>2</sup>



久喜宮ドリームファーム

5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P146 参照）



## 4) 志波地区

## 1. 現状

## (ア) 地形

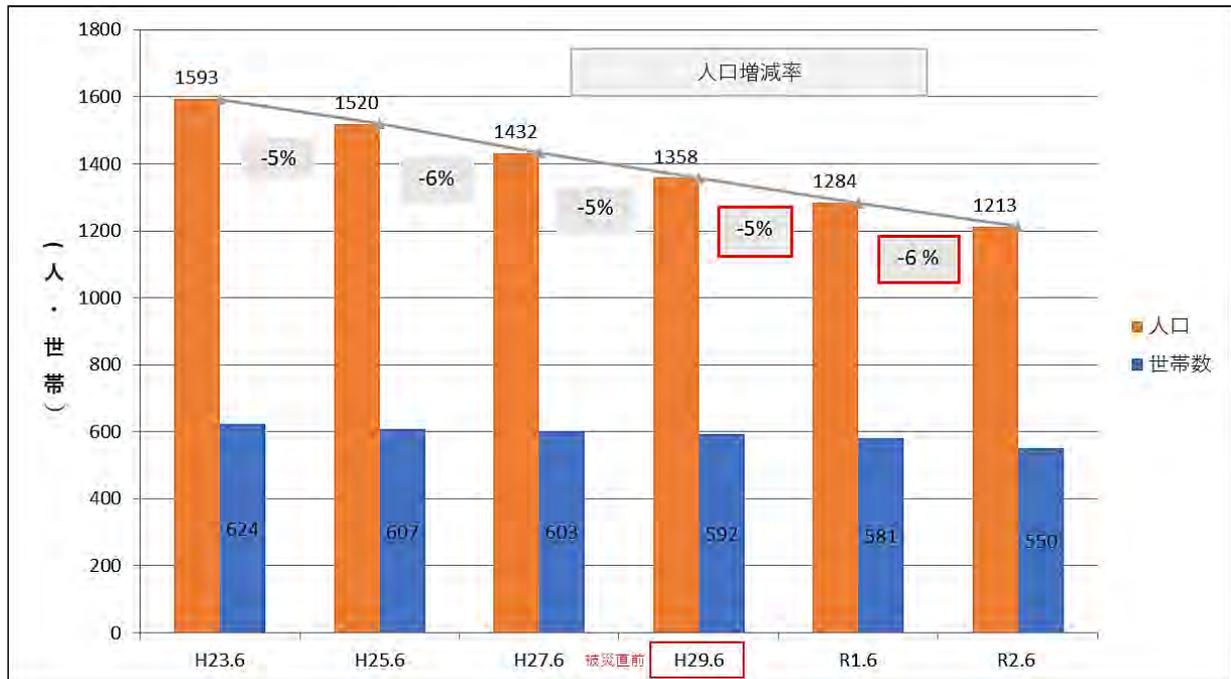
志波地区は、杷木地域の西部に位置し、筑後川と接し、筑後川にそそぐ北川が中央に流れています。

北川の東側にある山腹では、段状の農地が広がり、北川の谷筋に集落が点在しています。また、久喜宮地区と接する筑後川沿いは原鶴温泉があり、温泉旅館やホテルが並びます。

## (イ) 人口

令和2年6月末現在、志波地区の総人口は、1,213人、世帯数は550世帯です。平成23年からの経年人口は減少しており、世帯数も減少傾向にあります。

志波地区の人口推移



## (ウ) 歴史

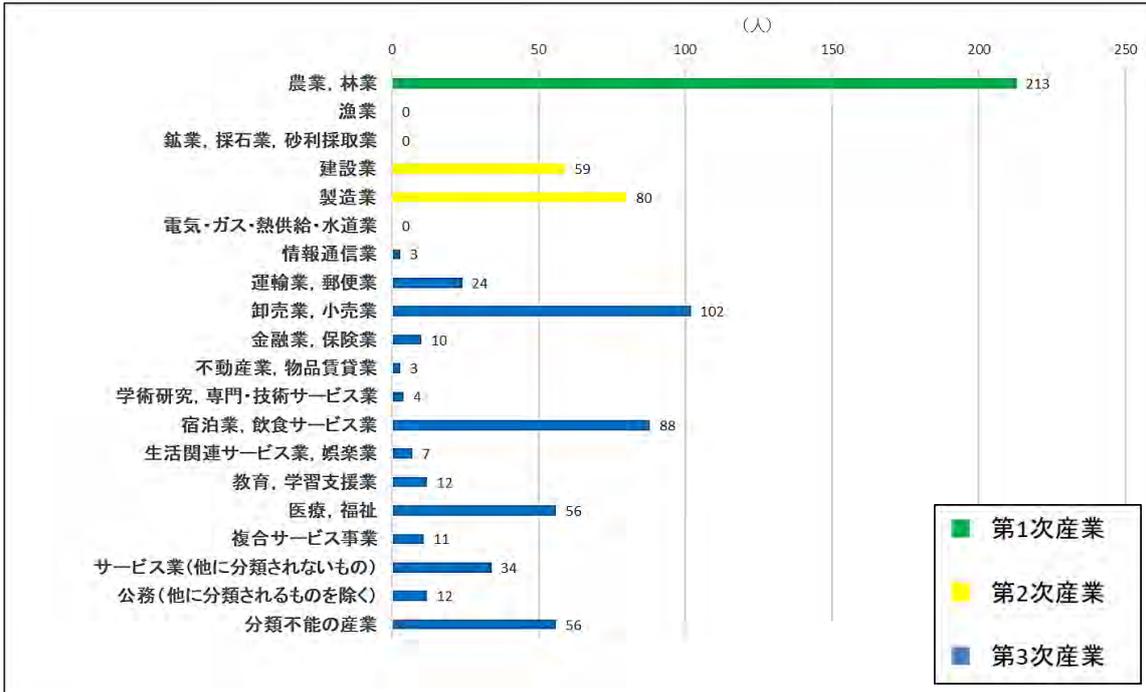
旧杷木町にあった志波村は、昭和26年に杷木町、久喜宮村、松末村と合併して杷木町となり、平成18年に甘木市、朝倉町と合併し、朝倉市となりました。

(エ) 産業

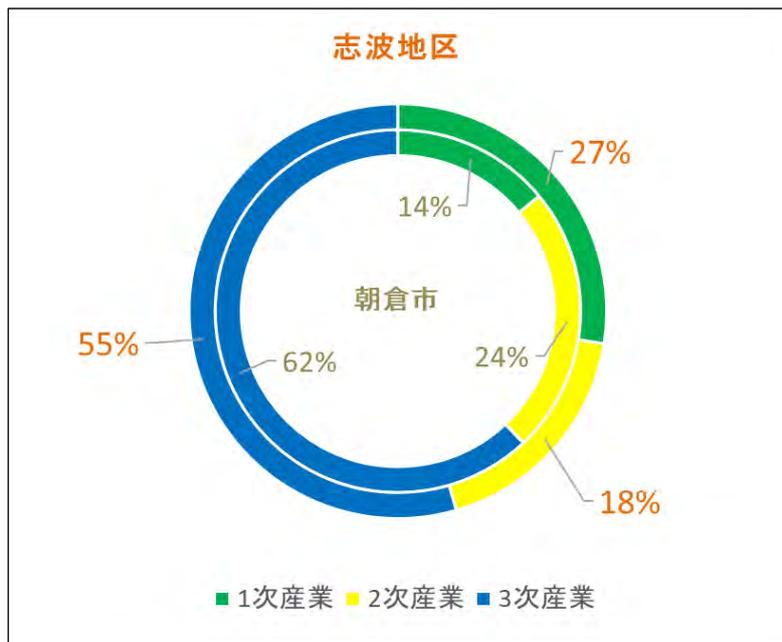
平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち志波地区の15歳以上の就業者数は774人です。

この地区の主な産業は農業・林業、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業の順になっています。

志波地区の産業構造



志波地区



参考：国勢調査

## (オ)資源

志波地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・ 第15代横綱梅ヶ谷生家跡
- ・ 昇龍大観音
- ・ 普門院本堂
- ・ 円清寺
- ・ 原鶴温泉

志波地区の資源マップ



原鶴温泉は、福岡県と大分県の県境にある筑後川のほとりの静かな温泉郷です。

原鶴自慢の温泉は、弱アルカリ性で硫黄が混ざっており、古い角質を落とす性質と美肌効果を合わせ持った「W 美肌の湯」として広く親しまれています。

宿泊だけでなく、立ち寄り湯もあり、多彩な温泉を楽しむことができます。



原鶴温泉

(カ)被災状況

志波地区では、多数の土砂災害により被害が生じるとともに、北川や平川等において、流下した大量の土砂や流木を伴って河川が氾濫し、周辺家屋や農地等への被害を拡大させました。



北川



道目木区

志波地区

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件ありました。このうち志波地区は32件と約1割を占めます。

志波地区では、多数の土砂災害により被害が生じるとともに、北川や平川等において、流下した大量の土砂や流木を伴って河川が氾濫し、周辺家屋や農地等への被害を拡大させました。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）
  - ・河川の改良復旧、砂防・治山等の計画の提示
  - ・二次災害防止対策（菜種梅雨、梅雨対策）
  - ・避難場所の整備、避難路の確保
  - ・農地、ため池、生活排水路の早期復旧
  - ・集団移転や住宅移転先の整備の検討
  - ・防災マップの見直し
  - ・復旧・復興への予算の重点化 等

3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

#### すまいとコミュニティの再建について

- ・文化財の関係で志波小グラウンドの宅地分譲に時間を要し、被災された方々がこの地域に戻るができなかった。このことに問題があることを市は認識すべきである。
- ・市有地の分譲（富有ヶ丘団地、市営志波団地）の検討
- ・志波小学校跡地活用（宅地分譲、防災拠点）
- ・古い校舎は解体をまずしたい。
- ・小学校校舎の解体・改修を早期にお願いしたい。
- ・小学校の調理室を営利目的の加工所としても利用できるようにしてほしい。
- ・旧志波小学校の避難所（避難場所）機能の充実
- ・今年から、志波小を避難所として利用して良いのか。等

#### 安全な地域づくりについて

- ・復旧工事の国県市の連携を密にしてほしい。
- ・二千年公園の林道が災害を大きくしたことを行政は理解してほしい。その改善が志波と道目木の願い。等

#### 産業・経済の復興について

- ・「農地・農業用施設の復旧」と「営農・経営再開支援」は、同時進行しないと復興にはならない。今後の志波の農業を考えながら復旧することが必要である。等

## 4. 復興に向けた具体事業

## (ア) すまいの再建促進宅地分譲事業 (P35 参照)

朝倉市では、市有地を宅地として分譲し、豪雨災害で住家が被災した市民等に提供することで、地域コミュニティの維持及び市外への人口流出の抑制を図ります。

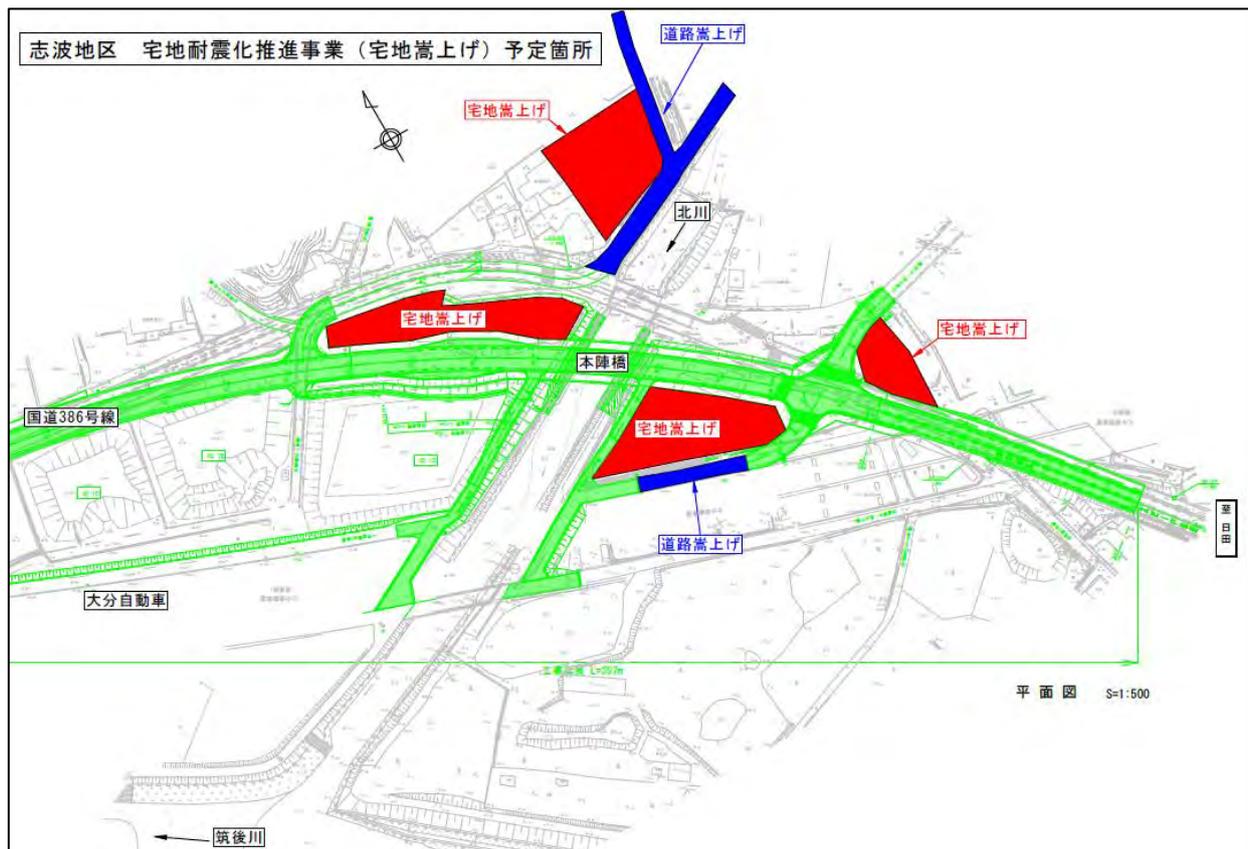
宅地分譲地として、地域の意向を踏まえながら、志波小学校跡地に宅地の整備を図ります。

## (イ) 宅地嵩上げ事業 (P29 参照)

災害に強いまちとして復興するため、宅地嵩上げ事業を実施します。本事業では、堆積土砂による被災宅地及び公共施設の一体的な嵩上げ復旧を行い、すまいの現地再建及び生活環境の向上、安全性の向上したまちづくりを実現することを目的としています。

志波地区における宅地嵩上げ予定箇所は以下のとおりです。

志波地区における宅地嵩上げ予定箇所



### (ウ) 志波小学校跡地活用 (P45 参照)

志波地区の再生・発展に向けたまちづくりの取り組みとして、志波小学校跡地に防災拠点施設や防災広場、さらに宅地分譲等についても事業化を検討します。

防災拠点施設及び緊急避難場所が不足している志波地区において、地区の防災拠点となる施設を整備し、地域コミュニティレベルでの地域防災力の向上を図ります。

#### ①イメージ

現在、各ゾーンに配置する主な施設（四阿、ベンチ(かまど付)、水飲み場、足洗い場等）を検討しています。令和3年度にさらに具体化を図ります。

##### a. 施設概要

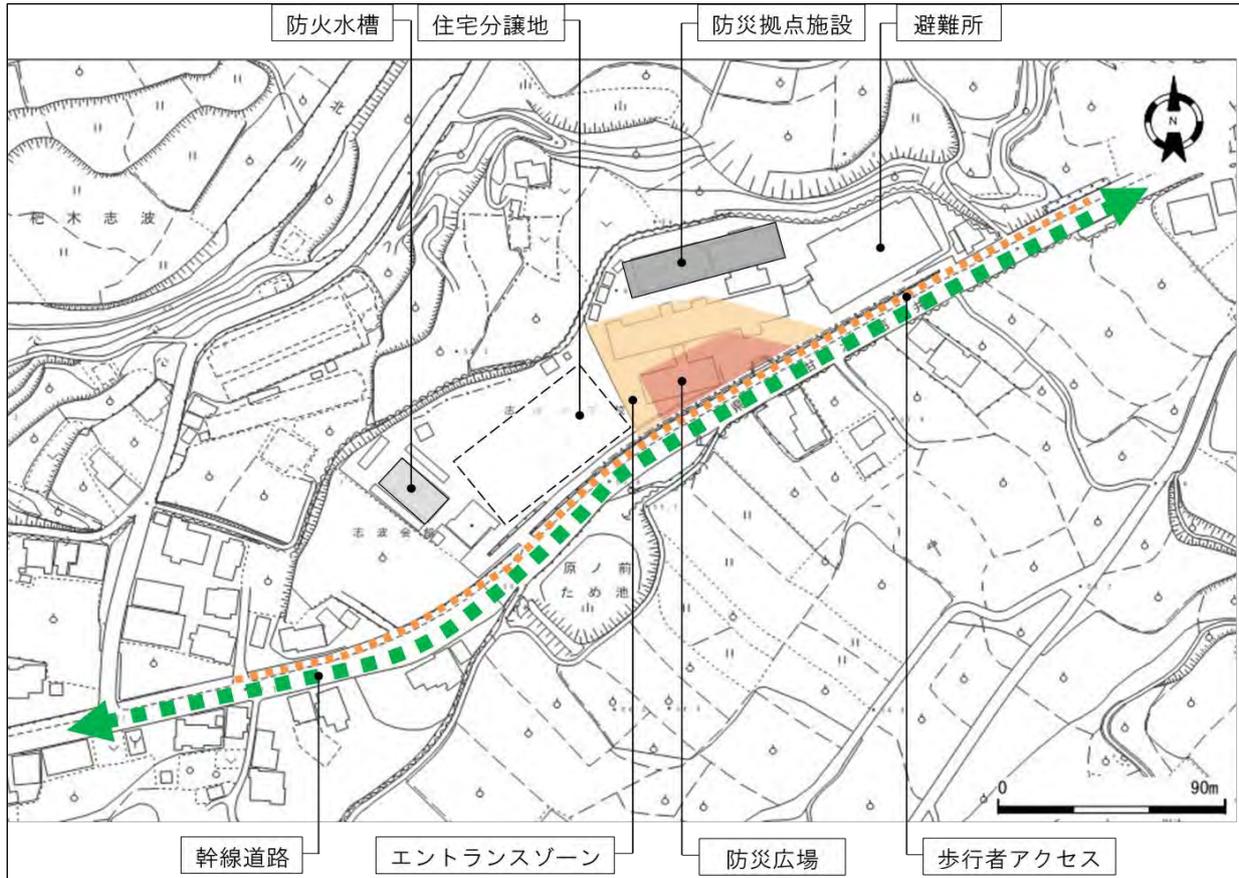
平時は志波地区の防災力の向上を図るため、防災訓練や地域活動、研修会等を通じて、防災教育の場として活用します。

災害時は、防災拠点施設として活用する他、ボランティアセンターや物資一時集積所として活用します。

##### b. 防火水槽

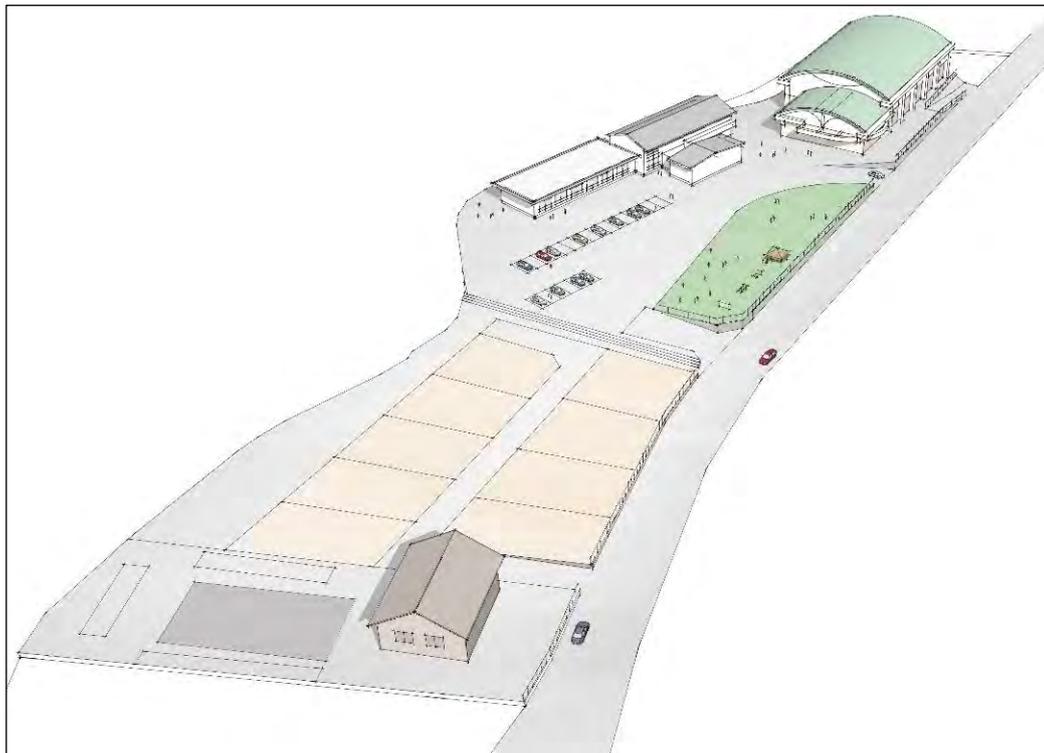
宅地分譲地及び防災拠点施設等を中心とした地域防災を目的として、防火水槽を整備します。

志波小学校跡地のイメージ図



志波地区

志波小学校跡地の活用イメージ図

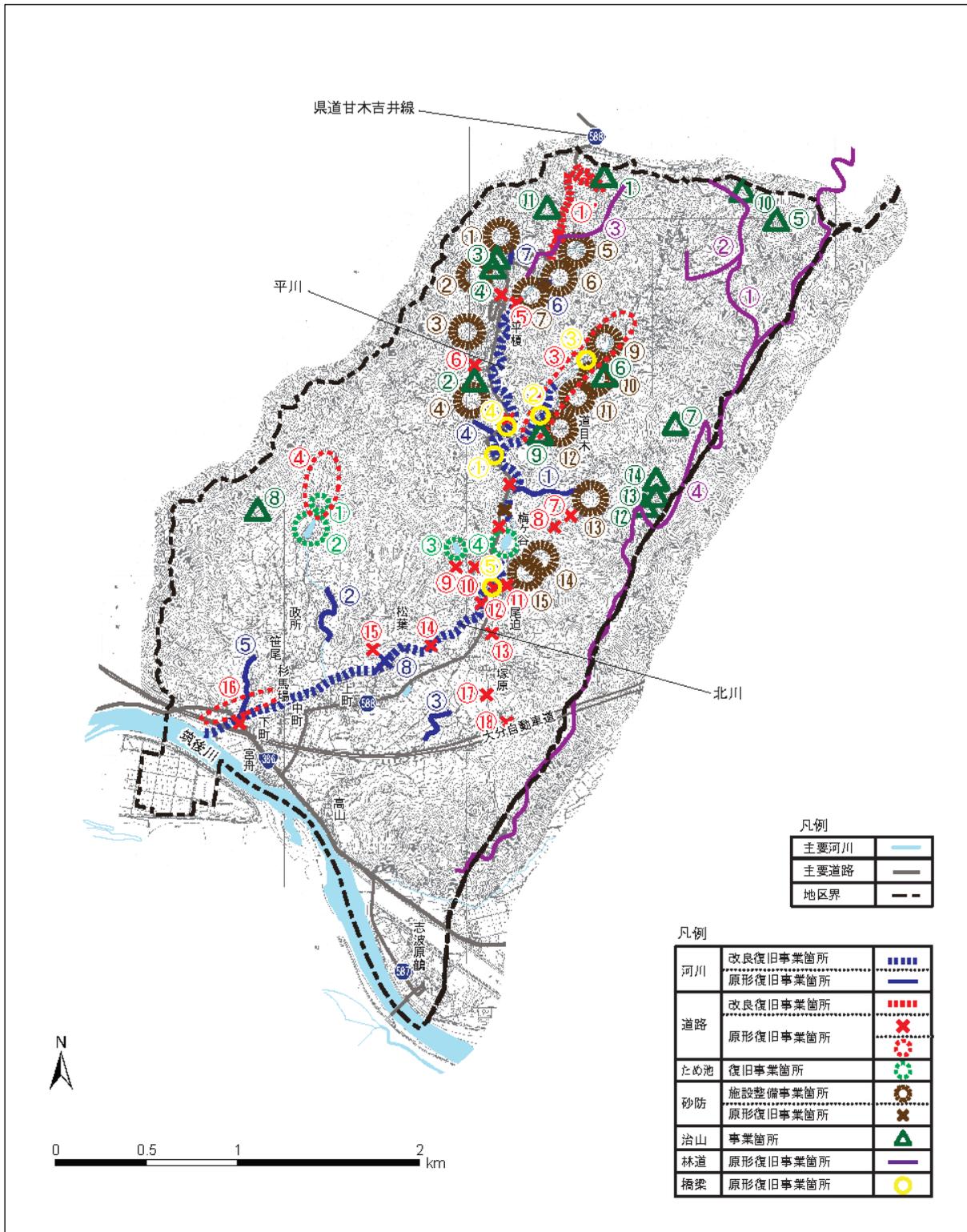


5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。

（参考資料 P146～P148 参照）

志波地区



5) 朝倉地区

1. 現状

(ア) 地形

朝倉地区は、朝倉市のほぼ中央に位置し、北部には朝倉低山地に属する山々を背にし、東は志波地区に隣接し、西は旧甘木市に隣接した、山と川と田園の3つで構成された地区です。

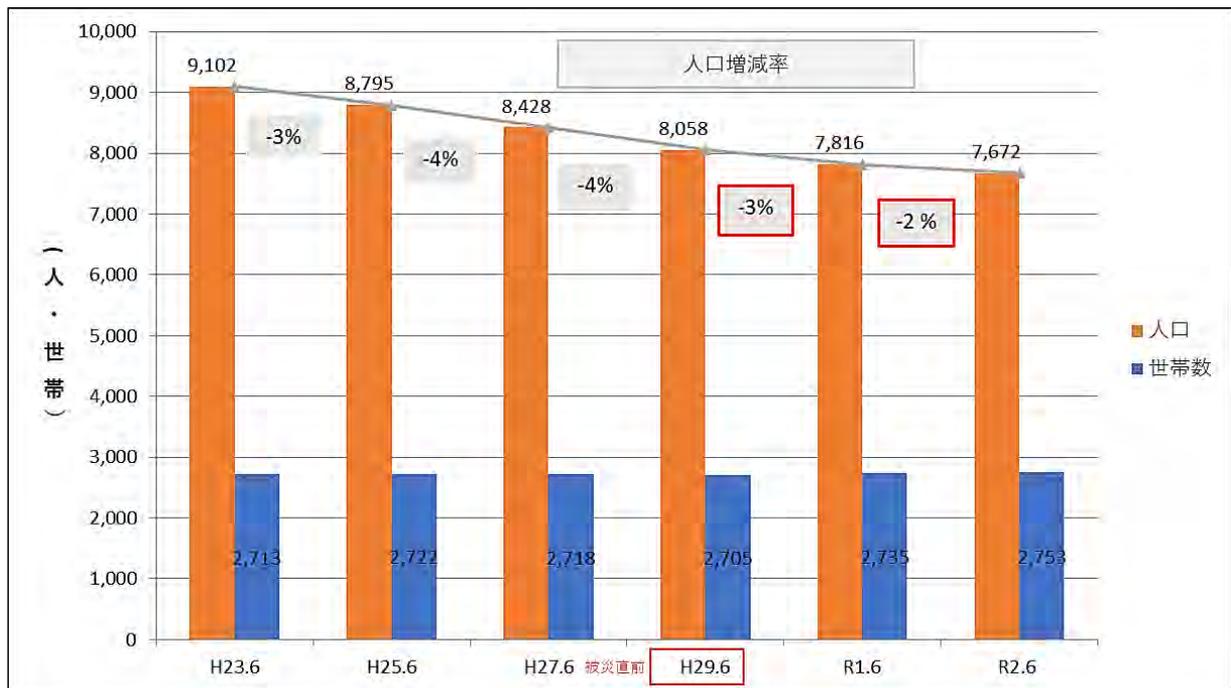
また、この地区には、荷原川、桂川、新立川、妙見川、奈良ヶ谷川の5つの主な川があり、いずれも筑後川へ合流します。

(イ) 人口

令和2年6月末現在、朝倉地区の総人口は、7,672人、世帯数は2,753世帯です。

平成23年から令和2年の経年人口は、総数は下降していますが、近年の減少率は鈍っています。世帯数はほぼ横ばいがありますが、令和2年には上昇しています。

朝倉地区の人口推移



(ウ) 歴史

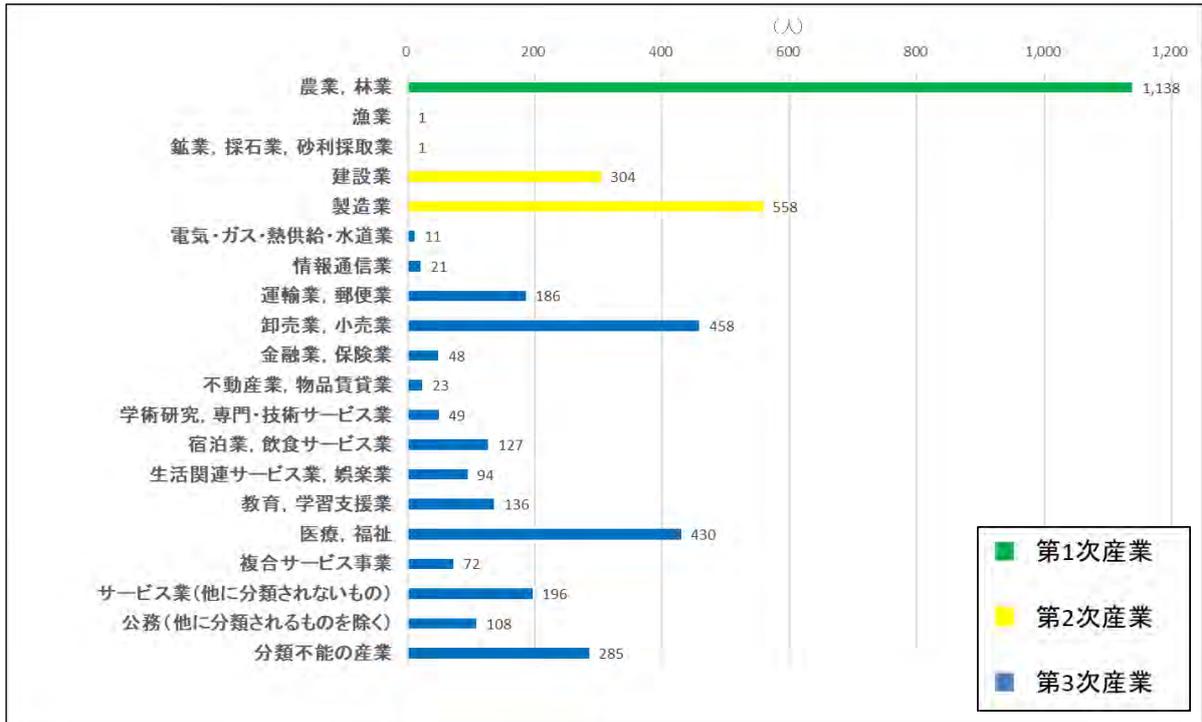
旧朝倉町の母体となった朝倉郡は上座、下座、夜須の三郡からなる。明治29年にこれらが合併して朝倉郡となり、昭和30年に朝倉村、宮野村、大福村が合併して朝倉村となった。昭和37年の町制施行により朝倉町となり、平成18年に甘木市、杷木町と合併して朝倉市となりました。

(エ) 産業

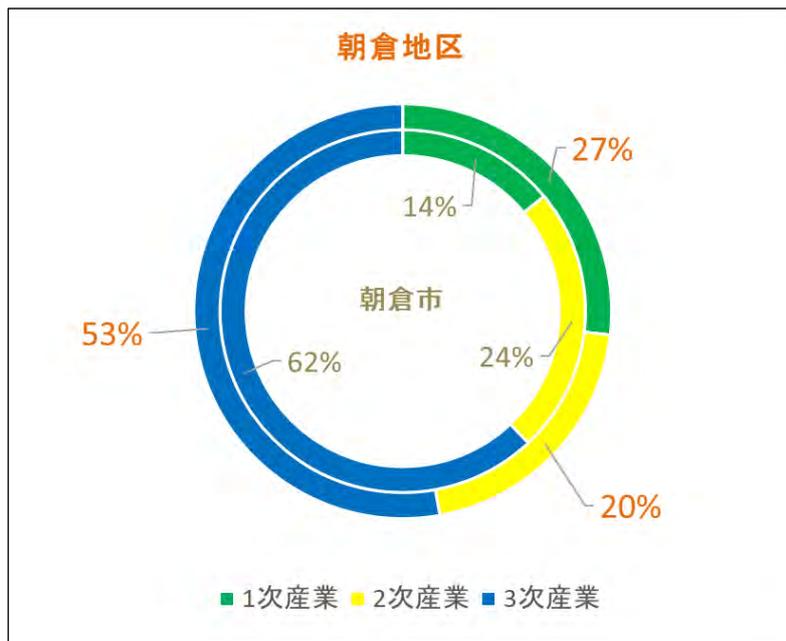
平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち朝倉地区の15歳以上の就業者数は4,246人です。

この地区の主な産業は農業・林業、製造業、卸売業・小売業の順になっています。

朝倉地区の産業構造



朝倉地区



参考：国勢調査



(カ)被災状況

朝倉地区には、桂川や荷原川、新立川、妙見川、奈良ヶ谷川といった河川が流れており、これらの河川上流部での土砂災害、中下流部での大量の土砂や流木を伴った河川氾濫により、周辺家屋や農地、ため池等への被害を拡大させました。



桂川（比良松中学校）



三連水車の里あさくら

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件ありました。このうち朝倉地区は41件と約1割を占めます。

朝倉地区

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1210	727	592	2,705	186	1274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

## 2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）

- ・河川の改良復旧、浚渫、土砂・流木対策、内水対策
- ・将来を見据えた農地復旧、災害で発生した土砂の有効活用
- ・危険なため池の確認、対策
- ・地域の事情・特性に応じた防災体制の構築、情報伝達手段の検討
- ・市民との積極的な情報共有（コミュニティや区長会の活用）
- ・朝倉インターチェンジの利便性を活かした地域づくり 等

## 3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

## すまいとコミュニティの再建について

- ・買い物難民対策 等

## 安全な地域づくりについて

- ・桂川災害復旧工事完了後の安全対策
- ・土砂置場利用後の復旧・活用等
- ・地域放送の整備
- ・河川改修に伴う安全柵の整備
- ・防火水槽の設置 等

## 産業・経済の復興について

- ・朝倉インター周辺の活用について知りたい。新たな駐車場の整備
- ・農地の復旧について知りたい。
- ・復興実施計画には農業振興とあわせ、商工業振興も必要。高速ICの活用、田主丸の誘致企業の活用などにも取り組んでほしい。
- ・若い世代への優遇措置や支援措置を強化してほしい。
- ・食に対する意識が高まる中、農業は朝倉の強みとして食と農をつないだ検討が必要。
- ・今後の検討は、コミュニティ会長や事務局と相談しながら進める。
- ・将来的に朝倉庁舎は、一括して民間活用まで考えるべき
- ・朝倉支所の有効活用 等

4. 復興に向けた具体事業

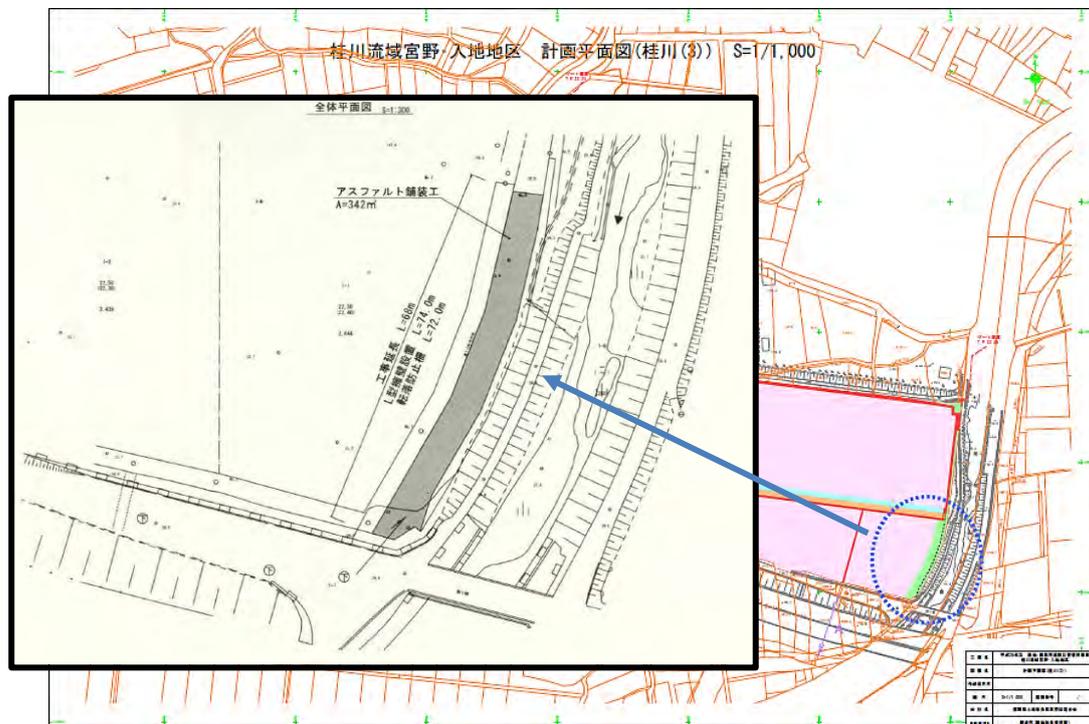
(ア)朝倉インターチェンジ周辺の利便性向上 (P52 参照)

朝倉地区の産業・経済の復興に向け、交通の要所となる朝倉インターチェンジ周辺の利便性向上を検討します。

朝倉地区の産業・経済の復興に向け、交通の要所となる朝倉インターチェンジ周辺の利便性を向上します。令和4年4月より供用開始予定です。15台から25台に増設し、インターチェンジまでの距離を370mから200mに短縮させます。

また、駐輪場の新設について、令和2年1月より併用開始しました。駐輪可能台数は40台です。

朝倉インターチェンジ付近の駐車場等の位置図



新設した駐輪場



## (イ) 土砂置場完成後の農地の復興

宮野土砂置場は被災農地（果樹）を土砂置場として活用し、盛土完了後の土地利用について活用方法を検討します。飲料用ぶどう畑として利用することが合意されており、令和3年度の作付けから実施する予定です。

宮野土砂置場の位置図



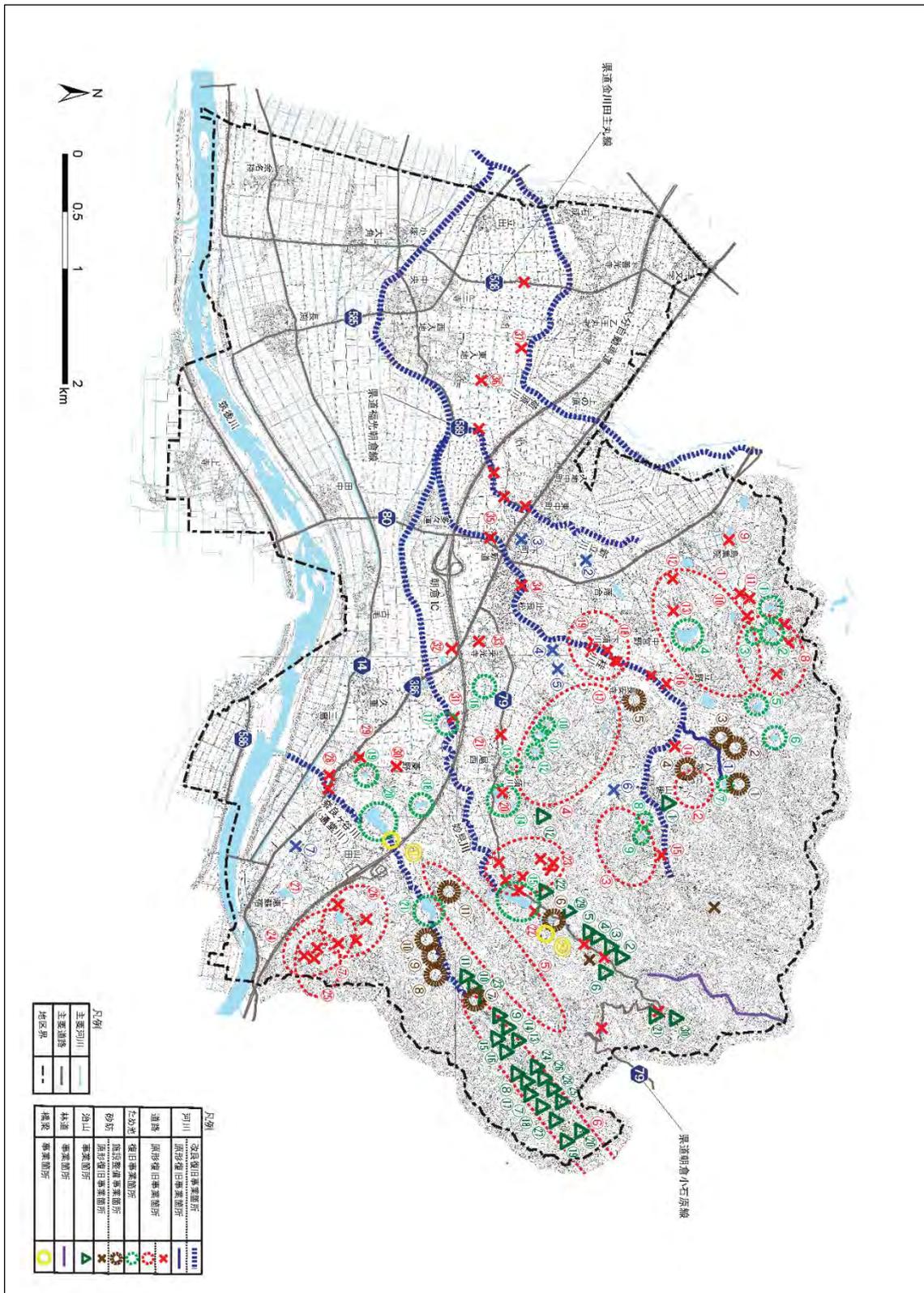
宮野土砂置場の現地状況（令和2年11月撮影）

5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。

（参考資料 P148～P151 参照）

朝倉地区



## 6) 高木地区

### 1. 現状

#### (ア) 地形

高木地区は朝倉市の北東部、筑紫山地に囲まれた地区です。北側は東峰村に隣接しています。

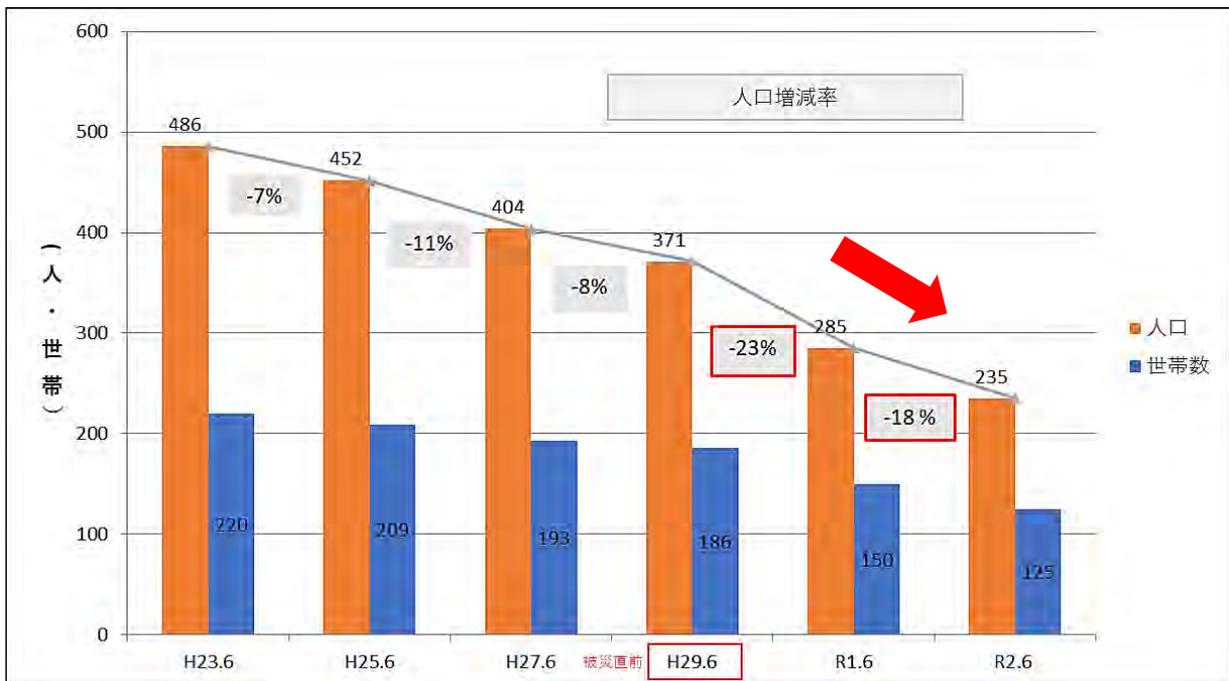
地区内には佐田川が高木地区を横断するように流れ、筑後川に合流します。また、他の主な川に黒川、疣目川があり、これは佐田川へ合流します。この3つの川の谷筋に集落と段状の田畑が見られます。

#### (イ) 人口

令和2年6月末現在、高木地区の総人口は、235人、世帯数は125世帯です。

平成23年から令和2年の経年人口は、他地区に比較して過疎化が大きくなっています。平成29年7月九州北部豪雨の影響を受け、人口減少率は20%前後まで大きく落ち込んでいます。

高木地区の人口推移



高木地区

#### (ウ) 歴史

明治22年の町村制度施行により高木村が発足しましたが、明治29年には朝倉郡に属することになります。しかし、郡役所の廃止によって高木村が存続するようになりましたが、昭和30年に甘木市へ編入しました。

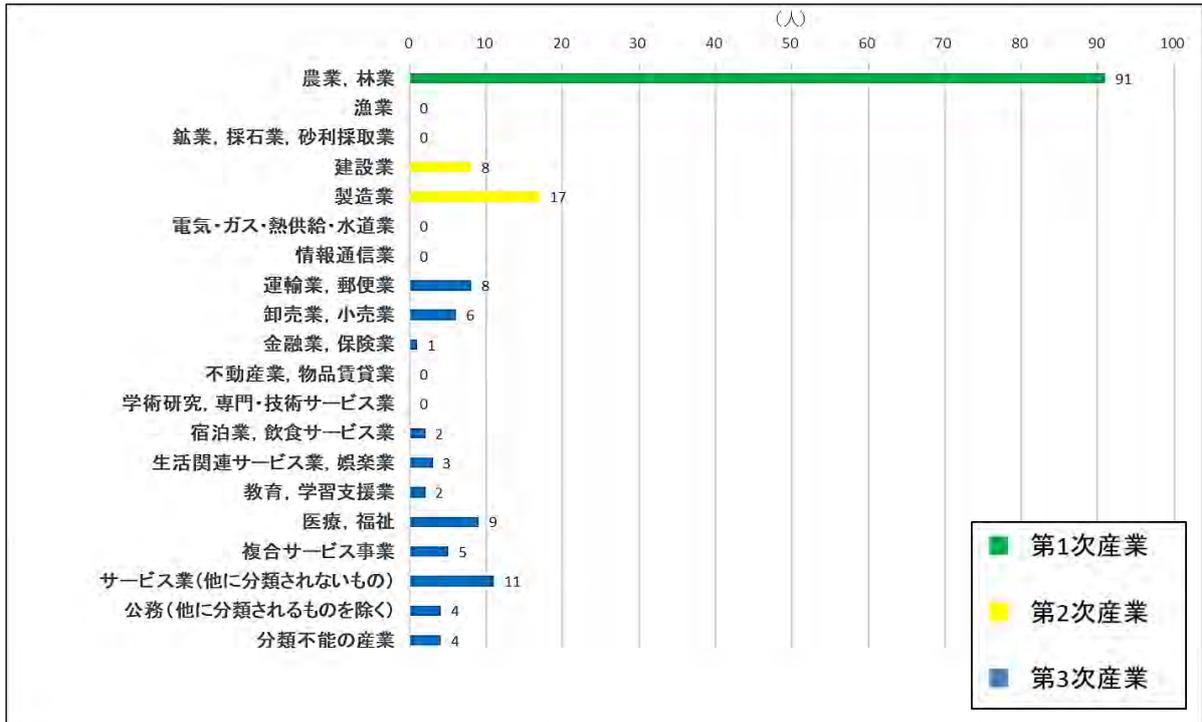
そして、平成18年に朝倉町、杷木町と合併し、朝倉市となりました。

(エ) 産業

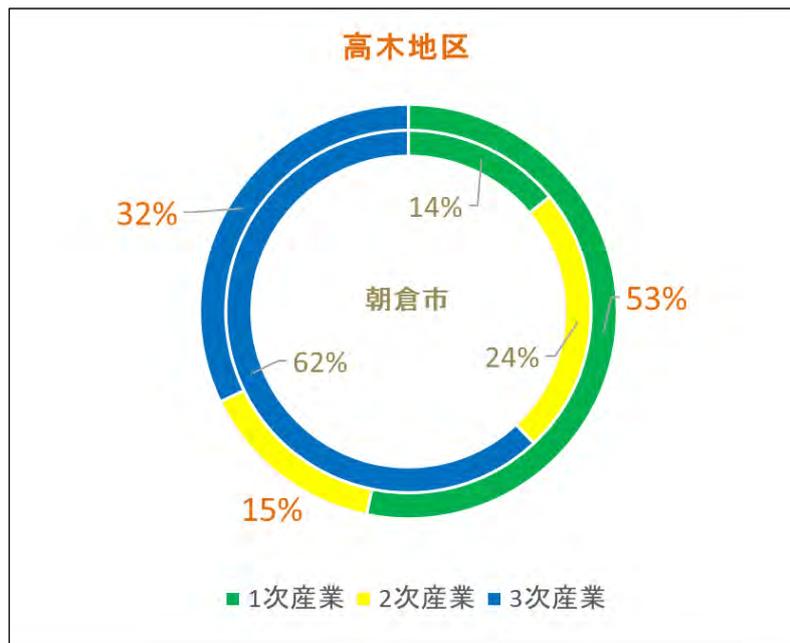
平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち高木地区の15歳以上の就業者数は171人です。

この地区の主な産業は農業・林業、製造業、サービス業（他に分類されないもの）の順になっています。

高木地区の産業構造



高木地区



参考：国勢調査

## (オ)資源

高木地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・ 中世黒川院関連遺跡群
- ・ 共星の里
- ・ 音楽館
- ・ たかき清流館
- ・ ホタルの生息スポット
- ・ 寺内ダム、美奈宜湖

高木地区の資源マップ



たかき清流館は廃校になった小学校の木造校舎を利用した体験・宿泊施設です。すぐ目の前には美しい清流が流れ、自然のプールで水遊びを楽しむこともできます。シャワーも完備されており、教室を丸ごと貸切ったりバーベキューを楽しんだり木工体験など各種体験もでき、夏休み期間中は予約でいっぱいになる日が多いです。



たかき清流館

共星の里は廃校になった小学校を利用したアート空間です。国内外の現代アートを鑑賞できるほか、石ころアートやTシャツ・王冠などのアート体験も豊富です。アートをゆっくり楽しんだ後は、「黒川INNレストラン」でコーヒーまたはジュースのサービスがあります。



共星の里

(カ)被災状況

山間部に位置する高木地区では、多数の土砂災害による直接的な被害のほか、佐田川、黒川、疣目川等において、流下した大量の土砂や流木を伴って河川が氾濫し、周辺家屋の倒壊・流出や農地・農業用施設等の浸水被害が生じました。



佐田川（出典：国土地理院）



黒川

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件ありました。このうち高木地区は39件と約1割を占めます。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

高木地区

## 2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）課題

- ・安心して住むことができる場所の確保
- ・高齢化や人口減少が進む中での地域の将来の在り方の検討
- ・安全を第一に自然を守り、自然に帰すような河川復旧
- ・道路の早期復旧（市道山田黒川線、県道甘木吉井線の線形改良ほか）
- ・住民の命と安全を守るための砂防ダムの建設
- ・避難所の整備（指定）、情報伝達手段の検討
- ・農地、農業用施設（農道、水路）の早期復旧
- ・水源地としての自然環境の保全整備、治水計画の見直し（寺内ダム上流域）等

## 3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

## すまいとコミュニティの再建について

- ・宅地嵩上げ事業の希望状況を知りたい。
- ・長期避難世帯認定の解除について知りたい。
- ・避難所（佐田コミュニティセンター）について知りたい。
- ・コミュニティバスの運行や全面通行止め（牟田～田代間）について知りたい。
- ・コミュニティ運営が厳しくなり、見直しを検討してほしい。
- ・H29.7は過疎化を10年加速させた。等

## 安全な地域づくりについて

- ・山田黒川線の復旧を急いでほしい。等

## 産業・経済の復興について

- ・営農・経営再開について具体的な支援策があるのか知りたい。後継者問題も深刻。
- ・コミュニティの維持を第一に考え、地域にあった農業や振興策を検討する必要がある。等

#### 4. 復興に向けた具体事業

##### (ア) 砂防・治山ダム下流域の水路整備

平成29年7月九州北部豪雨等で被災を受けた被災地域の防災・減災のために整備が行われる砂防、治山等施設は、国土交通省、九州森林管理局、福岡県（以下「関係事業者」という。）で整備が実施されています。

砂防・治山等施設より下流水路施設（以下「繋ぎ込み水路」という。）のうち一部の区間については、溪流保全工等により関係事業者で整備されるものの、関係事業者で整備が出来ない区間について、未整備のまま放置すれば、出水時に下流の家屋、道路等への被害の影響が懸念されています。

このため、繋ぎ込み水路の未整備区間のうち整備が必要な区間について、朝倉市が水路を整備することで、砂防、治山等施設の整備効果を十分に発揮させることを目的としています。

水路の整備イメージ（拡大図）

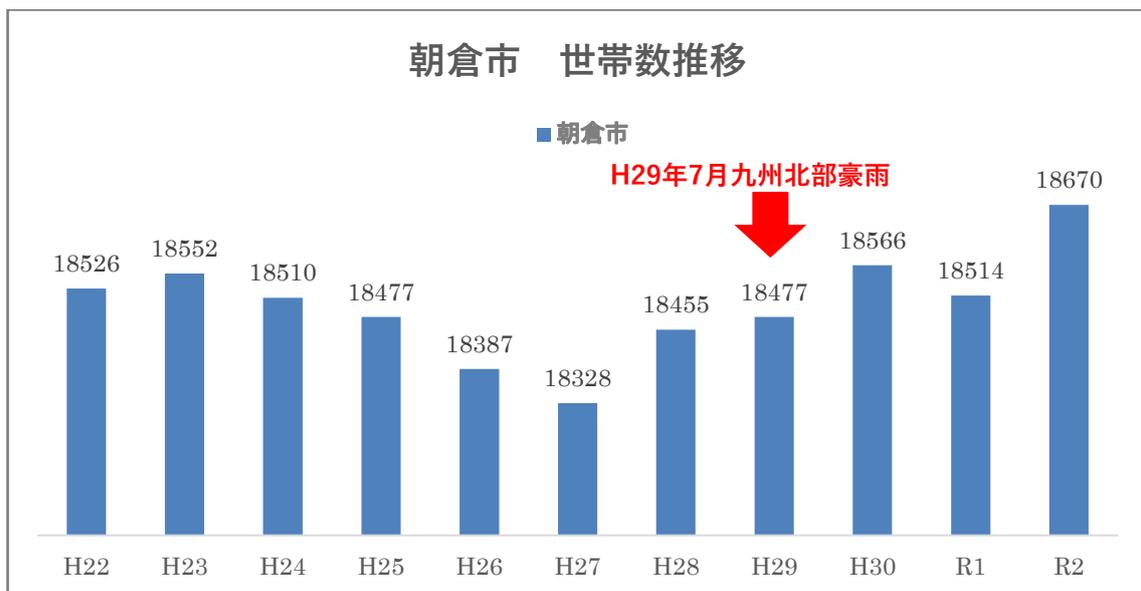
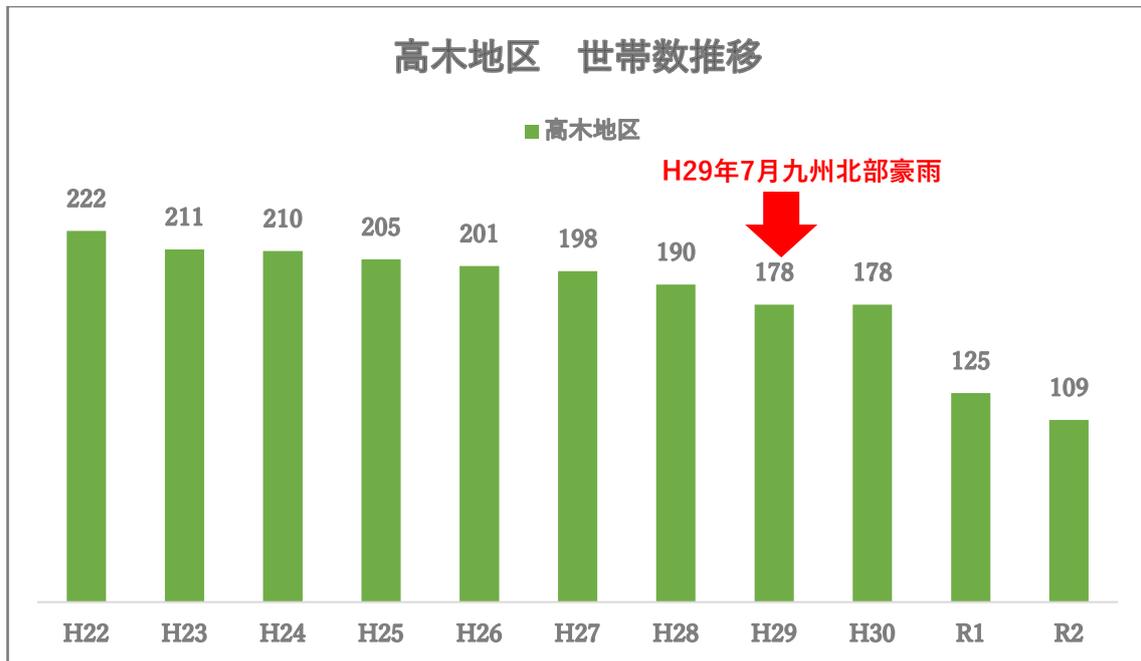


(イ) コミュニティの維持

高木地区は災害により人口が著しく減少したため、コミュニティを維持するための方策を検討します。

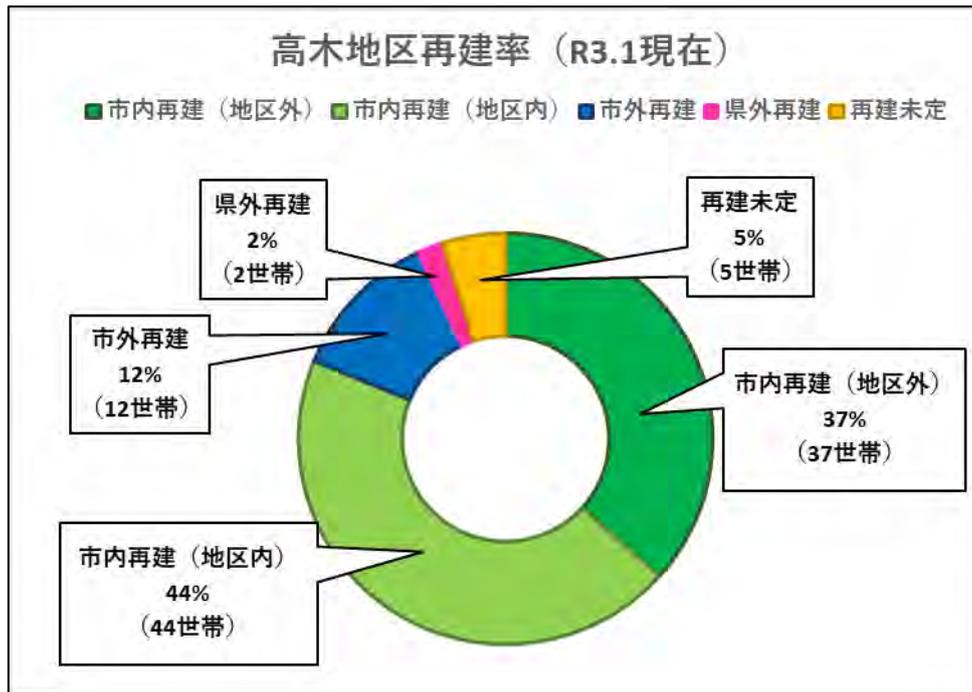
平成29年7月九州北部豪雨の被害により、高木地区は世帯数が年々減少傾向にあります。一方で、朝倉市全体では増加傾向にあることから、市内でも高木地区の人口が著しく減少していることが分かります。

また、高木地区の再建率は、市内再建が81%を占めることから、被災家屋の多くが他地域に再建していることが分かります。



高木地区

### 高木地区再建率（R3.1現在）



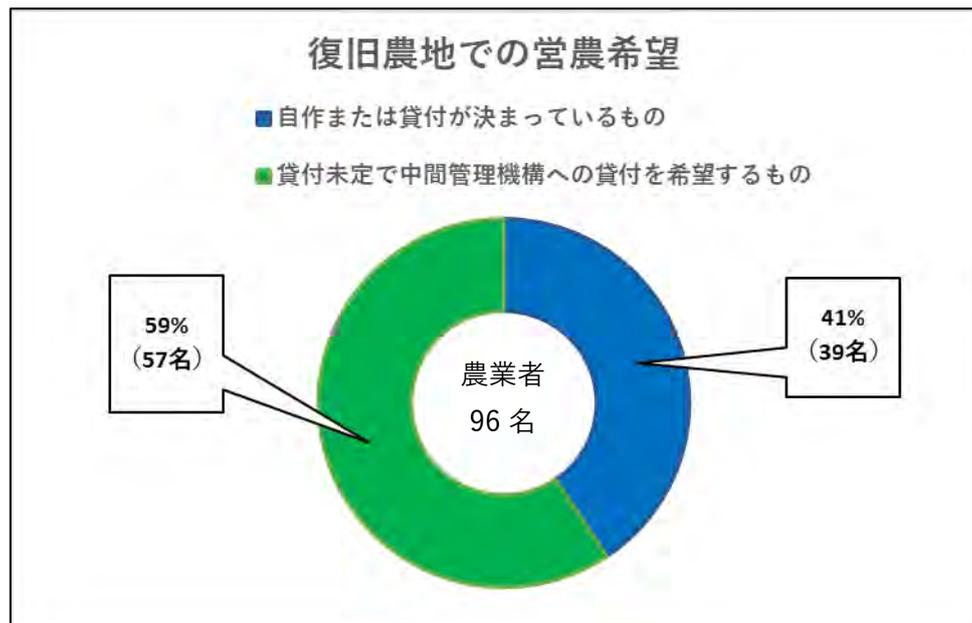
#### ①復旧農地での営農希望者

高木地区では、農業者は96名です。その内、復旧農地での営農希望を調査したところ、自作または貸付が決まっているものは57名おり、貸付未定で中間管理機構への貸付を希望するものは39名います。

このように、自作または貸付の農業者が半数以上いることが分かります。

高木地区

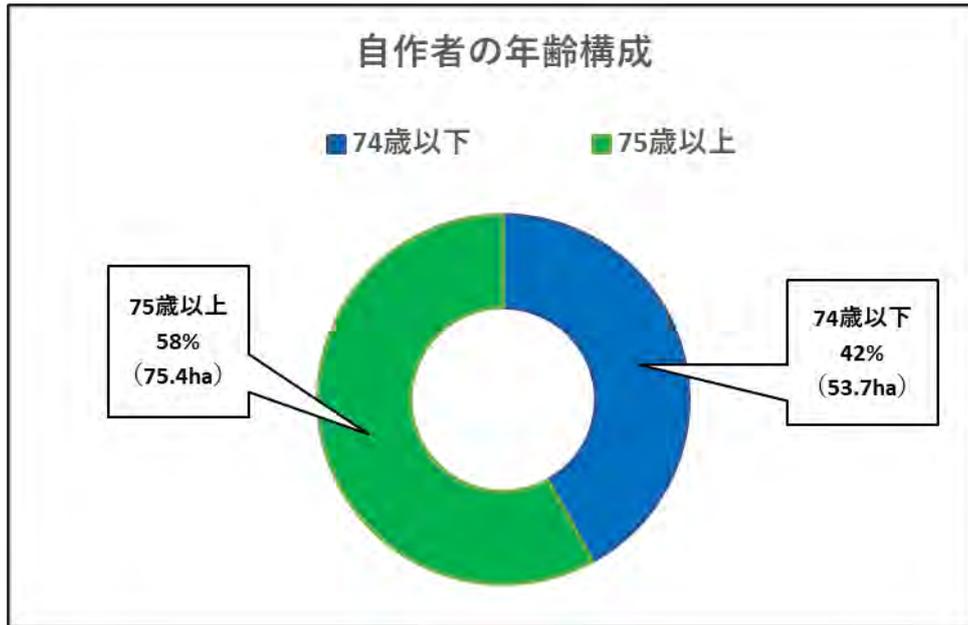
### 復旧農地での営農希望



## ②自作者の年齢構成

高木地区の農地保有者又は耕作者の耕作面積を調査したところ、回答者の内、74歳以下の農地保有者又は耕作者の耕作面積の合計は53.7haとなり、75歳以上の合計は75.4haとなりました。

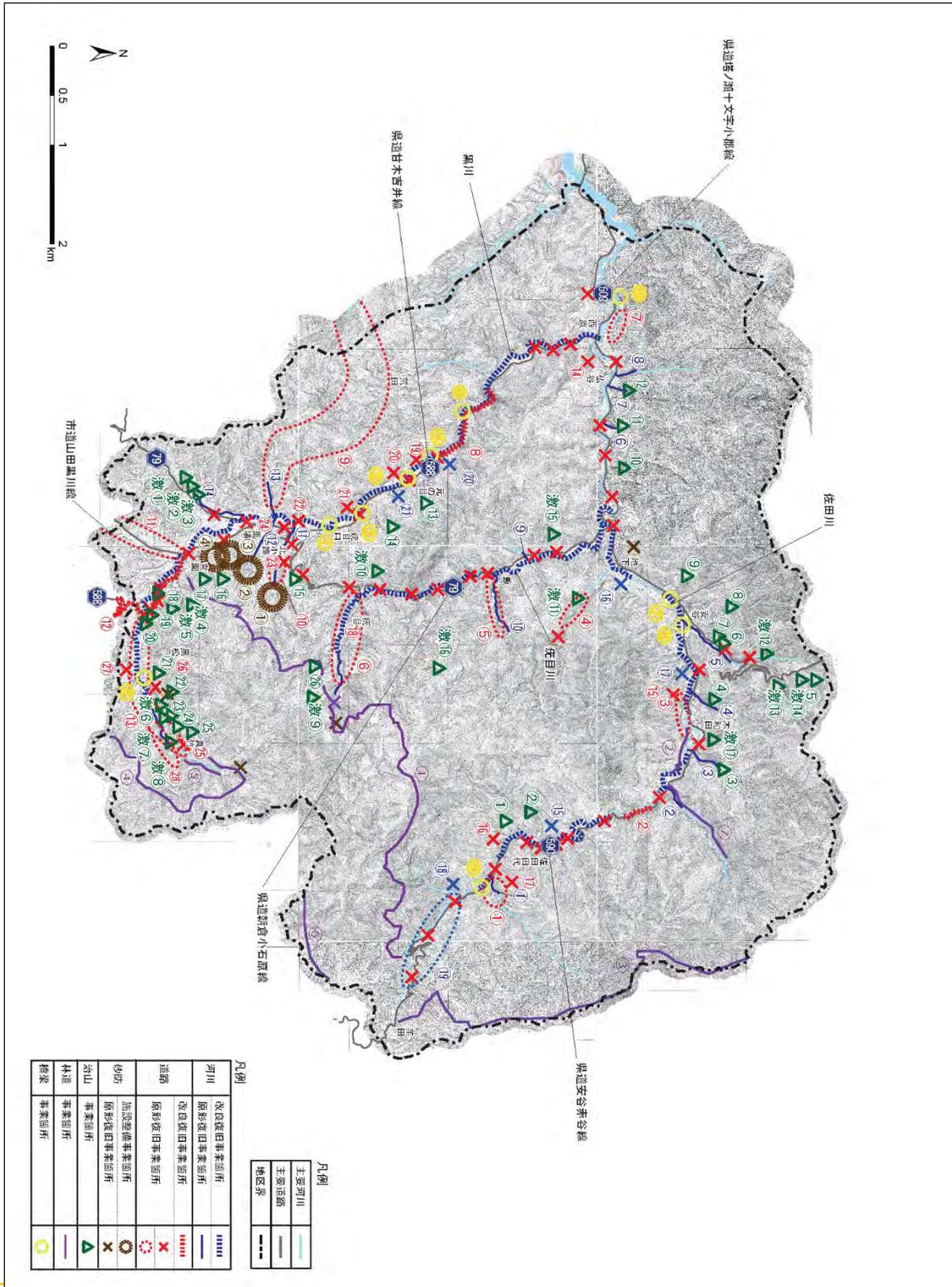
このように、75歳以上の農地保有者又は耕作者が全体の耕作面積の半分以上を保有していることが分かります。



5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。

（参考資料 P151～P153 参照）



高木地区

7) 三奈木地区

1. 現状

(ア) 地形

三奈木地区は朝倉市の中央部に位置し、北側は筑紫山地にあり急峻な場所もありますが、南側は広く筑後平野に属しているため、農地や住宅地が広がっています。

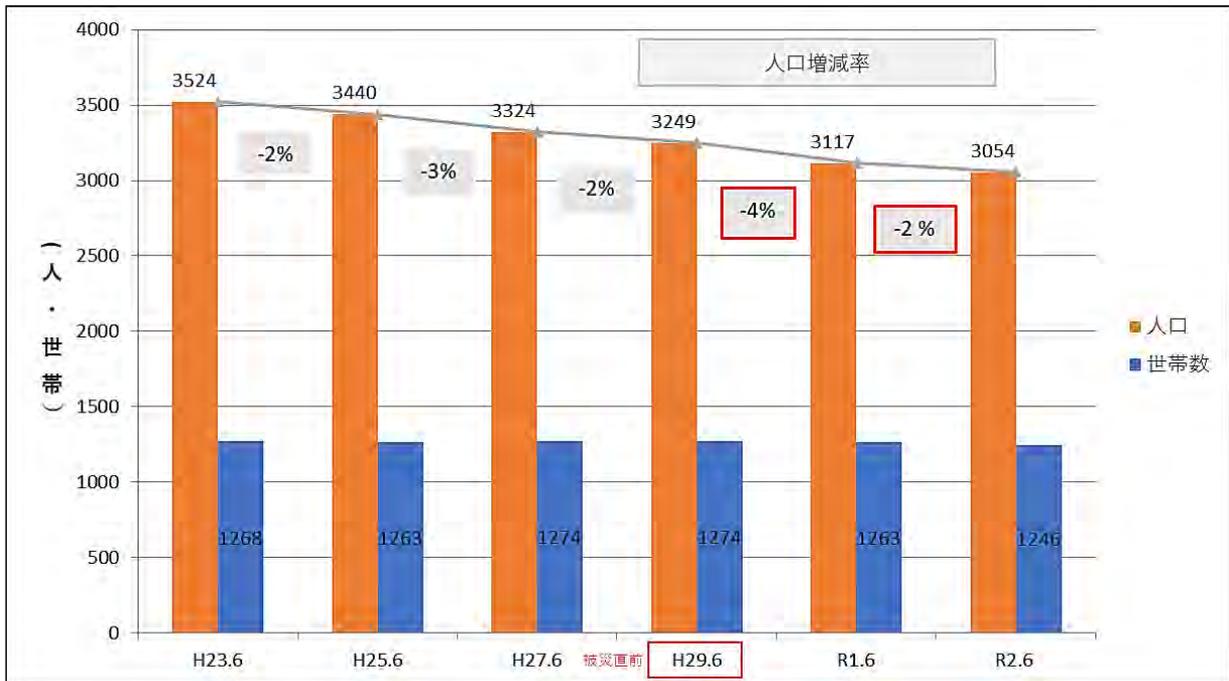
三奈木地区にある主な河川は、佐田川と荷原川があり、佐田川には寺内ダムがあります。

(イ) 人口

令和2年6月末現在、三奈木地区の総人口は、3,054人、世帯数は1,246世帯です。

平成23年からの経年人口は減少しており、平成29年7月九州北部豪雨の後の人口減少率は-4%を記録しました。世帯数は緩やかに増加傾向にあります。

三奈木地区の人口推移



三奈木地区

(ウ) 歴史

明治22年の町村制度施行により三奈木村が発足しましたが、明治29年には朝倉郡に属することになります。しかし、郡役所の廃止によって三奈木村が存続するようになりましたが、昭和29年に甘木市に合併されました。

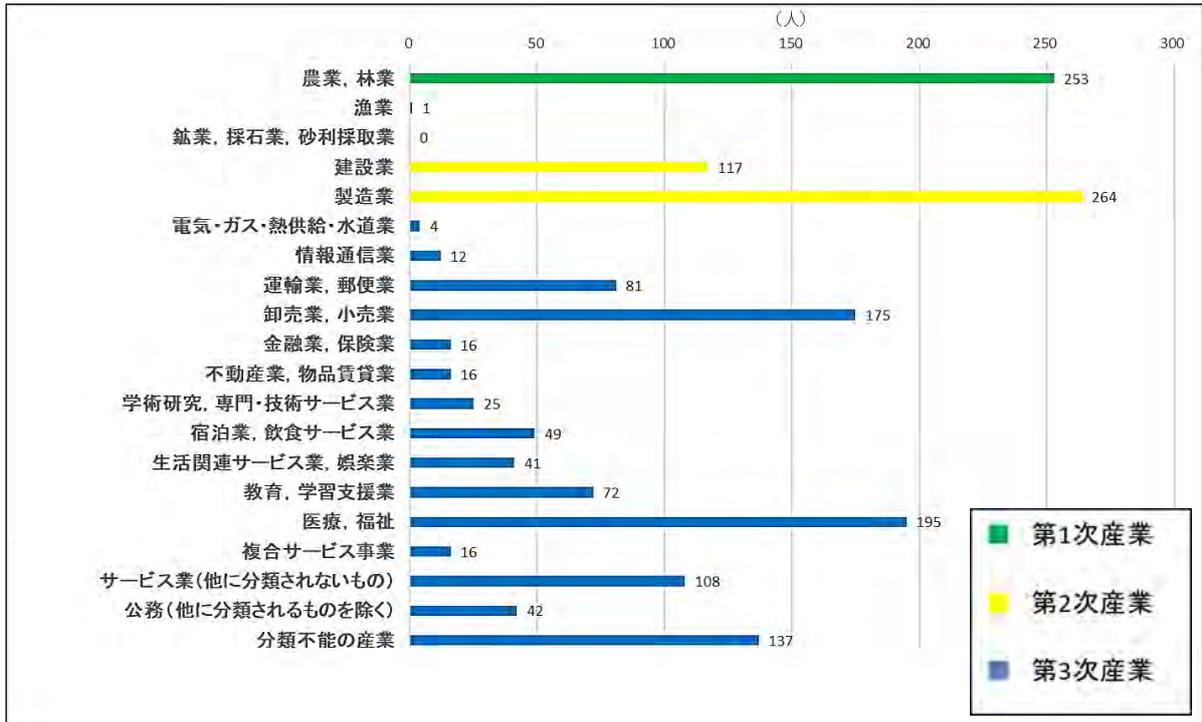
そして、平成18年に朝倉町、杷木町と合併し、朝倉市となりました。

(エ) 産業

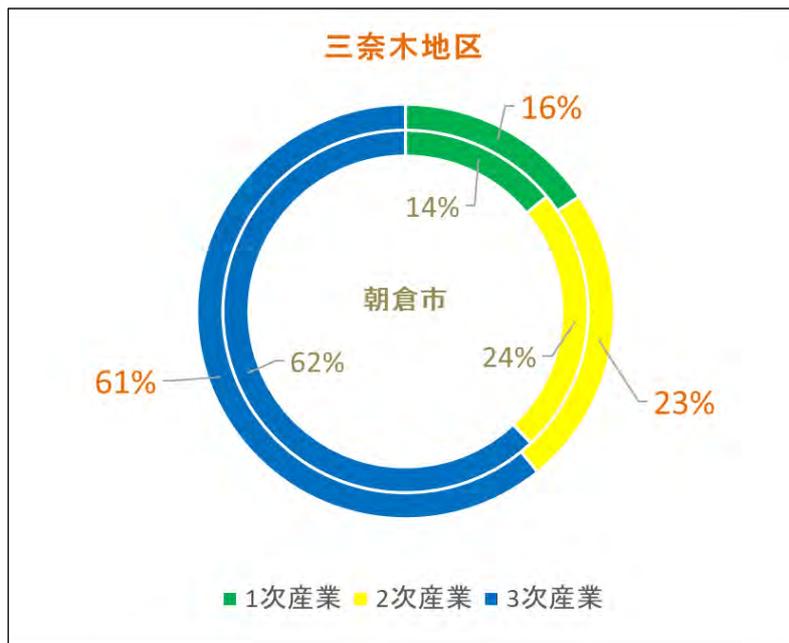
平成27年国勢調査によると、朝倉市の15歳以上の就業者数は26,038人であり、このうち三奈木地区の15歳以上の就業者数は1,624人です。

この地区の主な産業は製造業、農業・林業、医療・福祉の順になっています。

三奈木地区の産業構造



三奈木地区



参考：国勢調査

## (オ)資源

三奈木地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・旧三奈木黒田家庭園
- ・寺内美奈宜神社
- ・あまぎ水の文化村
- ・寺内ダム、美奈宜湖

三奈木地区の資源マップ



伝統行事としては、美奈宜神社（荷原）にて秋の大祭「おくんち」が行われます。御神幸行列の羽熊（毛槍）の振込みは参勤交代を模したものとされています。

この行列は朝倉市指定無形文化財となっています。



美奈宜神社（荷原）



三奈木くんち（御神幸行列）

(カ)被災状況

三奈木地区では、荷原川の洪水が大量の土砂や流木ともに流下し、河道閉鎖等とあいまって河川が氾濫し、周辺家屋などへの被害を拡大させました。



荷原鬼ヶ城（荷原川）



寺内ダム（流木と土砂の捕捉状況）

< 出典 > 独立行政法人水資源機構

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で 379 件ありました。このうち三奈木地区は 3 件でした。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成 31 年 3 月 31 日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

三奈木地区

## 2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）課題

- ・ 荷原川の改良復旧
- ・ 久保鳥の石造桁橋（六本松橋）、鞆橋の早期復旧
- ・ 土砂対策、流木対策
- ・ 佐田川流域の内水対策及び治水計画の検証
- ・ 朝倉農業高校跡地の活用 等

## 3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

## すまいとコミュニティの再建について

—

## 安全な地域づくりについて

- ・ 荷原川の旧井堰の撤去・改修について（固定堰 or 可動堰）知りたい。
- ・ 上組の固定堰に流れ込み水路（暗渠）があり、そこが大雨時に度々溢れているので、対策をしてほしい。
- ・ 鬼ヶ城の荷原川の管理用道路について、高低差はあるものの、現在の道路と繋げてほしい。
- ・ 坂の下ため池について知りたい。
- ・ 旧朝倉農業高校跡地について、避難所の整備をお願いしたい。
- ・ 次年度以降の復興計画（防災計画）において整備計画を盛り込んでもらいたい。等

## 産業・経済の復興について

—

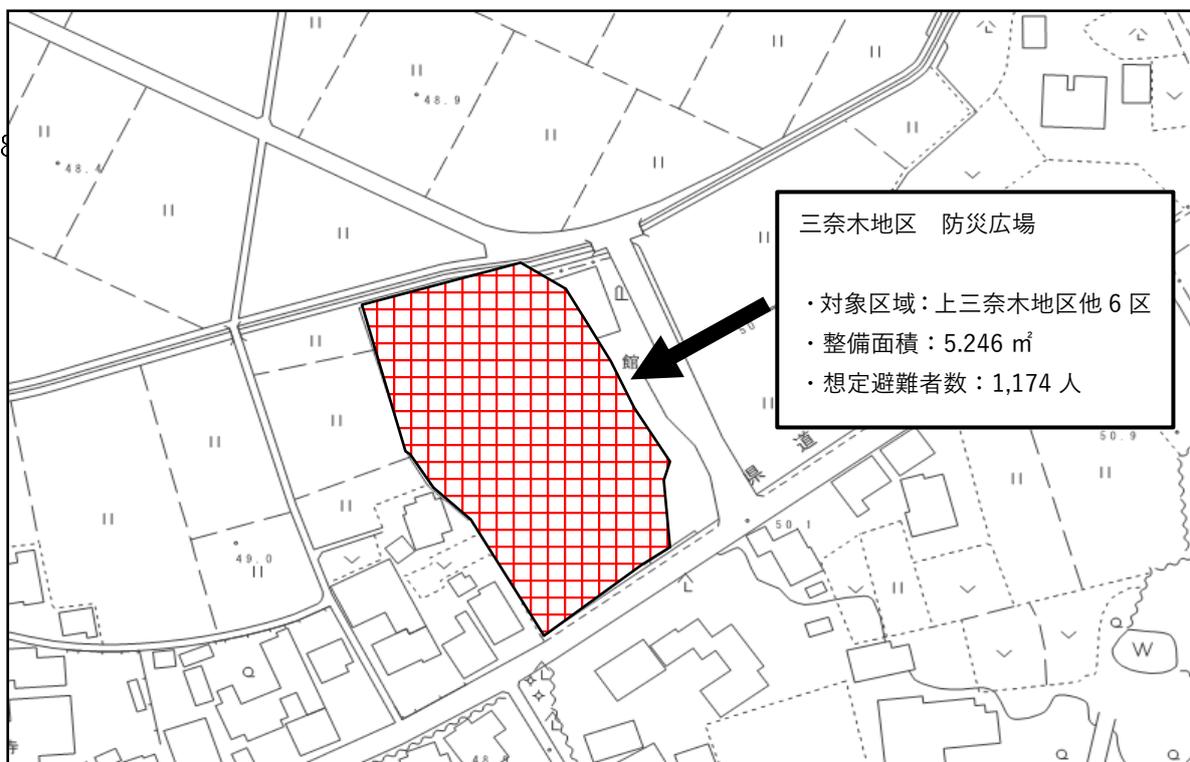
## 4. 復興に向けた具体事業

## (ア) 防災広場の整備検討

三奈木地区における、災害時における受援体制の整備として、救助活動及び支援団体等の車両を含めた拠点として利用が可能となるよう整備をし、地域防災力の向上を図ります。

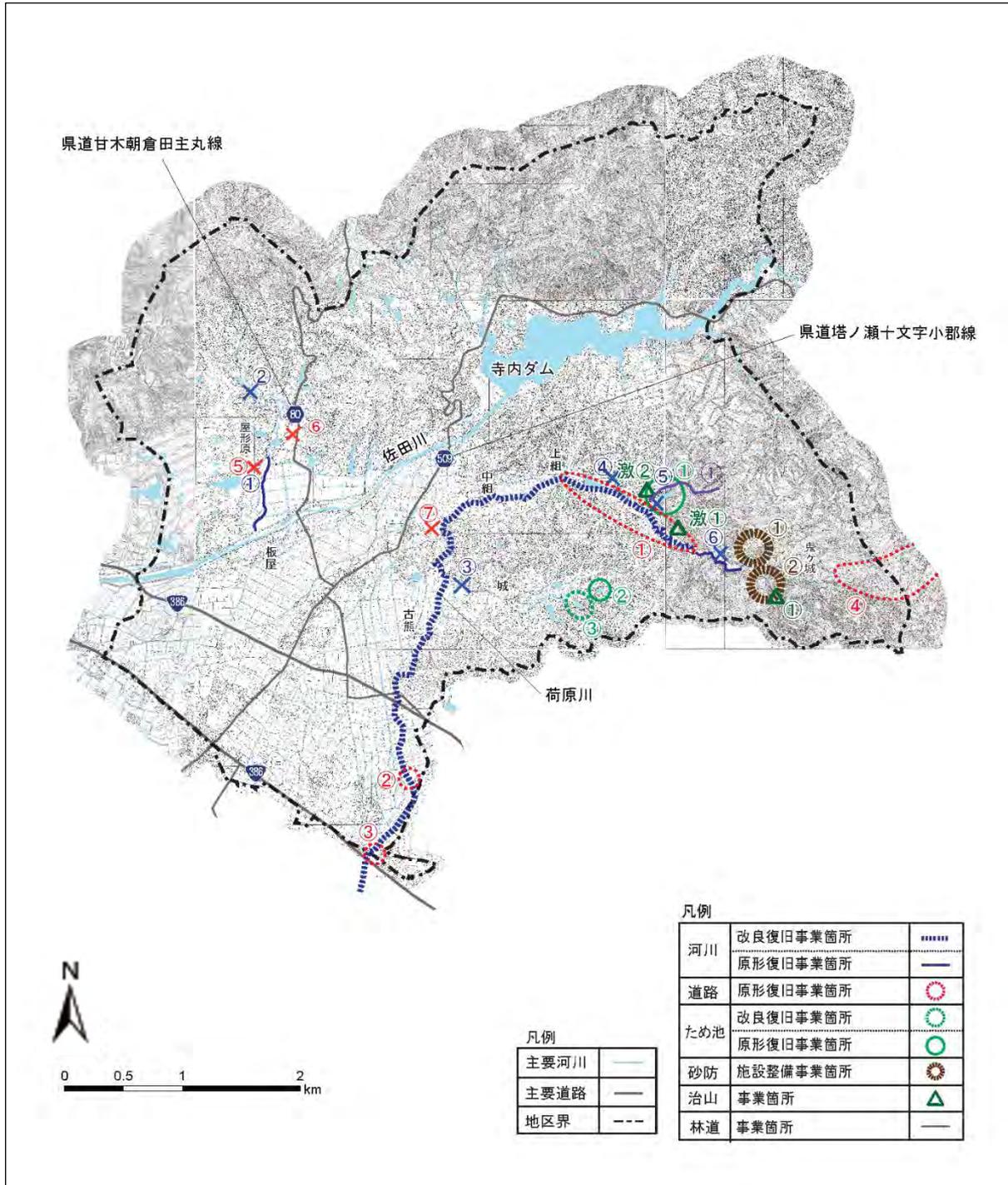
また、平時は広場として利用し災害時は支援団体等の拠点として利用できるよう、車両等の乗入れが可能となるように、コミュニティセンターと一体的な敷地を防災広場として、かまどベンチや災害対応外灯などの整備を検討します。

三奈木地区防災広場の平面図



5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P153～P154 参照）



## 8) 蜷城地区

## 1. 現状

## (ア) 地形

蜷城地区は朝倉市の南西部、筑後平野に位置し、周辺は田畑に囲まれています。

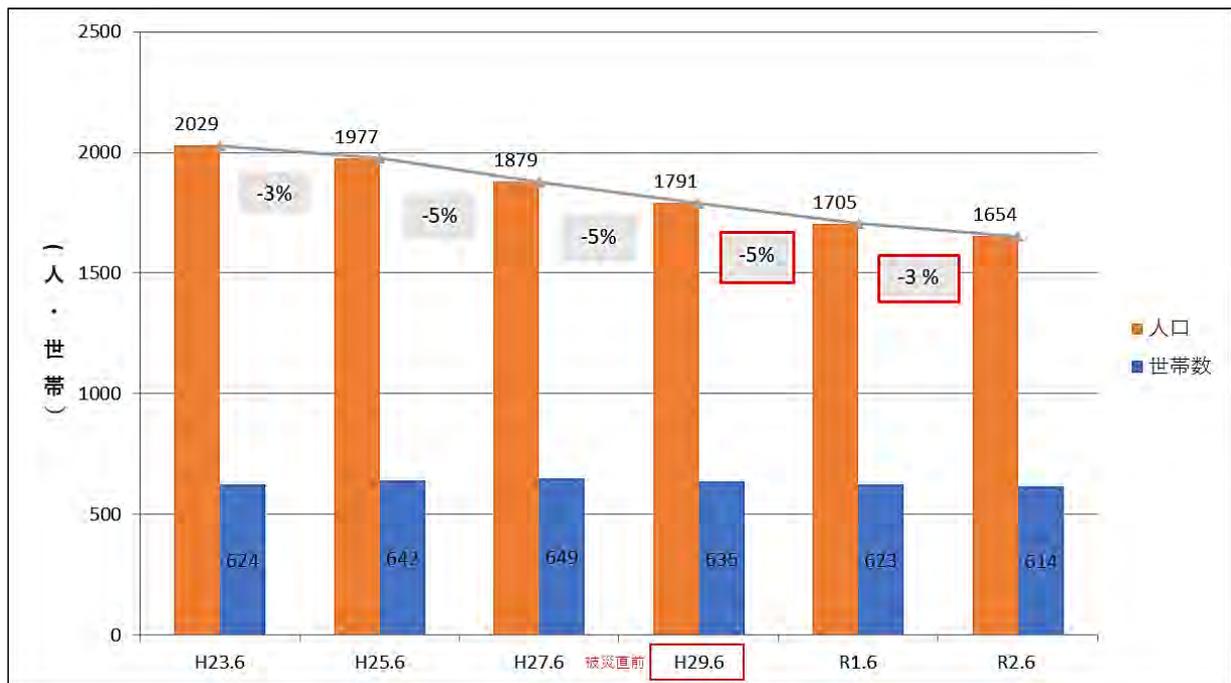
地区の北西側の区域界には佐田川が、中央には桂川が、南側には筑後川が流れています。地理的に朝倉市の最下流にあたります。

## (イ) 人口

令和2年6月末現在、蜷城地区の総人口は1,654人、世帯数は614世帯です。

平成23年から令和2年の経年人口は、総数は下降しています。世帯数はほぼ横ばいですが、平成29年7月九州北部豪雨の後は減少傾向にあります。

蜷城地区の人口推移



## (ウ) 歴史

明治22年の町村制度施行により蜷城村が発足しましたが、明治29年には朝倉郡に属することになります。

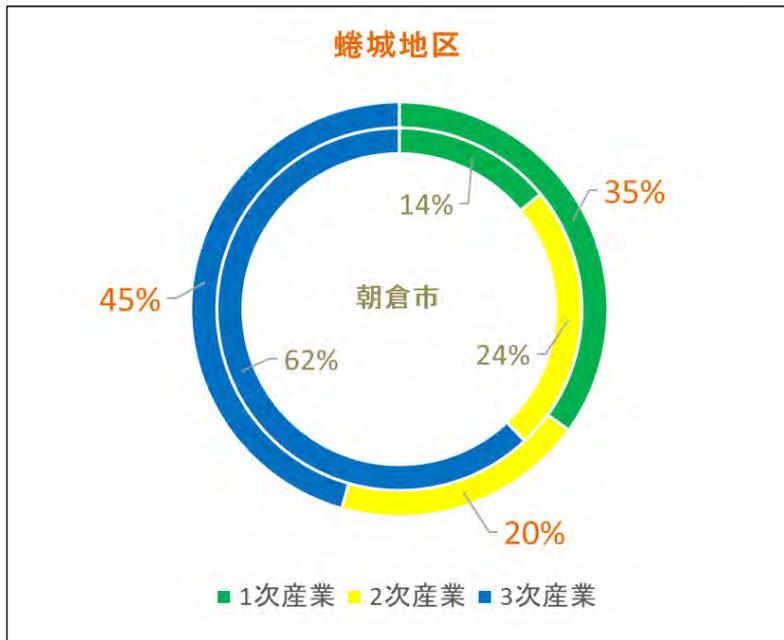
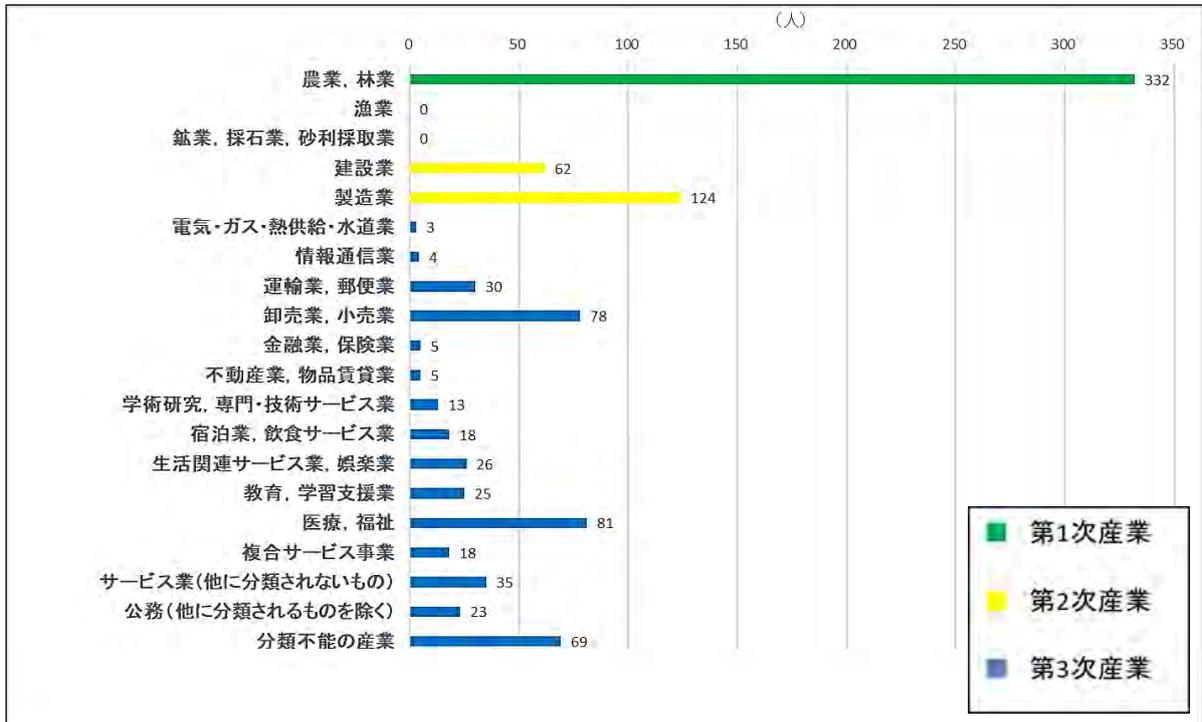
しかし、郡役所の廃止によって蜷城村が存続するようになりましたが、昭和29年に甘木市に合併しました。そして、平成18年に朝倉町、杷木町と合併し、朝倉市となりました。

(エ) 産業

平成 27 年国勢調査によると、朝倉市の 15 歳以上の就業者数は 26,038 人であり、このうち蜷城地区の 15 歳以上の就業者数は 951 人です。

この地区の主な産業は農業・林業、製造業、医療・福祉の順になっています。

蜷城地区の産業構造



参考：国勢調査

## (オ) 資源

蜷城地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・ 林田美奈宜神社
- ・ 蜷城獅子舞

蜷城地区の資源マップ



伝統行事としては、美奈宜神社（林田）にて神幸祭（蜷城くんち）が行われます。

無病息災と五穀豊穡を願い、御神幸と獅子舞が行われます。獅子舞は途絶えた時期もありましたが復活を果たし、現在、長田と鶴木の2地区の獅子舞がみられます。

この2組の獅子舞は、県指定無形民俗文化財とされました。



美奈宜神社（林田）



蜷城くんち（蜷城の獅子舞）

(カ)被災状況

蜷城地区では、桂川の堤防決壊及び越水によって、周辺家屋や農地が浸水するとともに、道路が冠水により通行止めになるなど、大規模かつ広範な浸水被害が生じました。



長田（県道鳥栖朝倉線）



古江区

り災証明書交付状況に基づけば、損壊が著しいとされる全壊・大規模半壊については、市全体で379件ありました。このうち蜷城地区は1件でした。

地区内の総世帯数に対する被害割合は35%でした。

朝倉市各地区における住家等建物被害の概要（り災証明書交付状況による／平成31年3月31日時点）

	松末	杷木	久喜宮	志波	朝倉	高木	三奈木	蜷城	その他	計
全壊	95	44	31	28	22	34	2	1	0	260
大規模半壊	19	22	50	4	19	5	1	0	0	119
半壊	37	41	73	21	269	20	29	157	19	664
一部損壊	35	30	32	15	165	36	29	64	21	428
計	186	137	186	68	475	95	61	222	40	1,471
平成29年6月 総世帯数	253	1,210	727	592	2,705	186	1,274	635	13,344	20,926
平成29年6月 総世帯数に対する 被害割合	74%	11%	26%	11%	18%	51%	5%	35%	0.3%	7.0%

## 2. 今までの意見（復興計画策定時の主な意見）課題

- ・桂川の抜本的な改修
- ・内水排除対策
- ・福祉避難所の整備 等

## 3. 今年度の意見（令和2年度まちづくり協議会等で出された主な意見）

## すまいとコミュニティの再建について

- ・宅地嵩上げ事業に関連して、浸水被害にあった家を建て替えるときの住宅用地の嵩上げに対する補助事業が検討できないか。
- ・家屋で浸水した老朽空家（り災申請なし）の対策を求める。
- ・中小路、藤島、町地区の浸水の原因について知りたい。
- ・浸水対策について知りたい。
- ・避難所（蜷城小学校）について知りたい。
- ・井戸の水位低下について知りたい。
- ・工事用車両について知りたい。等

## 安全な地域づくりについて

- ・桂川改修について（築堤の土質、工事内容の周知不足など）
- ・下長田の桂川左岸堤防の高さについて知りたい。
- ・桂川の遊水地の進捗状況はどうなっているか。また、令和3年度までに桂川の改修は終わるのか。
- ・出水期前対応で、桂川工事（橋梁工事付近）で土砂が残っている箇所があるが、大丈夫か。
- ・長田水門の強制排水施設整備と長田川の改良事業を進めてほしい。
- ・福祉避難所整備が必要である。等

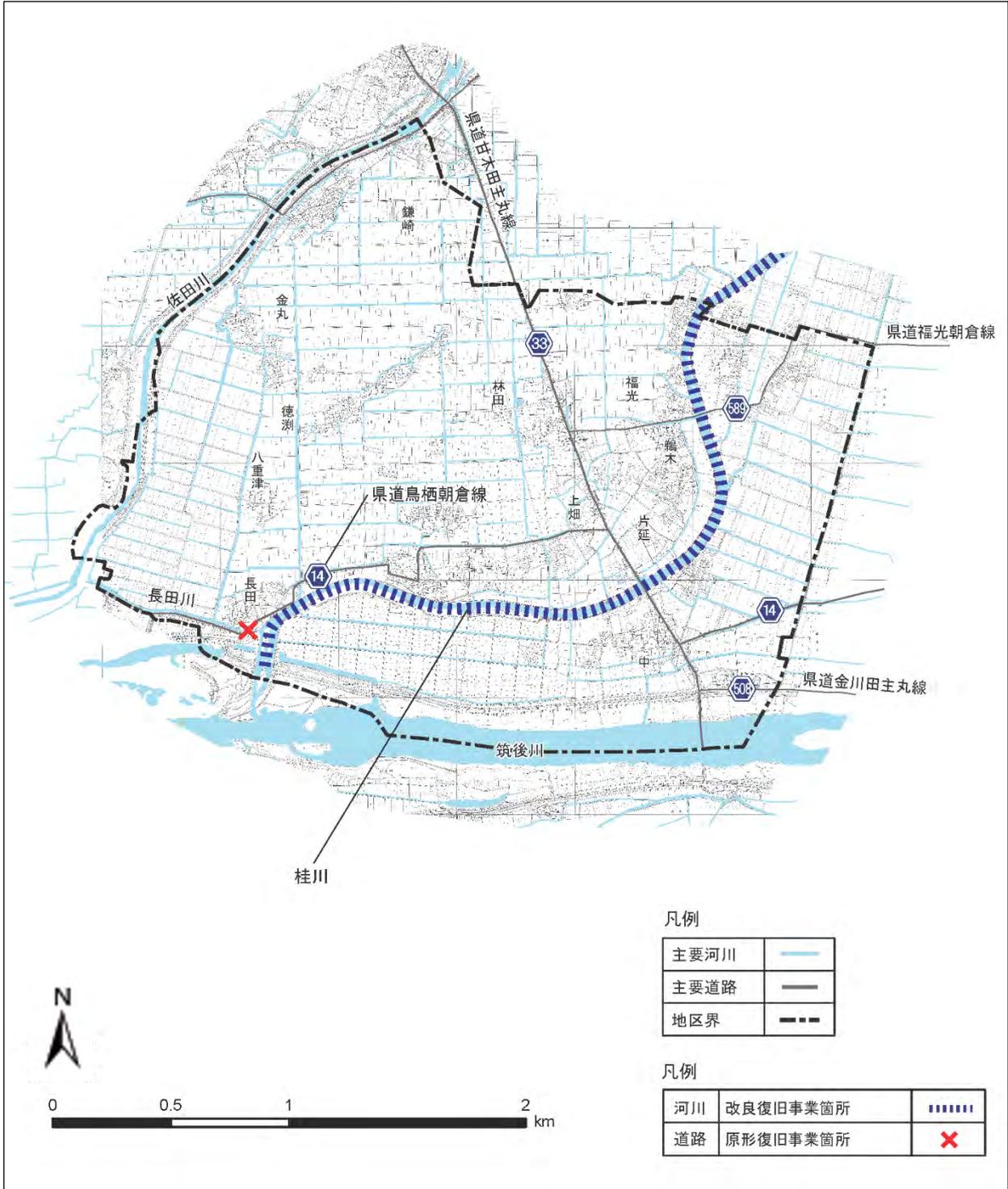
## 産業・経済の復興について

- ・蜷城は農業が基幹産業であるため、高齢者対策など担い手育成の対策が必要である。等



5. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P154 参照）



蜷城地区

## 9) 甘木地域（高木・三奈木・蜷城以外）

## 1. 現状

## (ア) 地形

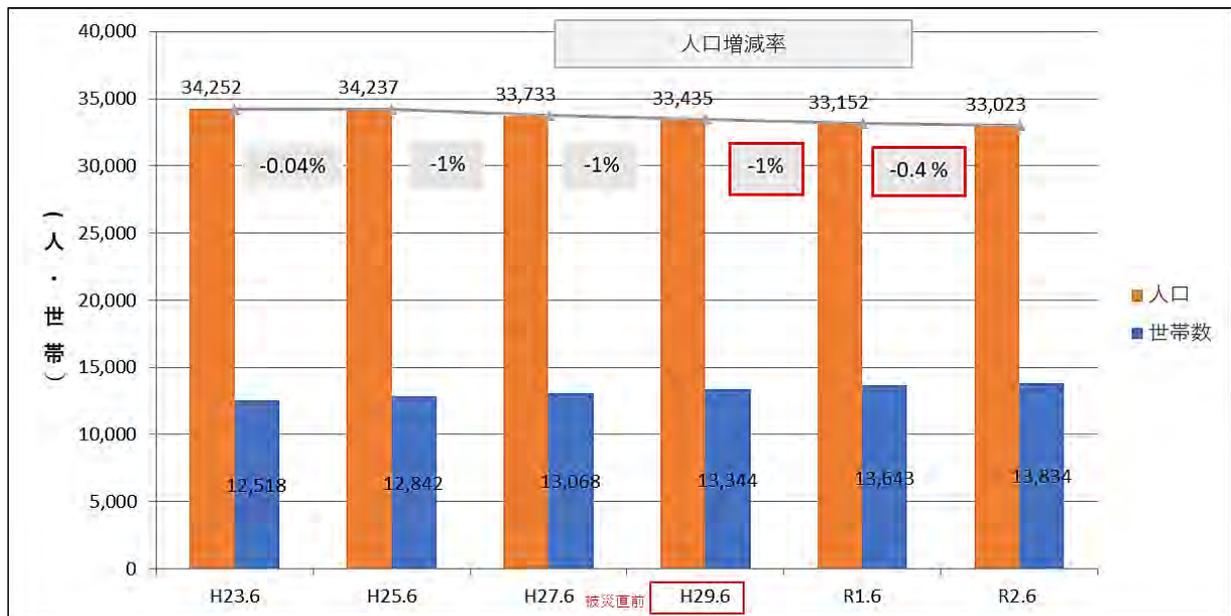
朝倉市の西に位置し、南北に広がる一帯がこの地域に当たります。この地域は、上秋月地区、秋月地区、安川地区、甘木地区、立石地区、馬田地区、福田地区、金川地区からなります。

北部は馬見山、古処山等の標高 1000m に近い山々に囲まれますが、南部は筑後平野が広がる田園地帯です。国道 386 号周辺は住宅街が広がり、特に甘木鉄道及び西鉄甘木線の始発駅となる甘木駅周辺は市街地化しています。この地域を流れる主要な河川は小石原川ですが、一部、佐田川も地域の中を流れています。また、小石原川は上流部に江川ダム及び小石原川ダムがあり、佐田川は上流部に寺内ダムがあります。

## (イ) 人口

令和 2 年 6 月末現在、当該地域の総人口は 33,023 人、世帯数は 13,834 世帯です。経年人口の総数は緩やかに下降してしますが、近年の世帯数は増加の傾向にあります。

甘木地域の人口推移



## (ウ) 歴史

明治 22 年の町村制度施行により甘木町、馬田村、上秋月村、秋月町、安川村、金川村、福田村、立石村が発足しましたが、明治 29 年には朝倉郡に属することになります。

しかし、郡役所の廃止によって元の町村が存続するようになりましたが、昭和 29 年に合併し、甘木市となりました。

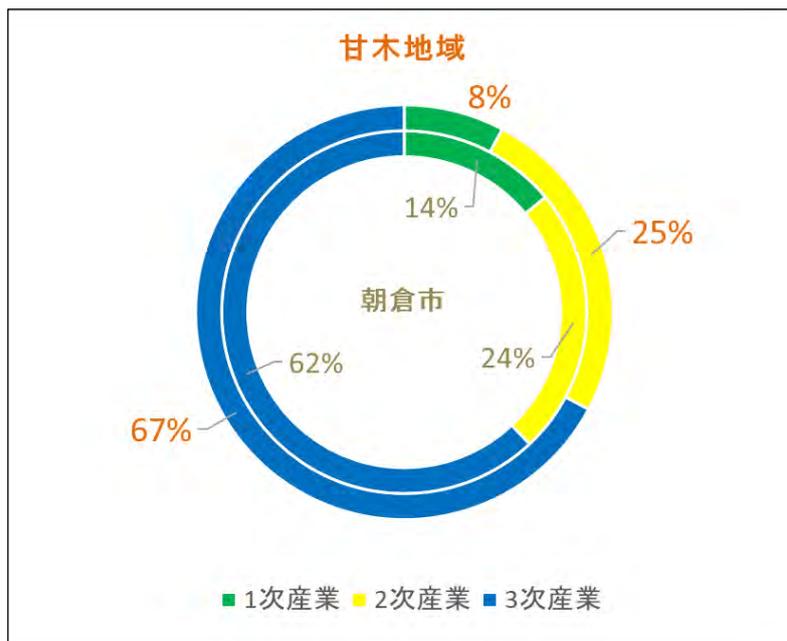
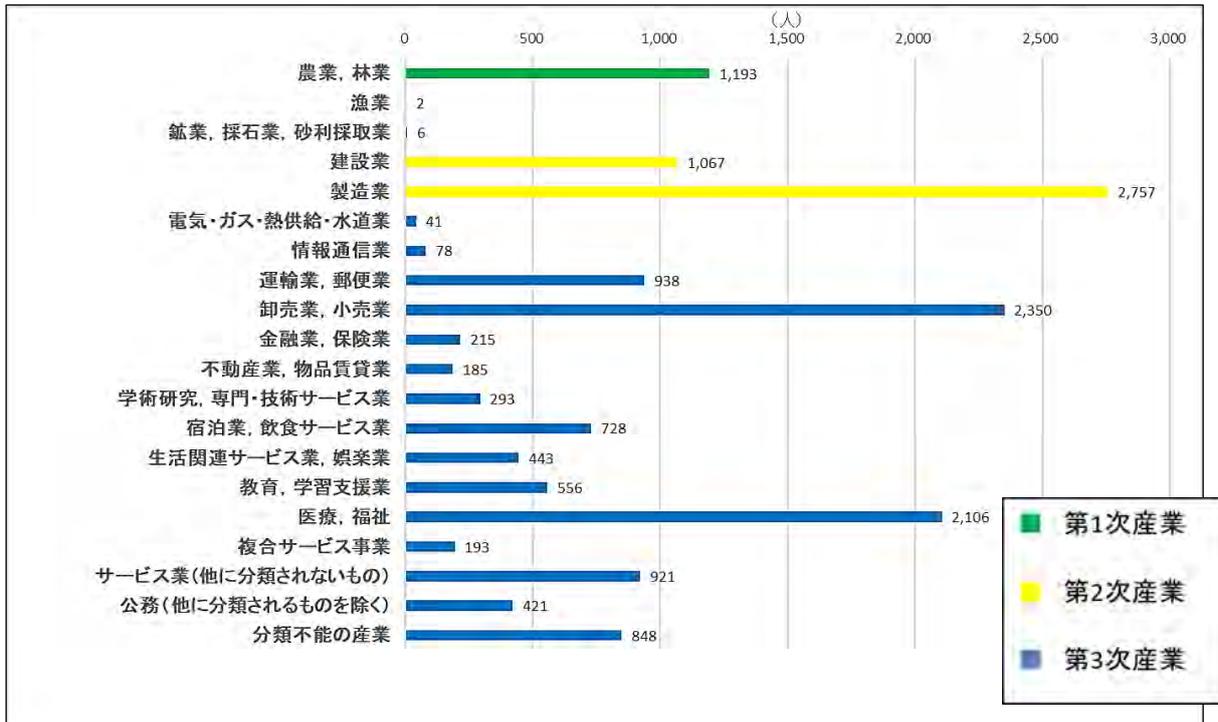
そして、平成 18 年に朝倉町、杷木町と合併し、朝倉市となりました。

(エ) 産業

平成 27 年国勢調査によると、朝倉市の 15 歳以上の就業者数は 26,038 人であり、このうち当該地域の 15 歳以上の就業者数は 15,341 人です。

この地区の主な産業は製造業、卸売業・小売業、医療・福祉の順になっています。

甘木地域の産業構造



参考：国勢調査

## (オ) 資源

甘木地区の主な観光資源は以下の通りです。

- ・ 秋月城下町
- ・ 須賀神社
- ・ 甘木歴史資料館
- ・ 卑弥呼の湯
- ・ キリン花園
- ・ 平塚川添遺跡公園
- ・ 小田茶臼塚古墳
- ・ 小石原川ダム、  
令和あさくら湖
- ・ 江川ダム、上秋月湖

甘木地域の資源マップ



秋月は、建仁3年(1203)原田(秋月)種<sup>たね</sup>雄<sup>かつ</sup>がこの地に配されて以降、秋月種<sup>たね</sup>実<sup>かね</sup>が豊臣秀吉によって日向高鍋に移封されるまで、秋月氏の本拠地でした。元和9年(1623)、福岡藩主黒田長政の遺言により三男長興<sup>ながおき</sup>に5万石が分与され、秋月藩が成立。翌寛永元年(1624)、長興が秋月に入り、城下町の縄張り(都市設計)を行いました。今も当時の歴史的な町並みをとどめています。秋月城下町は、町全体を平成10年(1998)国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。



秋月城下町

## 2. 復興に向けた具体事業

## (ア) 災害公営住宅の整備

朝倉市では、平成29年7月九州北部豪雨により、住宅を失った方の住まいを確保するため、福岡県と協定を締結し、災害公営住宅等整備の設計を進め令和元年7月に完成しました。

災害発災から3年が経つ令和2年7月以降は、災害に関わらず一般の方も入居可能となっています。

令和3年1月末現在

団地名	建設場所	構造・階数	戸数	入居世帯数	入居人数	60歳以上のみの世帯
柿添	頓田	RC造 3階建	30戸	29(27)世帯	54(51)人	20世帯

※（ ）内は被災により入居している者

## ① 計画の特長

## a. コミュニティの再現・形成に配慮

住棟と併せて、集会所及び広場を交流の場として設けることで、従来あったコミュニティの再現や新たな交流の形成に配慮した配置計画としています。

## b. 安心・安全な住空間の整備

住棟は、3階建てとし、渡り廊下及びエレベーターを配置して高齢者でも容易に移動できるようにするとともに、スロープや手すり等を設けてバリアフリー化を図ります。

## c. 入居者に配慮した住戸タイプの整備

住戸は、世帯人数に応じて2DK・3DKの2タイプを設けるとともに、車いすを利用される世帯のために車いす住戸を設けます。

## ②柿添団地の概要

建設場所・・・朝倉市頓田 309 番地 1 （旧市営石の橋団地跡地）

敷地面積・・・約 4,430 m<sup>2</sup>

構造・階数・・・鉄筋コンクリート造 3階建て

延べ床面積・・・2,200 m<sup>2</sup>

戸数・住戸タイプ・・・30戸（2DK：15戸 3DK：14戸 車いす住戸：1戸）



柿添団地の外観

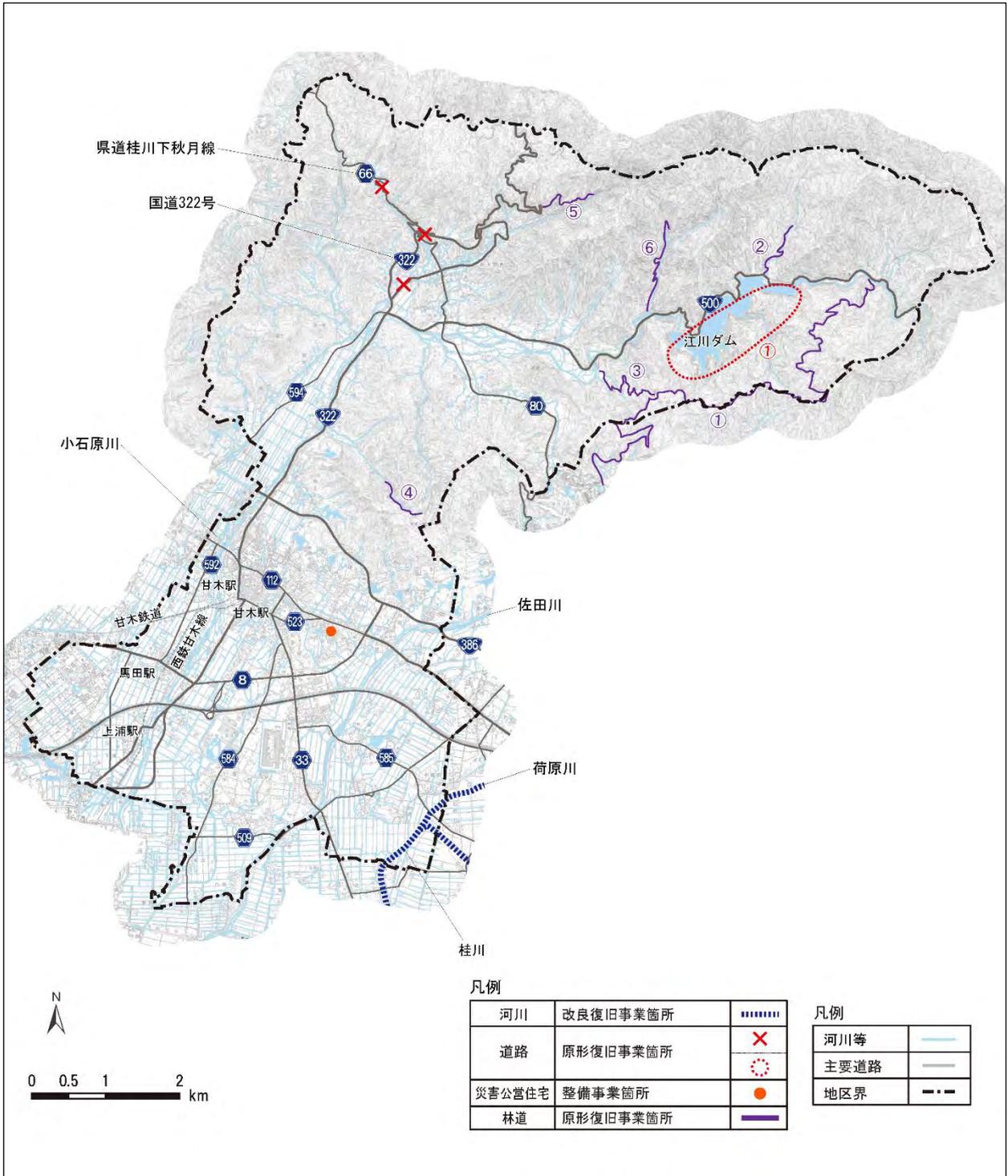
## (イ) 被災者交流活動支援事業

朝倉市は「朝倉市被災者交流活動支援事業補助金」を設け、被災者やコミュニティなどを対象に各種団体が実施する交流活動を支援します。

<b>【朝倉市被災者交流活動支援事業補助金】</b>	
<b>実施要領</b>	
(令和2年度)	
<b>1. 目的</b>	平成29年7月九州北部豪雨による被災者の地域コミュニティの形成もしくは再生または活性化を図るため、被災者の交流活動を促進する事業を実施する団体に対し、補助金を交付する。
<b>2. 対象事業</b>	補助対象事業は、事業を提案しようとする団体自ら実施主体となる公益的な事業で、コミュニティの形成もしくは再生または活性化に寄与する以下の事業 <b>ア</b> 市内で実施する事業で、被災した住民同士の交流活動 <b>イ</b> 市内で実施する事業で、被災した住民とコミュニティの住民との交流活動
<b>3. 対象団体</b>	補助金の交付の対象となるコミュニティ等は、次のいずれかに該当する団体 <b>(1)</b> 市内の行政区 <b>(2)</b> コミュニティ協議会 <b>(3)</b> 自主防災組織 <b>(4)</b> NPO法人 <b>(5)</b> その他市長が認める団体
<b>4. 補助の金額</b>	補助金の補助率は、3分の2以内とする。ただし、1事業につき年間50万円を補助対象事業の上限とする。(千円未満の端数を切り捨てた額) ※補助金の交付は、各会計年度において1団体につき1回とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <b>(例) 総事業費60万円の場合</b>            ⇒ 上限50万円の3分の2の33万3千円を補助する。         </div>
<b>5. 補助対象経費、申請方法など</b>	<b>【補助対象経費】</b> 事業を実施するために必要な経費 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料および賃借料など) <b>【提出書類】</b> 申請書、事業実施計画、収支予算書、団体に関する調書 <b>【申請窓口】</b> 復興推進室(本庁舎)      TEL:0946-28-7137

3. 復旧事業図面（令和2年12月時点）

事業内容の詳細については、参考資料「復旧事業箇所一覧表」をご覧ください。  
 （参考資料 P154 参照）





## 第4章 復興実施計画の推進

- (1) 復興実施計画の推進体制
- (2) 復興実施計画の推進管理

## (1) 復興実施計画の推進体制

### 1) 庁内における体制構築

平成29年7月九州北部豪雨の発生からの復旧・復興に当たっては、多くの施策・事業を迅速かつ的確に実施していくことが必要です。

そのため、市長を本部長とする「災害復旧・復興推進本部」による総括のもと、各部署が連携・協力し、総力を挙げて復旧・復興に取り組みます。

「住宅再建」、「出水期対策」、「農地復興」など特に重要で組織横断的な対応が必要な施策・事業については、プロジェクトチームを立ち上げ、迅速に取り組みます。

また、平成31年3月に策定した第2次朝倉市総合計画においては、縦の9つの基本目標に合わせて、横断的な取組施策として、地方創生と合わせ、復旧・復興を全庁的に意識して業務推進に取り組むこととしています。

### 2) 市民との協働、積極的な情報共有

市を挙げて復旧・復興に取り組んでいくためには、市民の理解と市民との協働が必要不可欠であり、それぞれの強みを活かす役割分担のもと、一丸となって復旧・復興に取り組みます。

まずは、コミュニティ等とまちづくり協議会のあり方について意見交換を行い、地域との協議の場を検討します。

さらに、地域を離れている被災者を含めた全市民に対して、復旧・復興に向けた取り組み状況について、市報や市のホームページへの掲載だけでなく、コミュニティや区会長会等と協働するなど、あらゆる機会を活用し、積極的かつ早期の情報提供に努めます。

### 3) 国や県、他市町村との連携・協力

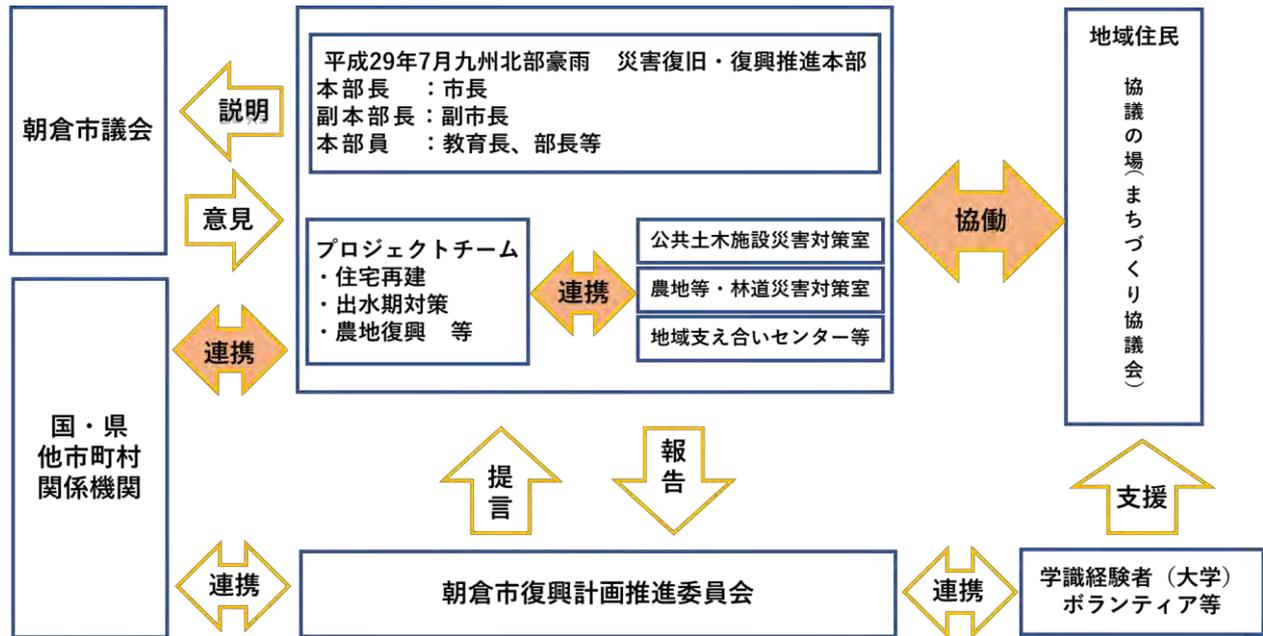
国や県、他市町村と連携・協力していくと共に、必要な事業の実施や支援等について、国や県に要請していきます。

特に、復旧事業で連携を図り、相互に情報共有を図るため、災害復旧関係機関定例会を継続して開催していきます。

(2) 復興実施計画の推進管理

復旧・復興施策を着実に遂行していくため、毎年度、進捗状況を点検・評価し必要に応じ、施策・事業の見直しや具体化を行い、復興実施計画を更新します。

計画の推進・進捗管理の体制図





## 参考資料

- (1) まちづくり協議会 開催概要
- (2) 復興推進委員会
- (3) 復旧事業箇所全体図
- (4) 復旧事業箇所一覧表

## (1) まちづくり協議会 開催概要

まちづくり協議会は以下の日程で開催しました。

地区	日時	場所
松 末	令和2年7月22日(水) 19:30~	らくゆう館視聴覚室
杷 木	令和2年6月6日(土) 19:00~	らくゆう館ホール
久 喜 宮	令和2年6月3日(水) 20:00~	旧久喜宮小体育館
志 波	令和2年6月4日(木) 19:00~	旧志波小体育館
朝 倉	令和2年6月11日(木) 20:30~	朝倉地域生涯学習センター
高 木	令和2年6月16日(火) 19:00~	高木コミュニティセンター
三 奈 木	令和2年6月29日(月) 13:30~	三奈木コミュニティセンター
蜷 城	令和2年6月9日(火) 19:00~	蜷城コミュニティセンター

## 【主な議題】

- ・生活再建状況について
- ・復興計画の進捗について
- ・復興実施計画の策定について

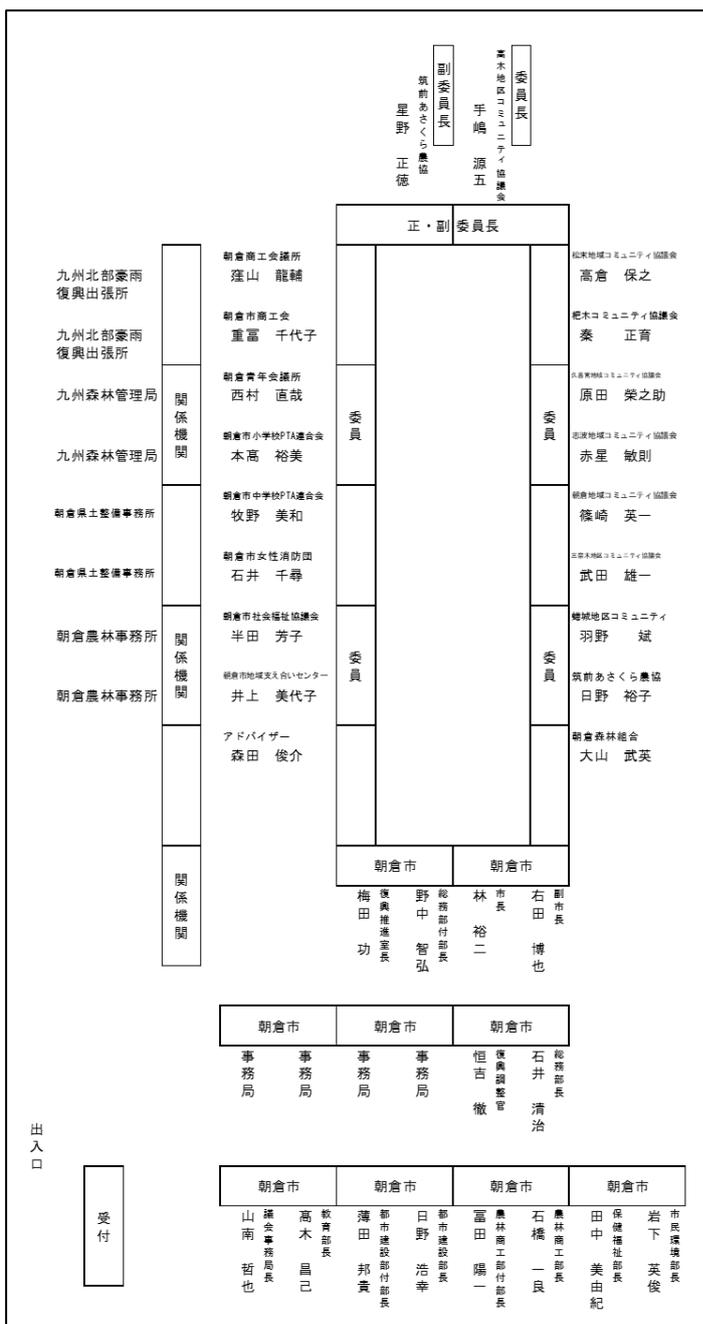
			
松末地区	杷木地区	久喜宮地区	志波地区
			
朝倉地区	高木地区	三奈木地区	蜷城地区

(2) 復興推進委員会

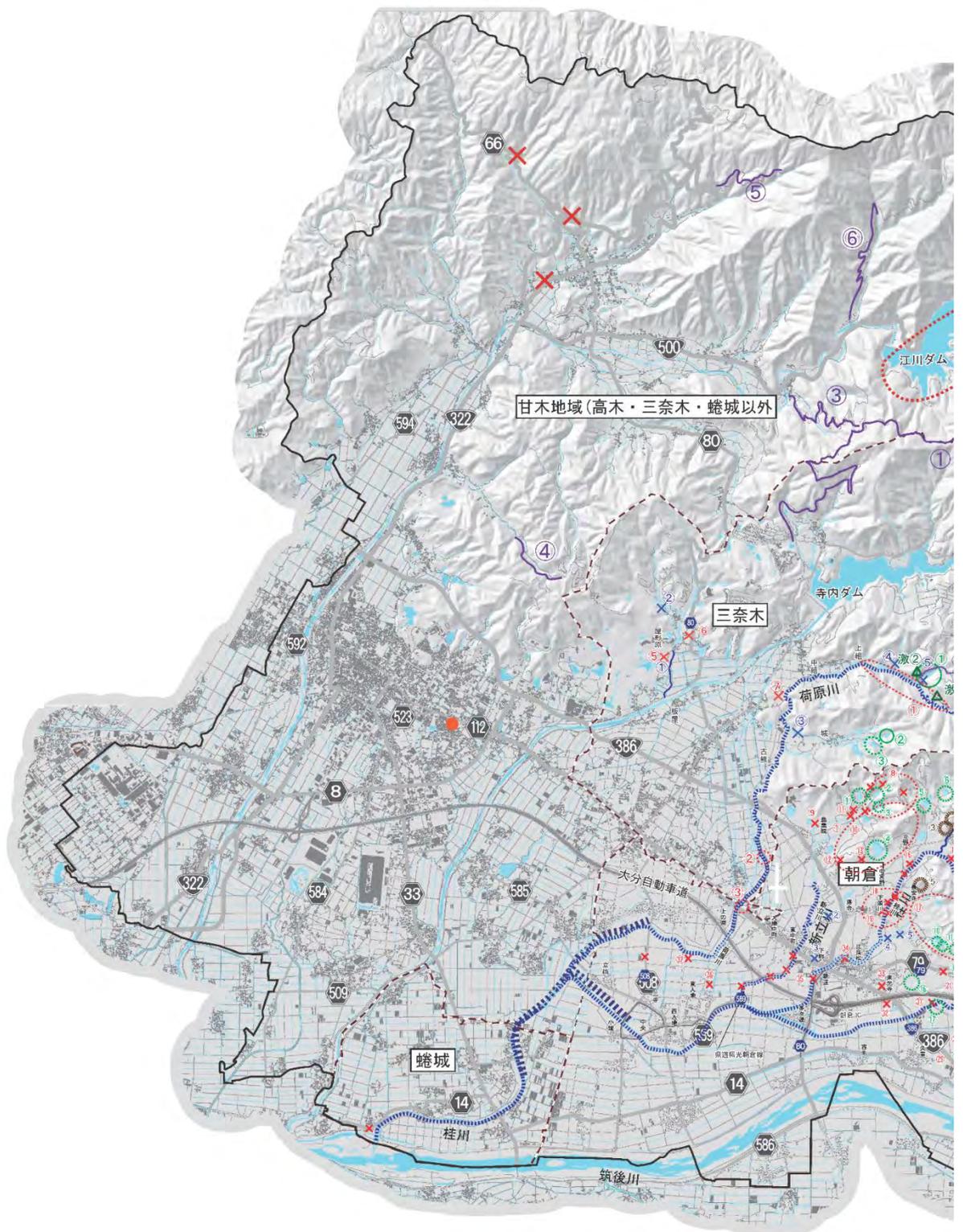
【第4回 令和2年12月1日(火) 主な議題】

○報告事項

- (1) 生活再建の取組み
- (2) 災害復旧事業の取組み
- (3) 復興の取組み（復興実施計画の骨子案について）
- (4) その他

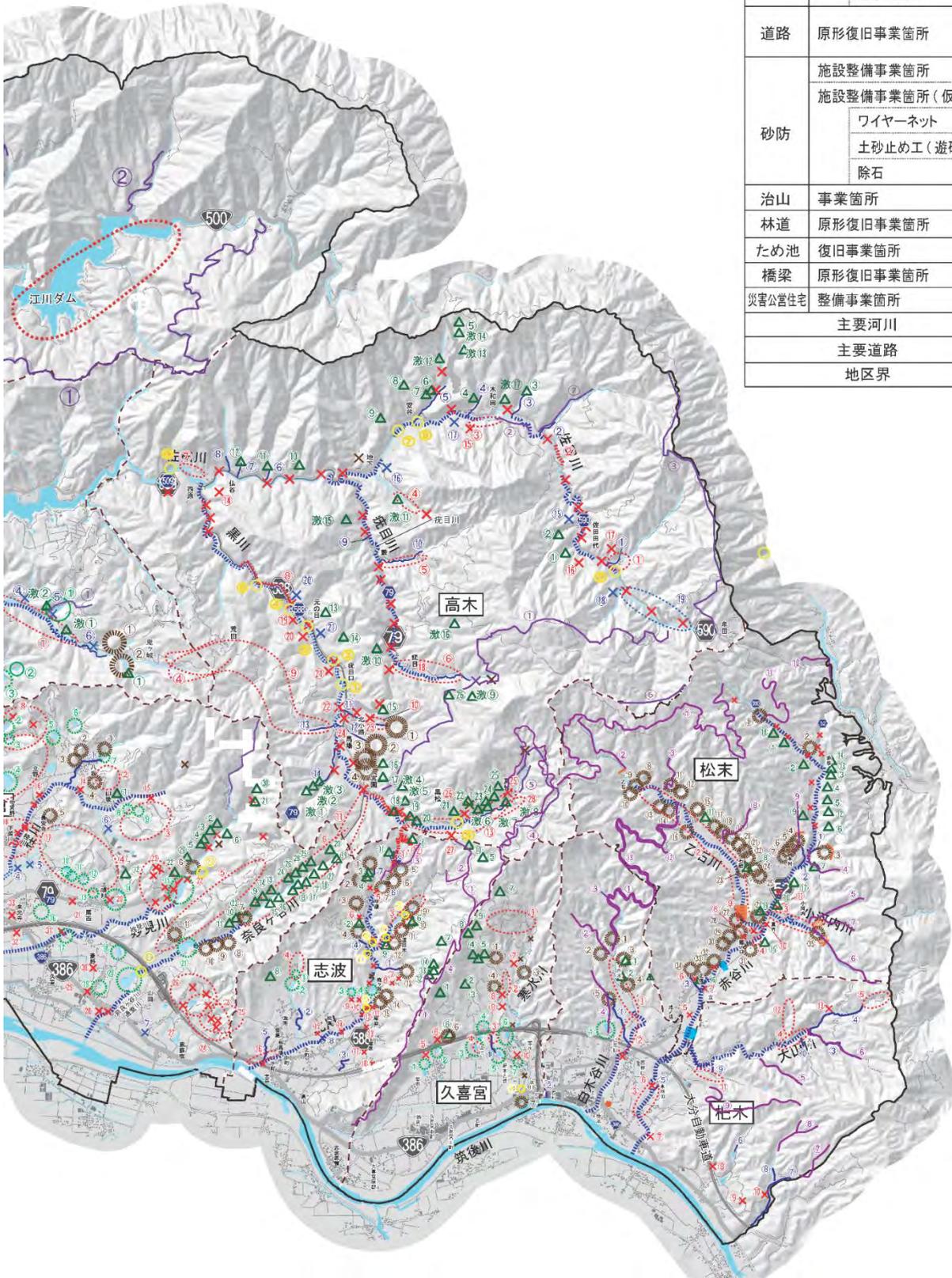


(3) 復旧事業箇所全体図



凡例

河川	改良復旧事業箇所	.....
	原形復旧事業箇所	—
	施設整備事業箇所(仮設)	
道路	土砂止め工	■
	原形復旧事業箇所	×
砂防	施設整備事業箇所	○
	施設整備事業箇所(仮設)	
	ワイヤーネット	—
	土砂止め工(遊砂地)	■
治山	除石	○
	事業箇所	△
林道	原形復旧事業箇所	—
ため池	復旧事業箇所	○
橋梁	原形復旧事業箇所	○
災害公営住宅	整備事業箇所	●
	主要河川	—
	主要道路	—
	地区界	---



## (4) 復旧事業箇所一覧表

※ 令和2年12月末時点での状況であり、今後変更となる場合があります。

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末の状況
松末	河川	—	赤谷川	国土交通省	改良復旧	(原形復旧区間)工事完了 (改良復旧区間)工事中および設計中
		—	乙石川	国土交通省	改良復旧	工事中および設計中
		—	大山川	国土交通省	改良復旧	工事中および設計中
		—	小河内川	朝倉市	改良復旧	改良復旧は国砂防工事で実施
		①	土師川	朝倉市	原形復旧	国砂防工事で実施
		②	崩谷川	朝倉市	原形復旧	国砂防工事で実施
		③	正信川	朝倉市	原形復旧	県砂防工事で実施
		土砂止め工	星丸地区	国土交通省	応急的な仮設工事	工事完了
		土砂止め工	星丸地区	国土交通省	応急的な仮設工事	工事完了
		道路	②	市道真竹・乙石線ほか6路線	朝倉市	原形復旧
	③		市道真竹・小河内1号・2号線	朝倉市	原形復旧	国砂防工事で実施
	④		星丸・大山線(能勝多橋)	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
	×		県道八女香春線	福岡県	原形復旧	工事完了
	×		県道安谷赤谷線	福岡県	原形復旧	工事完了
	⑤		市道砂原1号線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
	⑥		市道正信線	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)と調整中
	⑦		市道立1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
	⑧		市道瀬の口・山口線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
	⑨		市道清水元線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
	⑩		市道真竹・相ヶ谷線	朝倉市	原形復旧	他事業者(国)と調整中
	⑪	市道小汐線	朝倉市	原形復旧	他事業者(農地区画整理)と調整中	
	砂防	①	赤谷地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事完了
		②	蔵谷地区	福岡県	法面工	工事完了
		③	本村地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事中
		④	本村地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事中
		⑤	本村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑥	本村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑦	本村地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事中
		⑧	乙石地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑨	乙石地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事中
		⑩	乙石地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑪	乙石地区	国土交通省	砂防堰堤工	工事中
		⑫	中村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑬	中村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑭	中村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
		⑮	中村地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中
⑯	石詰地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中		
⑰	石詰地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中		
⑱	石詰地区	国土交通省	砂防堰堤工	設計中		



地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
		⑥	汐井谷線	朝倉市	原形復旧	一部他事業で付替予定
		⑦	中ノ谷線	朝倉市	原形復旧	他事業との調整(砂防)
		⑧	萩尾線	朝倉市	原形復旧	一部他事業で付替予定
		⑨	崩谷線	朝倉市	原形復旧	一部他事業で付替予定
		⑩	犬岳線	朝倉市	原形復旧	他事業との調整(治山)
		⑪	堂萬線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑫	中村線	朝倉市	原形復旧	他林道との調整
		⑬	中村白木線	朝倉市	原形復旧	工事中
杷木	河川	—	赤谷川	国土交通省	改良復旧	工事中および設計中
		—	大山川	国土交通省	改良復旧	(原形復旧区間)工事完了 (改良復旧区間)工事中および設計中
		—	白木谷川	福岡県	改良復旧	工事実施中 一部、詳細設計及び用地測量を実施中
		①	由丸川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		②	池田川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		③	赤迫川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		④	吉野原川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑤	二十谷川	朝倉市	原形復旧	一部完了、他事業者(農地)と調整中
		⑥	園山谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑦	塚谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了
	⑧	阿蘇山川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	⑨	散田川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	⑩	鎌井園川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	道路	①	市道白木1号線	朝倉市	原形復旧	一部完了、他事業者(県)と調整中
		②	市道白木1号線	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)と調整中
		③	市道林田大山線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
		④	市道杷木・宝珠山線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑤	市道杷木・宝珠山線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		×	県道八女香春線	福岡県	原形復旧	工事完了
		⑥	市道塩田・下久保線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
		⑦	市道頼母川線	朝倉市	原形復旧	国河川工事で実施
		⑧	市道堂ヶ迫・上野原線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑨	市道栗林・阿蘇山線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑩	市道阿蘇山線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑪	市道散田線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑫	市道大山・馬の谷線	朝倉市	原形復旧	工事完了
	⑬	市道板井平線			工事完了	
	砂防	①	白木谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
		②	白木谷川(2)	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
		③	白木谷川(3)	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
		④	中組谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
		⑤	由の川	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	治山	①	杷木白木ヌリヤ	林野庁	山腹工	工事完了
②		杷木白木ヌリヤ	林野庁	溪間工(柔構造パリア)	工事完了	
		杷木大山1坂井平	林野庁	山腹工	工事取りやめ	
ため池	①	上池田	福岡県	原形復旧(一部改良)	工事完了	
林道	①	中村・白木線	朝倉市	原形復旧	工事中	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況	
久喜宮	農道	②	堂ヶ迫線	朝倉市	原形復旧	他事業(砂防)で付替林道 施工	
		③	白木線	朝倉市	原形復旧	他林道との調整	
		④	池田線	朝倉市	原形復旧	他事業との調整(砂防)	
		⑤	瀬口線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑥	赤迫線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑦	阿蘇山線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑧	流石線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑨	針目山線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
					平野部2工区	朝倉市	原形復旧
		河川	—	寒水川	(福岡県)	(砂防事業で対応: 砂防事業箇所参照)	—
			①	犬谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		道路	①	市道寒水・古賀線	朝倉市	原形復旧	工事中
			②	市道石ヶ迫・舟底線	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)と調整中
			③	市道笹隈1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
			④	市道上げ2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
			⑤	市道大谷2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
			⑥	市道笹隈2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
			⑦	市道ナギノ線	朝倉市	原形復旧	工事中
			⑧	市道研石線	朝倉市	原形復旧	一部完了、他事業者(県)と 調整中
			⑨	市道研石・杉谷線	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)と調整中
			⑩	市道浦の前・上野線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		砂防	①	船底谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事発注準備中
			③	寒水川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
			④	寒水川(5)	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
			⑥	若市沢川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
			⑦	寒水川	福岡県	砂防流路工	用地買収中
			×	寒水川	福岡県	原形復旧	工事実施中
		×	寒水川	福岡県	原形復旧	工事完了	
		×	寒水川	福岡県	原形復旧	工事完了	
	治山	①	杷木若市大谷	林野庁	山腹工	工事完了	
		②	杷木久喜宮1権現尾	林野庁	溪間工(柔構造バリ ア)	工事完了	
		③	杷木久喜宮2永楽寺	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中	
		④	杷木久喜宮3権現尾	林野庁	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事中	
		⑤	杷木久喜宮4ヒサゲ原	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中	
		⑥	杷木若市1大谷	林野庁	山腹工	工事中	
		⑦	杷木古賀1堂所ノ上	林野庁	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事中	
		⑧	杷木久喜宮5ヒサゲ原	林野庁	山腹工	工事中	
		⑨	杷木久喜宮6堂所ノ上	林野庁	山腹工	工事中	
	ため池	①	大谷	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	山野	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		③	城ヶ迫1	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		④	杉谷	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑤	笹隈	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑥	上野	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑦	土屋	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	林道	①	米ノ山線	朝倉市	原形復旧	工事中	
	橋梁	①	鍛冶田橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和2年度	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
志波	河川	—	北川	福岡県	改良復旧	工事実施中 一部、詳細設計及び用地 測量を実施中
		—	平川	朝倉市	改良復旧	工事中
		①	烏山谷川	朝倉市	原形復旧	工事中
		②	政所川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		③	重防川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		④	山の神川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑤	蓮葉川	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑥	石堂川	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑦	花立川	朝倉市	原形復旧	工事中
	⑧	北川	朝倉市	原形復旧	契約済 工事準備中	
	道路	①'	県道甘木吉井線	福岡県	改良復旧	工事実施中(一部完了)
		③	市道道目木2号 3号線	朝倉市	原形復旧	工事中(一部完了)、他事 業者(県)と調整中
		④	市道政所1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		×	県道甘木吉井線	福岡県	原形復旧	工事実施中(一部完了)
		⑤	市道花立線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑥	市道榎3号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑦	市道梅ヶ谷2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑧	市道梅ヶ谷3号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑨	市道生津2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑩	市道生津3号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑪	市道新井手線	朝倉市	原形復旧	廃橋のため
		⑫	市道石田1号線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑬	市道尾迫1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑭	市道松葉学校線	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)と調整中
		⑮	市道前熊線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑯	市道栗只1号線	朝倉市	原形復旧	一部完了、他事業者(県)と 調整中
		⑰	市道恵栗2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑱	市道柿ヶ本・桑ノ本線	朝倉市	原形復旧	工事完了
	砂防	①	北川右支川	福岡県	砂防堰堤工	堰堤工事完了、 引き続き、溪流保全工施工 予定
		②	平榎1地区	福岡県	地すべり対策工	工事完了
		③	平地区	福岡県	法面工	工事完了
		④	平榎2地区	福岡県	地すべり対策工	工事完了
		⑤	北川	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
		⑥	北川(2)	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
		⑦	平榎3地区	福岡県	地すべり対策工	工事実施中
		⑨	導目木川	福岡県	砂防堰堤工	用地買収中
		⑩	導目木川(1)	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
		⑪	導目木谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事完了
		⑫	導目木沢	福岡県	砂防堰堤工	工事完了
		⑬	烏山谷川	福岡県	砂防堰堤工	用地買収中
		⑭	志波沢	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
⑮		志波谷川	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中	
×		北川	福岡県	原形復旧	工事完了	
治山	①	杷木志波石堂	林野庁	山腹工	工事完了	
	②	杷木志波榎	林野庁	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事完了	
	③	杷木志波平	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了	
	④	杷木志波花立	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末の状況	
		⑤	杷木志波奥ノ丸	林野庁	溪間工(柔構造バリア)	工事完了	
		⑥	杷木志波4道目木	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中	
		⑦	杷木志波4堂所	林野庁	溪間工(谷止工)、山腹工	工事中	
		⑧	杷木志波1麻底良外	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中	
		⑨	杷木志波2道目木	林野庁	溪間工(谷止工)、山腹工	工事中	
		⑩	杷木志波7奥ノ丸	林野庁	山腹工	工事中	
		⑪	杷木志波8花立	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中	
		⑫	杷木志波9烏山	林野庁	山腹工	工事中	
		⑬	杷木志波10烏山	林野庁	山腹工	工事中	
		⑭	杷木志波11烏山外	林野庁	溪間工(谷止工)、山腹工	工事中	
		ため池	①	茶屋の谷2	朝倉市	原形復旧	工事完了
			②	茶屋の谷1	朝倉市	原形復旧	施工中
			③	生津	朝倉市	原形復旧	工事完了
			④	梅ヶ谷	朝倉市	原形復旧	工事完了
	林道	①	堂処線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		②	奥の丸線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		③	花立線	朝倉市	原形復旧	一部他事業で付け替予定	
		④	米ノ山線	朝倉市	原形復旧	工事中	
	橋梁	①	道目木ノ1橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度	
		②	道目木橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度	
		③	道目木ノ2橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度	
		④	下道目木橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度	
	朝倉	河川	—	桂川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所や用地取得済み箇所から順次、工事実施中
			—	荷原川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所や用地取得済み箇所から順次、工事実施中
			—	新立川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所や用地取得済み箇所から順次、工事実施中
			—	妙見川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所や用地取得済み箇所から順次、工事実施中
			—	奈良ヶ谷川(通堂川)	朝倉市	改良復旧	改良復旧：工事中。 原形復旧：工事中
			①	八坂川	朝倉市	原形復旧	工事完了
②			新立川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
③			下町川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
④			長安寺川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
⑤			小隈川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
⑥			山後川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
⑦			金場川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
道路			①	市道杉馬場・向山線ほか6路線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		②	市道八坂山線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		③	市道赤林・山後線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		④	市道寺ノ前・牟田谷線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
⑤		市道菱野山・堤線	朝倉市	原形復旧	工事中		
⑥	市道山田・黒川線	朝倉市	原形復旧	工事中			

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
		⑦	市道恵蘇山線ほか3路線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		×	国道386号	福岡県	原形復旧	工事完了
		×	県道金川田主丸線	福岡県	原形復旧	工事完了
		×	県道福光朝倉線	福岡県	原形復旧	河川工事と合わせて工事実施、4箇所中2箇所工事完了、2箇所工事実施中
		×	県道朝倉小石原線	福岡県	原形復旧	工事実施中(一部完了) 地すべり箇所も順次工事実施中
		⑧	市道拝塚・新立線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑨	市道山口線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑩	市道前田線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑪	市道前田・サコタ線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑫	市道向山・ツツシヲ線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑬	市道宮野裏・落合線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑭	市道向野・一ノ坂線	朝倉市	原形復旧	他事業(県)と調整中
		⑮	市道山陰・山ノ下線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑯	市道垣添・窪利線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑰	市道寺ノ前・向別所線	朝倉市	原形復旧	他事業(県)と調整中
		⑱	市道古毛・宮野線	朝倉市	原形復旧	他事業(県)と調整中
		⑲	市道下原・野田原線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑳	市道山田・上須川線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉑	市道尾西・下原線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉒	市道三反田・一木谷線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉓	市道三反田線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉔	市道二反田・本陣線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉕	市道恵蘇山・本陣線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉖	市道上ノ宿・中原線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉗	市道金場・碑畑線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉘	市道古賀線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉙	市道古賀ノ下・落合線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉚	市道柳・本村線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉛	市道東ノ原・間寺線	朝倉市	原形復旧	他事業(県)と調整中
		㉜	市道松ノ木原・柴田線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉝	市道瀬戸口・下光寺線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉞	市道出口・川崎線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉟	市道廻利・牟田々線	朝倉市	原形復旧	一部完了、他事業者(県)と調整中
		㊱	市道大庭・宮野線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㊲	市道崩岸八反田2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
	砂防	①	八坂川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	②	八坂谷2	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	③	宮野地区	福岡県	法面工	工事完了
	砂防	④	八坂地区	福岡県	法面工	工事完了
	砂防	⑤	長安寺地区	福岡県	法面工	工事完了
	砂防	⑥	妙見川	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	砂防	⑦	奈良ヶ谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	⑧	倉谷谷川2	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	砂防	⑨	倉谷谷川1	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	砂防	⑩	竹山口谷川4	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	砂防	⑪	山の神谷川	福岡県	砂防堰堤工	測量・調査・設計中
	砂防	×	桂川	福岡県	原形復旧	工事完了
	砂防	×	妙見川	福岡県	原形復旧	工事実施中

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
	治山	×	妙見川	福岡県	原形復旧	工事実施中
		①	山後(国有林)	林野庁	山腹工	工事完了
		②	須川戻ラズ	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		③	須川戻ラズ	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		④	須川戻ラズ	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑤	須川戻ラズ	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑥	須川合ノ坂	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑦	山田丸尾	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑧	山田丸尾	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑨	山田小鹿倉	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑩	奈良ヶ谷(国有林)	林野庁	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事完了
		⑪	山田奈良ヶ谷	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑫	須川3山田	林野庁	地すべり防止工	工事中
		⑬	山田1小鹿倉	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑭	山田2奈良ヶ谷	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		⑮	山田3丸尾	林野庁	山腹工	工事中
		⑯	山田4丸尾	林野庁	山腹工	工事中
		⑰	山田5丸尾	林野庁	山腹工	工事中
		⑱	山田6丸尾外	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		⑲	山田7田ノ口	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		⑳	山田8田ノ口	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		㉑	須川1合ノ坂	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		㉒	須川2三反田	林野庁	溪間工(谷止工)	工事中
		㉓	蛇谷(国有林)	林野庁	地すべり防止工	工事中
		㉔	田ノ口(国有林)	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了
		㉕	田ノ口(2037)(国有林)	林野庁	山腹工	工事完了
		㉖	田ノ口1(国有林)	林野庁	山腹工	工事完了
		㉗	田ノ口2(国有林)	林野庁	山腹工	工事完了
		㉘	田ノ口3(国有林)	林野庁	山腹工	工事中
		㉙	須川4(三反田外)	林野庁	山腹工	契約済 工事準備中
	㉚	須川5(合ノ坂外)	林野庁	溪間工	契約済 工事準備中	
	ため池	①	本村	朝倉市	原形復旧	工事完了
		②	ムクロジ	朝倉市	原形復旧	工事完了
		③	サコタ	朝倉市	原形復旧	工事完了
		④	辰ヶ迫	福岡県	原形復旧	工事完了
		⑤	長尾下	朝倉市	原形復旧(一部改良)	工事完了
		⑥	北八坂	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑦	八坂谷	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑧	山陰	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑨	山陰上	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑩	牟田谷	朝倉市	原形復旧(一部改良)	工事完了
		⑪	牟田谷中	朝倉市	原形復旧(一部改良)	工事完了
		⑫	小隈裏	朝倉市	原形復旧	廃工予定
		⑬	千代田	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑭	上須川	福岡県	原形復旧	工事中
		⑮	三反田	福岡県	原形復旧	工事中
		⑯	上来光寺	朝倉市	原形復旧	廃工予定
		⑰	原菱野	朝倉市	原形復旧	令和3年度入札予定
⑱		堤	朝倉市	原形復旧	工事完了	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況	
		⑱	本村	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑳	鎌塚	福岡県	原形復旧(一部改良)	工事完了	
		㉑	山の神	福岡県	原形復旧(一部改良)	工事中	
	林道		山尾坂線	朝倉市	原形復旧	他事業(治山)との調整中	
	農地			平野部1工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部3工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部4工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部5工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部6工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部7工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部8工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
				平野部9工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
	橋梁	①	鎌塚橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度	
		②	三反田橋2	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和2年度	
高木	河川	—	佐田川	福岡県	改良復旧	関連区間の用地買収完了 関連区間は護岸工事を実施中 原形復旧箇所は工事実施中(一部完了)	
		—	黒川	福岡県	改良復旧	工事実施中。	
		—	黒川(上流域)	朝倉市	原形復旧	工事中	
		—	疣目川	福岡県	改良復旧	関連区間の用地買収完了 関連区間は護岸工事を実施中 原形復旧箇所は工事完了	
		—	疣目川(上流域)	朝倉市	原形復旧	工事中	
		①	尾ノ下川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	分瀬川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		③	そめ谷川	朝倉市	原形復旧	一部工事完了 残工事有	
		④	木和田川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑤	箸立川	朝倉市	原形復旧	工事中	
		⑥	田ノ元川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑦	中村川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑧	仏谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑨	藪川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑩	大城川	朝倉市	原形復旧	工事中	
		⑪	松尾川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑫	北小路川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑬	新山川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑭	長迫川	朝倉市	原形復旧	工事中	
		⑮	持ノ尾川	朝倉市	原形復旧	工事中	
		⑯	鳥屋川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	⑰	谷ノ尾川	朝倉市	原形復旧	工事完了		
	⑱	吹谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了		
	⑲	佐田川	朝倉市	原形復旧	工事完了		
	⑳	元ノ目川	朝倉市	原形復旧	工事完了		
	㉑	裏谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了		
	道路	①	市道尾ノ下1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	県道安谷赤谷線	福岡県	改良復旧	工事完了	
		③	市道口の原線	朝倉市	原形復旧	工事中	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
		④	市道鳥屋2号線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑤	市道藪2号線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑥	市道疣目線 疣目4号線	朝倉市	原形復旧	工事中 工事完了
		⑦	市道西原・仏谷線	朝倉市	原形復旧	下流工事中 上流工事中
		⑧	県道甘木吉井線	福岡県	改良復旧	工事完了
		⑨	新山林道(併用林道)	林野庁	原形復旧	一部工事完了
		⑩	市道松尾線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑪	市道山田・黒川線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑫	県道甘木吉井線	福岡県	改良復旧	工事完了
		⑬	市道黒松線	朝倉市	原形復旧	工事中
		×	県道安谷赤谷線	福岡県	原形復旧	工事実施中(一部完了)
		×	県道甘木吉井線	福岡県	原形復旧	工事実施中(一部完了)
		×	県道塔ノ瀬十文字小郡線	福岡県	原形復旧	中島橋上流より下流域に かけて工事実施中(一部完 了)
		×	県道朝倉小石原線	福岡県	原形復旧	工事実施中(一部完了)、 中島橋付近については河 川工事と合わせて実施中
		⑭	市道呑吉1号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑮	市道谷尾線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑯	市道尾栗迫線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑰	市道尾ノ下2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑱	市道疣目2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		⑲	市道ヘラ山・向線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑳	市道元ノ目・向線	朝倉市	原形復旧	工事中
		㉑	市道百石・藤ノ瀬線	朝倉市	原形復旧	工事中
		㉒	市道百石1号線	朝倉市	原形復旧	毛古橋上部工にあわせ発 注予定
		㉓	市道松尾・馬場線	朝倉市	原形復旧	工事中
		㉔	市道北小路・馬場線	朝倉市	原形復旧	県砂防工事で実施
		㉕	市道真竹2号線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉖	市道黒松・宮ノ向線	朝倉市	原形復旧	一部工事完了 残工事有
		㉗	市道奥丸線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		㉘	市道黒松・真竹線	朝倉市	原形復旧	一部工事完了 残工事有
	砂防	①	大黒川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	②	馬場谷川	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	③	宮園川2	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中
	砂防	④	宮園地区	福岡県	法面工	工事完了
	砂防	×	地下川	福岡県	原形復旧	工事完了
	砂防	×	疣目川	福岡県	原形復旧	工事完了
	砂防	×	黒川	福岡県	原形復旧	工事完了
	砂防	×	黒松谷川	福岡県	原形復旧	工事完了
	治山	①	佐田字山ヶ谷	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
	治山	②	佐田字山ヶ谷	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
	治山	③	佐田字木和田	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
	治山	④	佐田字木和田	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
	治山	⑤	箸立(国有林)	林野庁	山腹工	工事完了
	治山	⑥	佐田字彦道	福岡県	山腹工	工事完了
	治山	⑦	佐田字彦道	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
	治山	⑧	佐田字安谷	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
		⑨	佐田字安谷	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑩	佐田字田の元	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑪	佐田字中村	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		⑫	佐田字中村	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		⑬	黒川字元ノ目	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑭	黒川字元ノ目	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑮	黒川字疣目口	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		⑯	黒川字宮園	福岡県	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事完了
		⑰	黒川字宮園	福岡県	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事中
		⑱	黒川字宮園	福岡県	山腹工	工事中
		⑲	黒川字宮園	福岡県	山腹工	工事完了
		⑳	黒川字宮園	福岡県	山腹工	工事完了
		㉑	黒川字黒松	福岡県	溪間工(谷止工)、 山腹工	溪間工工事中、山腹工工 事完了
		㉒	黒川字黒松	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		㉓	黒川字真竹	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		㉔	黒川字真竹	福岡県	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事完了
		㉕	黒川字真竹	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		㉖	黒川字向原	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		激①	黒川(1)	福岡県	山腹工	工事完了
		激②	黒川(2)	福岡県	山腹工	工事完了
		激③	黒川(3)	福岡県	山腹工	工事完了
		激④	黒川字宮園(3)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		激⑤	黒川字宮園(5)	福岡県	溪間工(谷止工)、 山腹工	工事中
		激⑥	黒川字黒松(1)	福岡県	山腹工	工事中
		激⑦	黒川字黒松(2)	福岡県	山腹工	工事完了
		激⑧	黒川字真竹(4)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		激⑨	黒川字向原	福岡県	山腹工	工事中
		激⑩	黒川字疣目(6)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		激⑪	佐田字烏屋	福岡県	山腹工	工事完了
		激⑫	佐田(1)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		激⑬	佐田(2)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		激⑭	佐田(3)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事完了
		激⑮	藪(5)	福岡県	山腹工	工事中
		激⑯	倉床	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
		激⑰	木和田(2)	福岡県	溪間工(谷止工)	工事中
	林道	①	高木線	福岡県	原形復旧	工事完了
		②	口の原線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		③	牟田白石線	朝倉市	原形復旧	工事完了
		④	米の山線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑤	真竹線	朝倉市	原形復旧	他林道との調整
		⑥	赤谷真竹線	朝倉市	原形復旧	工事中
		⑦	分瀬林道(併用林道)	林野庁	原形復旧	工事完了
	橋梁	①	毛古屋橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度
		②	藤ノ瀬橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度
		③	向橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和2年度
		④	上元の目橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和2年度
		⑤	真竹2号橋	朝倉市	原形復旧	平成31年～令和3年度
		⑥	西原田橋(里道橋)	朝倉市	原形復旧	令和2～令和3年度

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況	
三奈木	河川	—	荷原川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所 や用地取得済み箇所から 順次、工事実施中	
		—	荷原川(上流域)	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		①	屋形原川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	梅の谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		③	ドウデ川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		④	坂本川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑤	処ノ谷川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	道路	⑥	鬼ヶ城川	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		①	市道荷原・荒田・黒川線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	市道サヤ橋線(鞆橋)	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)にて対応	
		③	市道六本松線(六本松橋 (久保鳥の石造桁橋))	朝倉市	原形復旧	他事業者(県)にて対応	
		④	鬼ヶ城林道(併用林道)	林野庁	原形復旧	工事完了	
		⑤	市道下別当・津山線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑥	市道板屋・屋形原線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	砂防	⑦	市道八反畑・山裏線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		①	鬼ヶ城川 4	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中	
	治山	②	鬼ヶ城川 3	福岡県	砂防堰堤工	工事実施中	
		①	鬼ヶ城(国有林)	林野庁	溪間工(谷止工)	工事完了	
		激①	荷原字坂ノ下	福岡県	山腹工	工事中	
	ため池	激②	荷原字高島(2)	福岡県	山腹工	工事中	
		①	処の谷	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		②	火の谷	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	林道	③	吉ヶ谷	朝倉市	原形復旧(一部改良)	工事完了	
		①	処の谷線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
	蜷城	河川	—	桂川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所 や用地取得済み箇所から 順次、工事実施中
		道路	×	県道鳥栖朝倉線	福岡県	原形復旧	工事完了
		農地		平野部 10 工区	朝倉市	原形復旧	工事完了
	平野部 12 工区		朝倉市	原形復旧	工事完了		
甘木地 域 (高木・三 奈木・蜷城 以外)	河川	—	桂川、荷原川	福岡県	改良復旧	用地買収を伴わない箇所 や用地取得済み箇所から 順次、工事実施中	
			野鳥川	福岡県	原形復旧	工事完了	
			陣屋川	福岡県	原形復旧	工事完了	
			山見川	福岡県	原形復旧	工事完了	
			小石原川	福岡県	原形復旧	工事完了	
	道路	①	市道蕨原・江川山 1 号線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		×	国道 322 号	福岡県	原形復旧	工事完了	
		×	県道桂川下秋月線	福岡県	原形復旧	工事完了	
	林道	①	十石線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		②	馬見線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		③	松丸線	朝倉市	原形復旧	工事中	
		④	第 2 下湊線	朝倉市	原形復旧	他事業(土砂運搬経路)と の調整中	
		⑤	古処線	朝倉市	原形復旧	工事完了	
		⑥	桶底林道(併用林道)	林野庁	原形復旧	工事中	
	橋梁	⑦	原橋	朝倉市	原形復旧	平成 31 年～令和 3 年度	
		⑧	中園橋	朝倉市	原形復旧	平成 31 年～令和 3 年度	
		⑨	宮の前橋 1	朝倉市	原形復旧	平成 31 年～令和 2 年度	

地区	区分	表示	名称・箇所	事業主体	事業概要	令和2年12月末 の状況
		⑩	一ノ瀬2号橋	朝倉市	原形復旧	令和2～令和3年度



---

発行：朝倉市 総務部 復興推進室

〒838-8601

朝倉市菩提寺 412 番地 2

TEL：0946-22-1111

FAX：0946-22-1118

<http://www.city.asakura.lg.jp>

---